

第八十四回帝國議會 衆議院 請願委員會 議錄(速記) 第四回

昭和十九年二月五日(土曜日)午前十時九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 清水留三郎君

理事川崎巳之太郎君 理事田部 朋之君

理事永田 良吉君 理事坂東幸太郎君

小野 祐之君 小野寺有一君

小澤 治君 岡本傳之助君

奧 久登君 奧野小四郎君

川口 壽君 木下 郁君

九鬼 紋七君 小浦 總平君

佐久間道夫君 庄司 一郎君

菅又 薰君 竹内 俊吉君

賴母木眞六君 南郷 武夫君

日下田 武君 南 鐵太郎君

村澤 義郎君 森谷 新一君

安田 桑次君 吉田貞次郎君

出席政府委員左ノ如シ

法制局參事官 佐藤 基君

內務省地方局長 新居善太郎君

內務省國土局長 宮村才一郎君

神祇院副總裁 飯沼 一省君

專賣局理事 濱田 德海君

文部省專門教育局長 永井 浩君

文部省國民教育局長 阿原 謙藏君

文部省教務局長 近藤 壽治君

厚生省保險局長 平井 章君

農商次官 石黑 武重君

農商省總務局長 重政 誠之君

農商省山林局長 西村 彰一君

農商省水產局長 井出 正孝君

農商省物價局長 梶原 茂嘉君

陸軍大佐 二宮 義清君

軍需省機械局長 美濃部洋次君

軍需省燃料局長 菱沼 勇君

運輸通信省海運總局局長 三浦 義男君

運輸通信省海運總局船員局長 新谷寅三郎君

鐵道監 石井 敬之君

運輸通信省港灣局長 佐藤 榮作君

運輸通信省航空局長 嶋野 貞三君

通信院業務局長 飯野 毅夫君

鐵道監 中村 純一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員伊藤東一郎君 議員池田正之輔君

議員今井 嘉幸君 議員今成留之助君

議員上田 孝吉君 議員加藤 知正君

議員川崎 克君 議員川俣 清音君

議員鈴木 重次君 議員添田敬一郎君

議員三善 信房君 議員山本 厚三君

議員山本 芳治君

海軍中佐 中山 定義君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

內閣所管

一 高等文官任用制度改正ノ請願(永田良吉君紹介)(第一五三號)

二 舊屯田兵ニ對スル恩給支給繼續等ノ請願(坂東幸太郎君紹介)(第一五五號)

三 忠靈公葬ニ對スル請願(赤尾敏君紹介)(第三七號)

四 鹿兒島縣ニ御料地並御料林設定ノ請願(永田良吉君紹介)(第一〇七號)

五 日向帝室博物館設置ニ關スル請願(永田良吉君紹介)(第一一二號)

六 肇國ノ紀元ニ關スル請願(永田良吉君紹介)(第一一三號)

七 名寄町ノ御料林一部開放ノ請願(坂東幸太郎君外三名紹介)(第一四三號)

陸軍省所管

一 歸還後死亡セル軍人ノ取扱ニ關スル請願(川崎巳之太郎君外一名紹介)(第二〇號)

海軍省所管

一 鹿屋海軍工廠分工場設置ニ關スル請願(永田良吉君紹介)(第一〇九號)

二 海軍航空鎮守府創設ノ請願(永田良吉君紹介)(第一二〇號)

三 鹿兒島縣ニ海軍兵學校等設置ノ請願(永田良吉君紹介)(第一二五號)

農商省所管

一 配合間接肥料利用ニ關スル請願(川崎巳之太郎君紹介)(第一〇號)

二 笠野原畑地水田化ノ請願(永田良吉君外一名紹介)(第一一九號)

三 地主、小作人間ノ調和促進ニ關スル請願(坂東幸太郎君紹介)(第一三二號)

四 藥品生産用機械配給ニ關スル請願(永田良吉君外一名紹介)(第一三七號)

五 離農防止並地主保護ニ關スル請願(永田良吉君外一名紹介)(第一五二號)

六 山漆ノ伐採禁止並蠟採取ニ關スル請願(今成留之助君紹介)(第一三四號)

七 貝沼開放ニ關スル請願(川俣清音君紹介)(第四七號)

八 黑砂糖製造許可ニ關スル請願(永田良吉君外一名紹介)(第九一號)

九 牛乳ノ價格引上ニ關スル請願(山本芳治君紹介)(第一〇五號)

一〇 米穀増配ニ關スル請願(赤尾敏君紹介)(第九五號)

一一 食糧検査員優遇ニ關スル請願(伊藤東一郎君紹介)(第一一五號)

軍需省所管

一 自轉車用資材等ノ配給ニ關スル請願(永田良吉君紹介)(第一二二號)

二 漁船用燃料配給ニ關スル請願(川崎巳之太郎君紹介)(第一三五號)

內務省所管

一 知床半島開發ニ關スル請願(東條貞君外一名紹介)(第一〇三號)

二 市町村吏員ノ俸給國庫補助ニ關スル請願(永田良吉君外一名紹介)(第一二二號)

三 大阪、津間道路改修ノ請願(川崎克君外二名紹介)(第八八號)

四 國道十號線並十一號線改修ニ關スル請願(松本忠雄君外二名紹介)(第九〇號)

五 斜里川河口改修並斜里漁港修築ノ請願(東條貞君外一名紹介)(第一〇二號)

六 高隈川「ダム」築設ノ請願(永田良吉君紹介)(第一二六號)

七 名寄支廳設置ノ請願(坂東幸太郎君

外一名紹介)(第一三九號)

八 聲明、更喜吉内兩河川治水工事促進ノ請願(坂東幸太郎君外一名紹介)(第一四五號)

九 横瀬海岸ニ運河開鑿ノ請願(永田良吉君外一名紹介)(第一四八號)

一〇 高須川上流ニダム築設ノ請願(永田良吉君紹介)(第一四九號)

一一 伊弉諾神社社號改稱ニ關スル請願(白川久雄君外一名紹介)(第一四六號)

大藏省所管
一 農山漁村ニ鹽増配ノ請願(永田良吉君外一名紹介)(第九二號)

文部省所管
一 鹿屋市ニ高等工業學校設置ノ請願(永田良吉君紹介)(第一一〇號)

二 鹿屋市ニ女子農科大學設置ノ請願(永田良吉君外一名紹介)(第一一一號)

三 公立藥學專門學校官立移管等ニ關スル請願(伊藤東一郎君紹介)(第一一四號)

四 肝付兼重等ノ偉業ヲ國定教科書ニ載録ノ請願(永田良吉君紹介)(第一一七號)

五 鹿兒島縣ノ古城趾調査並保存ニ關スル請願(永田良吉君外一名紹介)(第一三八號)

六 村社小島、年貢兩神社御鏡等ヲ國寶ニ指定ノ請願(永田良吉君紹介)(第一五〇號)

七 岩戸神社ニ關スル綜合的史蹟調査ノ請願(永田良吉君外一名紹介)(第一五一號)

厚生省所管
一 少年被徵用者ニ對スル給與増額ノ請

願(森肇君外一名紹介)(第八四號)

二 社會保險制度改善ニ關スル請願(上田孝吉君外二名紹介)(第二一號乃至第三一號)

運輸通信省所管

一 塚山、來迎寺兩驛間ニ停車場設置ノ請願(加藤知正君紹介)(第四〇號)

二 歌志内町字文珠ニ簡易停車場設置ノ請願(星野靖之助君外四名紹介)(第八七號)

三 永野田驛ヲ一般驛ニ變更ノ請願(永田良吉君紹介)(第一〇八號)

四 古江線ニ二等車増結ノ請願(永田良吉君紹介)(第一二八號)

五 南小谷村字倉下ニ停車場設置ノ請願(芦田均君紹介)(第一三一號)

六 肥後田浦、肥後二見兩驛間ニ停車場設置ノ請願(三善信房君外二名紹介)(第一三三號)

七 直江津町ヨリ上越線ニ接續スル鐵道敷設ノ請願(今成留之助君外一名紹介)(第九三號)

八 横手、本莊間鐵道ヲ豫定線ニ編入其ノ他ニ關スル請願(齋藤憲三君紹介)(第九六號)

九 根北線ノ速成並一部營業開始ノ請願(東條貞君外一名紹介)(第一〇四號)

一〇 鹿屋驛移轉並西鹿屋驛設置ノ請願(永田良吉君紹介)(第一二七號)

一一 瀨棚、岩内間鐵道敷設ノ請願(澤田利吉君外一名紹介)(第一二九號)

一二 旭川、砂川間鐵道線路増設ノ請願(坂東幸太郎君紹介)(第一四一號)

一四 達布、添牛内間鐵道敷設ノ請願(坂東幸太郎君外一名紹介)(第一四四號)

一五 知床岬ニ航路標識施設ノ請願(東條貞君外一名紹介)(第一〇二號)

一六 志布志灣ヲ南方連絡航路ノ基點トスルノ請願(永田良吉君紹介)(第一二二號)

一七 稚内町字拔海ニ船入潤築設ノ請願(坂東幸太郎君外一名紹介)(第一四〇號)

一八 西之表、大泊間航路開設ノ請願(永田良吉君紹介)(第一五四號)

一九 無線通信長ナル職名制定ノ請願(今井嘉幸君外一名紹介)(第一四七號)

二〇 新庄、肘折間省營貨物自動車運輸開始ノ請願(池田正之輔君紹介)(第八九號)

二一 鹿兒島、鹿屋間省營自動車運輸開始ノ請願(永田良吉君外一名紹介)(第九四號)

二二 小濱港修築並江若鐵道買收等ニ關スル請願(添田敬一郎君外四名紹介)(第一一八號)

二三 民間航空ノ發達促進ニ關スル請願(永田良吉君外一名紹介)(第一一六號)

二四 始良村麓東嶽ニ特定郵便局設置ノ請願(永田良吉君紹介)(第一〇六號)

二五 鹿屋市花園ニ郵便局設置ノ請願(永田良吉君紹介)(第一二四號)

二六 五臺村ニ無集配郵便局設置ノ請願(川崎巳之太郎君紹介)(第一三〇號)

○清水委員長 是ヨリ開會致シマス、内閣所管日程第一、高等文官任用制度改正ノ請願、文書表第一五三號——紹介議員永田良吉君

○永田委員 詳シイコトハ文書表ニ書イテアルト思ヒマスルガ、現下ノ事情カラ見マシテ、ヤハリ高等文官ノ任用制度ハ多少改正シマシテ、サウシテ首相モ仰シヤツタ通り、民間ニ遺賢ナカラシムルト云フ意味カラ、相當中央地方ニ互リマシテ改正ラシテ戴キタイト云フノガ、此ノ請願ノ趣旨デアリマス、此ノ際當局ノ意見ヲ承リタイ

○佐藤委員 政府委員 現時局ニ於キマシテ民間ノ知識經驗ヲ出來ルダケ活用スルト云フコトハ、政府モ非常ニ其ノ必要ヲ認メマシテ、ソレニ應ズルヤウニ各種ノ制度ヲ立テテ來テ居ルノデアリマス、ソコデ其ノ一ツデアル所ノ任用制度ニ付キマシテモ從來、現在モサウデアリマスガ、試験任用ヲ中心ニシテ居ル、併シナガラ試験任用ダケデハ必ズシモ今御話ノヤウナ民間ノ知識經驗ヲ活用スルノニ缺クル所ガアリハシナイカト云フヤウナ見地カラ、先般ノ改正ニ依リマシテ勅任文官ニ付テハ、試験ヲ通ツテ居ラナクテモ、其ノ職務ニ必要ナ學識、技能及ビ經驗ヲ有スルモノノ中カラ、勅任文官銓衡委員會ノ銓衡ヲ經テ任用シ得ル途ガ廣ク認メラレテ居リマス、又奏任文官ニ付テハ、土木技術官其ノ他特別ノ學藝技術ヲ有スル文官デアルトカ、或ハ又内閣ニ於ケル情報局ノ情報官デアルトカ、軍需省ノ軍需官、軍需監理官或ハ運輸通信省ノ海務官ト云フヤウナ産業行政ニ比較的關係ノ多イ官ニ付テハ、試験ヲ通ツテ居ラナクテモ、高等文官試験委員ノ銓衡ニ依リマシテ任用スル途ヲ講ジテ居ルノデアリマス、現在ニ於キマシテハ大體サウ云フ風ナ方法デ相當ノ效果ヲ擧ゲテ居ルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ御話ノ點ハ十分將來ノ研究ニ俟

チタイト思ツテ居リマス

○永田委員 此ノ請願ハ當局ノ方デモ敢テ御反對モナイヤウデアリマスカラ、採擇アラシコトヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 御異議ナシト認メマス、採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 次ニ日程第二、舊屯田兵ニ對スル恩給支給繼續等ノ請願、文書表第一一五五號 坂東幸太郎君

○坂東委員 一寸御説明申上ゲマス、數年前ニ俗ニ云フ恩給疑獄ト云フモノガ起リマシテ、結局安藤、江良ト云フ二名ノ軍屬ハ軍法會議ニ依ツテ處罰セラレ、其ノ證人トシテ取調ベラ受ケタ舊屯田兵、即チ日露戰爭ノ勇士達多數ハ、其ノ受ケツ、アル恩給ハ誤拂ヒデアルト云フ風ニ一方ノ裁定セラレ、遞信省ヨリ拂込ヲ追求セラレテ居ルノデアリマス、可哀相ニモ本人バカリデナク本人ノ死亡後ノ未亡人、又其ノ子供ニマデ追求ノ手ガ伸ビテ居ルデアリマス、是ハ如何ニモ殘酷デアアル、右二軍屬ハ陸軍ノ公簿ニ除隊ノ月日ヲ誤記シタモノデアツテ、ソレガ爲ニ軍法會議デ處罰セラレタモノデアアル、ソレニモ拘ラズ恩給受給者ニ其ノ責任ヲ負ハシメ、支給濟ミノ恩給ヲ誤拂ヒトシテ之ヲ追求シテ徴收スルト云フコトハ餘リニモ苛酷デアアル、況ンヤ勇士亡キ後ノ未亡人及ビ子孫ニマデ及ボスコトハ、洵ニ其ノ實情ヲ知ル者ノ同情禁ズル能ハザルモノガアルノデアリマス、此ノヤリ方ニ對シテ憤慨シテ、憤死シタ老勇士ガ私ノ知ツテ居ル人ニモ二名アリマス、憤死者二名ノ忤モ

此ノ請願者ノ中ニアリマス、デアリマスカラ時局下國防思想ノ重要性ニ鑑ミラレ、出來ルコトナラバ、右恩給ノ支給ヲ繼續セラレタク惻願スルノデアリマス、若シ萬々一ソレガ不可能ナラバ、セメテ誤拂ノ追求徴收ヲ差控ヘテ戴キタイト云フノガ本請願ノ要旨デアリマス

○佐藤(基)政府委員 此ノ請願ノ内容ハ、請願人ガ元北海道屯田兵トシテ恩給受給中、後ニ恩給ヲ受ケル權利ガナカツタコトガ判明シタト云フノデ、其ノ給與裁定ヲ取消シ、既ニ受領シテ居ル所ノ恩給額ノ返還ヲ命ゼラレタノデアリマスガ、是ハ餘リニ酷ナ處分デアルト云フノデ、引續キ恩給給與ノ途ヲ講ズルカ、若シソレガ不可能デアラナラバ、過去ノ受領額ノ返還ヲ猶豫シテ貰ヒタイト云フノデアリマス、御承知ノ如ク此ノ屯田兵ト云フモノニ付キマシテハ、其ノ現役服務年月日數ヲ公務員ノ在職年ニ通算シマシテ、所定ノ恩給年限ニ達スル場合ニハ、之ニ普通恩給給與スルコトナツテ居リマス、是ハ大正十二年十月一日恩給法施行ノ際ノ法令ノ改正ニ依ルノデアリマス、所ガ此ノ問題ノ取消處分ヲセラレマシタ請願人等ノ恩給モ此ノ種ノモノデアリマスガ、當時ノ恩給請求書ニ添付セラレマシタ履歷書ニハ、何レモ當時ノ軍人普通恩給年限デアアル所ノ十一年以上在職シタモノト記載シテアリマシテ、所屬官廳ノ證明ガアツタノデ、書面審理ノ上、一旦恩給給與ノ裁足ヲ致シタノデアリマス、所ガ第七師團軍法會議ニ於キマシテ、昭和十一年ニ結審トナリマシタ所ノ公文書偽造、變造、同行使、詐欺、詐欺幫助、收賂取得事件ニ關スル調書ニ依リマシテ判明シタノデアリマスガ、請願人

等ノ履歷書ハ右事件ノ被告人タル軍屬ガ、請願人等ノ軍人トシテ在職シテ居ラナカツタ期間ヲモ在職シテ居ツタ如ク記載シテ、事實在職十一年未滿デアツタモノヲ、十一年以上ノ在職年ヲ有スルガ如ク作成シタ虛偽ノモノデアルト云フコトガ判ツタノデアリマス、ソコデ恩給裁定廳デアアル所ノ内閣恩給局ニ於キマシテハ、陸軍省及ビ第七師團等ト協力致シマシテ、事實ニ合スル正當ノ履歷ニ基イテ恩給ノ有無ヲ精査シ、昭和十四年頃審査ヲ終リマシタノデ、在職年ガ軍人普通恩給ヲ受クベキ要件ヲ具備シナイ者ノ恩給ヲ取消シタ次第デアリマシテ、是ハ法規上正當ナ處分ト申サナケレバナラスノデアリマス、隨テ今後トモ法規ノ命ズル所ニ反シマシテ、是等權利ナキ者ニ恩給ヲ給與スルト云フコトハ困難デアリマス、ソコデ次ニ問題ニナリマスノハ、過拂トナツタ所ノ恩給受領額ノ返還ヲ猶豫シテハドウカト云フ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ尙ホ篤ト研究シタイト存ジテ居リマス

○永田委員 斯カル請願ハ或ハ法規ノ上カラ無理ガアルカモ知レマセヌガ、斯ウ云フ舉國一致デ戰爭シテ居ル際デアリマスカラ、過去ニ於テ日本ノ開拓ニ功勞ノアツタ屯田兵ノ如キニハ、相當額ヒノアル處置ヲ執ツテ戴キタイト云フコトヲ希望スルノデアリマス、此ノ理由カラ本案ハ採擇ニ決セラレシコトヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 御異議ナシト認メマス、採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 日程第三ハ、紹介議員ヨリ延期ノ要求ガアリマシタカラ、延期スルトニ致シマス

○清水委員長 日程第四、鹿兒島縣ニ御料地並御料林設定ノ請願、文書表第一〇七號 紹介議員永田良吉君

○永田委員 此ノ請願ハ今回メテデアリマセヌ、モウ數回ニ互ツテ請願シテ居ルノデアリマスガ、當局モ其ノ趣旨ハ餘程御分リノコトト察スルノデアリマス、唯私共ガ考ヘマスノハ、此ノ帝室ノ御料林ト御料地ガ日本ノ中部以北ニ偏在シテ居ルト云フノハ、明治十年頃ノ地租改正ノ時ノ國情ニ照ラシテ斯カルコトニナツタモノト思フノデアリマス、ソレデ現在カラ考ヘマスト、御料地ヤ斯ウ云フ御料林ノ如キモノハ、ヤハリ全國ニ分散シテアツタ方ガ私ハ宜クハナイカト思フモノデアリマス、特ニ南九州ノ如キ皇祖發祥ノ聖地デアツテ、皇室ニ由緒深イ所ニハ、御料林ヤ御料地ガアツテ然ルベキモノト思フノデアリマス、私ハ此ノ意味ニ特ニ皇室御健康ト云フ點ニ付テモ、内閣ハ少シク御考慮遊バシタ方ガ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ意味ハ鹿兒島縣ノ南部ノ如キニハ、椎茸ニシテモ洵ニ全國一ノ美味シイ榮養分ニ富シタモノガ出ルノデアリマス、尙ホ筍モ名物トシテ良イモノガ出來ルノデアリマス、孟宗竹トカサウ云フモノモ早く出來マス、其ノ他アソコニハ鹿モ居レバ猪モ居ル、猪ノ如キハ全國一ノ美味デアリマス、其ノ他柑橘ニシテモ「ボンカン」モ出來ル、ソレカラ櫻島蜜柑モ出來ル、斯ウ云フ色々ノ土地ノ名物モアルノデアリマス、是ハ直接宮内省ニ關係ノア

昭和十九年二月五日

ルコトデアリマスカラ、内閣ニ御願ヒスルコトハ無理カモ知レマセスガ、私ハ何卒アル地方ニモ皇室ノ御料林ナリ御料地ヲ御設定願ヒタイト云フコトヲ、何年モ御願ヒシテ居ルデアリマス、然ルニソレガ未ダニ實現サレナイト云フコトハ大變残念ナコトデアリマス、殊ニ今飛行機モ發達シマシタカラ、皇室ノ離宮トカ或ハ御休養ヲナサル場所トシテモ、鎌倉附近ニ限ラズ、飛行機ヲ行ケバ鹿兒島ヘ三時間モ掛ラナイデ行ケルデアリマスカラ、アスコニ御料地ガアツテ然ルベキモノデアルト思フデアリマス、薩摩芋モアレバ、稻モ作ツテ居リ、果物モ出來ル、茄子デモ何デモヨク出來ル、ア、云フ天産ニ富シダ所ニ御料林ヲ御設定ニナツテ、皇室ノ彌榮エニ榮エマツルヤウニ、立派ナ滋養ニ富シダモノヲ飛行機デ皇室ニ御届ケスルト云フ、斯ウ云フ意味カラアスコニ離宮ガアツテ然ルベキモノデアルト思フデアリマス、ナゼ斯ウ云フ方面ニ内閣ハ目ヲ著ケナイカ、殊ニ私ハ此處デ申上ゲテ宜イカドウカ存ジマセスガ、斯ウ云フ事變ガ始マツテ、皇室ノ御使ヒニナル御調度ノオ金モ年々増加ナサレテ居ルモノデアルト御察シ致スデアリマス、凱旋將軍ヤ或ハ大東亞ノ各國カラノ使臣モ參ルコトデアリマス、然ルニ皇室ノ豫算ノ如キハ、我々議員ニナツテカラマダ一遍モ増額ヲナシテイラツシヤイマセヌ、是ハ洵ニ長多イコトデアリマスカラ、内閣ノ諸公ハドナタガ總理大臣ヲサレテモ、或ハ書記官長ヲサレテモ、此ノ皇室費ノ如キハ増額ヲナサレ

ルヨウニ宮内省ニ交渉シテモライタイモノト思フデアリマス、其ノ意味ニ於テ斯ウ云フ御料林ヲ新タニ設定ヲナサイマスト、其ノ豫算増加ノ理由モ付クデアリマセヌカ、私ハ斯ウ云フ點カラ御料地、特ニ御料林ノコトニ付キマシテハ、内閣ト致サレテモ餘程慎重ニ御考慮ノ上、何カ次ノ議會ニ於テデモ實現シテ戴キマセヌヤウニ、心カラ涙ヲ零シテ切願シテ紹介スル譯デアリマス、何卒此ノ際ニ於テ政府ノ御意見モ承リマシテ、滿場一致御採擇アラシコトヲ希望スル次第デアリマス

○佐藤(基)政府委員 只今御述べニナリマシタ點ハ能ク分リマシタガ、御話ノ通りハ皇室ノ財政ニモ關係スルコトデアリ、又國有林ノ中ニ設ケルデアリマスカラ、國ノ方ニモ關係ガアルコトデアリマシテ、關係方面ト十分協議ノ上研究シテ見タイト思ヒマス

○坂東委員 本請願ノ實現ノ速カナランコトヲ切望致シマシテ、採擇ヲ希望致シマスコトヲ切望致シマシテ、採擇ニ御異議アリマセヌカ

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○清水委員長 御異議ナシト認メマシテ採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 次ハ日程第五、日向帝室博物館設置ニ關スル請願、文書表第一一二號——永田良吉君

○永田委員 此ノコトモ前ノ請願トヤハリ關聯シタ問題デアリマスカラ、只今帝室博物館ノ設置ノ狀態ヲ見マスト、上野博物館ハ主デアリマスケレドモ、其ノ他奈良デアルトカ、京都ニモゴザイマスケレドモ、一番日本ノ國ノ大事ナ肇國史ノ上ニ關係ノアル九州南部ノ日向地方ニハ、帝室博物館ノ分館モ何モアリマセヌ、帝室博物館ヘ行ツテ見マスト、昨日モ私ハ行ツテ見マシタガ、

石器ヤ土器、日本ノ古代、神代、上代ニ關係ノアル參考資料ト云フモノハ、宮崎縣、鹿兒島縣地方カラ來テ居ルモノハ至ツテ少クナツテ居リマス、私ハ此ノ大戰爭ノ狀態カラ考ヘマシテ、色々各國カラモ是カラ段段日本ノ肇國ノ精神ヲ研究ニ來ル者モ多數アルモノト信ジテ居リマス、斯ウ云フ點カラ斯カルコトハ一朝一夕ニ出來マセヌカラ、早ク政府ニ於カレテハ宮内省トモ能ク御協議ノ上——アノ日本ノ貴キ歴史ノアル日向地方ニ帝室博物館ノナイト云フコトハ洵ニ残念ニ堪ヘマセヌ、殊ニ最近國防費ノ獻金ノアルコトハ結構デアリマスカラ、私共ハ日本ノ富豪トカ、心アル人ガ、今少シ我ガ國體ノ明徴ニ關シマシテモ、殊ニ金持ガ徒ラニ最近ノ歴史參考品タル刀劍、書畫、骨董、ア、云フモノニバカリ囚ハレテ、斯ウ云フ日本ノ貴キ數千年ノ歴史ニ對シテ巨費ヲ吝シマズ獻金スルヤウナ氣持ガナイト云フコトハ、私ハ遺憾ニ思フデアリマス、斯カルコトハ政府トセラレテモ、日本ノ國體明徴ニ對シテハ、モツト熱意ヲ以テ御指導ヲシテ戴キタイコトヲ希望シテ已マナイ次第デアリマス、之ニ付キマシテハ誰ガ見テモ、日本ノ大事ナ帝室博物館ガ九州ノ一番歴史ノ深い所ニナイト云フコトハ、是ハ洵ニ數カハシイコトデアリマス、殊ニアノ屋久島ニ行ツテ見マスト屋久杉ノ年輪ガ二千年ニナツテ居ルノガ倒レテ居ル、其ノ上ニ又新シイ根ガ生エテ二千年ニナツテ居ル、之ニ依ツテ見テモ植物デモ四千年ノ歴史ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、明瞭ニ説明ガ出來テ居ル、又私ノ大隅ノ鹿屋市ノ小島神社ト云フ所ニハ、檜ノ古株ガアリマスカラ、是ガ驚ク勿レ三丈九尺七寸アリマス、其

ノ年輪ハ洵ニ緻密ニナツテ居ル、私ハ日本國中ニア、云フ古イ檜ハナイト思フ、此ノ年輪等ヲ植物學者ガ研究シマシタナラバ、太凡肇國ノ年代モ明瞭ニナルト思フ、何レニシテモ地ヲ離レテ歴史ハナイデアリマスカラ、アノ日向地方ニ帝室博物館ヲ御設ケニナツテ、古イ石器トカ、土器トカ、或ハ城廓、刀劍、甲冑ナド、ア、云フ物ニ向ツテ之ヲ蒐集シテ、我ガ國ノ國體明徴ニ資セラレンコトヲ希望致シマシテ之ヲ紹介シタ譯デアリマス、此ノ際政府當局ノ御説明ヲ承リマシテ、滿場一致御贊成アラシコトヲ希望スル次第デアリマス

○佐藤(基)政府委員 只今御話ノ皇祖發祥ノ聖地デアツテ、神代及ビ上古ノ史蹟ニ富シデ居ル所ノ鹿兒島縣、宮崎縣、此ノ兩縣下ニ史蹟參考品ヲ陳列スル博物館ヲ設置スルト云フコトハ、非常ニ意味ノアルコトノヤウニ存ゼラレルデアリマス、所ガ御承知ノ通り帝室博物館ノ設置ト云フモノハ、帝室ノコトデモアリ、又豫算ノ關係モアリマスノデ、請願ノ趣旨ヲ宮内省ニ能ク傳ヘマシテ、十分協議ヲシタイト思ツテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマスコトヲ切望致シマシテ、採擇ニ御異議アリマセヌカ

○清水委員長 御異議ナシト認メマシテ採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 日程第六、肇國ノ紀元ニ關スル請願、文書表第一一三號——紹介議員永田良吉君

○永田委員 是モ私ハモウ二回請願ヲ紹介致シタデアリマスカラ、其ノ他ニモ度々出テ居リマス、要スルニ我ガ國ノ肇國ノ紀元

ハ、神皇カラナツテ居リマスケレドモ、現在日向三代ノ山陵ノ如キハ、立派ニ御決定ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ意味カラ私ハ肇國ノ紀元ニ關シマシテモ、神皇ヲ基礎トセズ、神代ヲ通ジテ日本ノ紀元ヲ森嚴ナラシメタ方ガ適當デアルト思フノデアリマス、之ニ付テ請願シタ譯デアリマスカラ、是等モ殊ニ大東亞戰爭ノ關係カラ考ヘテ、日本ノ歴史ハサウ云フ二千年、三千年近クト見ルノハ間違ヒデアル、世界デモ最モ古イ位ノモノデアル、是ガ日本ノ考古學、人類學、各種ノ綜合的研究ヲスレバ、日本ノ肇國ノ紀元ガソナ短イ年限デナイト云フコトハ明カデアルト思ヒマス、隨テ斯ウ云フコトモ餘程御研究ヲ御願ヒシタイト云フ意味カラ御紹介申上ダタ譯デアリマス、何卒當局ノ御意見ヲ徵セラレテ、御贊成アラシコトヲ希望スル次第デアリマス

○佐藤(基)政府委員 此ノ請願ノ御趣旨ハ洵ニ御尤モデゴザイマスガ、何分ニモ神代ノコトハ非常ニ明瞭ヲ缺イテ居リマシテ、正確ナ記録モゴザイマセスシ、十分調べナイトハツキリ決メルト云フコトモ中々困難デアリマスシ、又假ニ決メナクテモ、我が國ガ非常ニ古イモノデアルト云フコトニ付テハ國民的確信デアリ、又疑ヒノナイ所デアリマスカラ、尙ホ研究ヲ要スルト云フ風ニ思ツテ居リマス

○南委員 今ノ御提案ノ神代カラノ紀元ト云フコトニ付キマシテ、日本書紀ニアル神武天皇ノ仰セラレタ、皇祖天降リマシテヨリ以來慥カ百七十九萬二千四百七十餘年ト云フコトニ、御東征ニナル前ノ御會議デ申サレテ居ル、サウ云フヤウニ日向三代ト言フケレドモ、三代ドコロノ騷ギデハナイ、

○佐藤(基)政府委員 此ノ請願モ既ニ度々

一代ガ何萬年、何十萬年ト云フヤウナ構想ノ下ニ我々ノ先祖ガ確信シテ居ルヤウニモ思ハレルノデアリマスカラ、此ノ深遠ナル神代ノコトハ十分ニ御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ政府ハドウ云フヤウナ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、承リタイト思ヒマス

○佐藤(基)政府委員 只今申シマシタ通り、神代ノコトハ非常ニ長イト云フコトハ各種ノ記録ニモ、或ハ國民的信念ト申シマスカ、此ノ點ニ付テハ疑ヒガナイノデアリマスガ、紀元ヲ決メルト云フコトニナリマス、ヤハリ正確ニ決メナイト大シテ意味ガナイト云フコトニナリマス、サウナツテ來ルト調査ガ中々難カシイノデアリマシテ、早急ニハ實現出來ナイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○坂東委員 根本ノ研究ヲ願フ意味ニ於テ採擇ヲ望ミマス
○清水委員長 御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ
○清水委員長 日程第七、名寄町ノ御料林一部開放ノ請願、文書表第一四三號——坂東幸太郎君
○坂東委員 此ノ請願ノ趣旨ハ、北海道天鹽國上川郡名寄町東北方ニ在ル御料林ノ内約千五百町歩ハ疎林ニシテ有價木ナク自然ノ傾斜地ニテ地味肥沃ナルヲ以テ農耕地トシテ最適當ナリト信ズ、仍テ政府ハ實地調査ノ上前記御料林ノ農耕地編入ニ關シ宮内省ト折衝セラレタシ、ト云フ請願デゴザイマス、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○佐藤(基)政府委員 此ノ請願モ既ニ度々

議會ニ出テ居リマシテ、其ノ際申上ダマシタ通り、御料林ト云フノハ森林經營ガ目的デアル、隨テ農耕地トシテ拂下ゲルト云フコトハ例外ニ屬スルノデアリマス、併シナガラ今御話ノ場所ハ疎林デアツテ、而モ農耕地ニ適シテ居ルト云フ事情ニアリマスノデ、此ノ請願ハ相當理由ガアルト思ヒマシテ、主務省ニモ十分研究サセマシテ、宮内省ト折衝ヲ續ケテ居ル次第デアリマス

○永田委員 此ノ請願ハ先程私ガ請願シタ御料林ト同ジ意味ノモノデアリマスガ、一方ハナイカラ作ツテ呉レト云フ請願、是ハアリ餘ツテ居ルガ、ソレヲ一部民間ニ開放シテ呉レト云フ請願デ、兩方ノ相反シタ意味ニナツテ居リマスケレドモ、近頃承リマス、御料林ヲ此ノ時局ニ鑑ミテ船トカ、色々ナ資料ニ御拂下ゲニナルト云フコトモ新聞紙上デ承ツテ居ル、私ハ此ノ機會ニ日本全國ノ御料林ニ付テ再檢討サレルコトガ適當ト思フ、此ノ意味ニ於テ此ノ請願ハ其ノ實現ヲ望ンデ、採擇アラシコトヲ希望致シマス

○清水委員長 御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○清水委員長 採擇ニ決シマシタ
○清水委員長 陸軍省所管ハ政府委員ノ都合ニ依リマシテ繰延ベマス、次イデ海軍省所管ニ移リマス日程第一乃至第三ハ紹介議員ガ同一デアリマスカラ、一括議題ニスルニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 一括議題ニ致シマス
日程第一、鹿屋海軍工廠分工場設置ニ關スル請願、文書表第一〇九號

等海軍關係ノモノヲ御設置ノ場合ニハ、參考地トシテ御調査ヲ願ヒタイト云フ意味デ御紹介申上ゲタ譯デアリマシテ、此ノ際當局ノ御意見ヲ承リマシテ、三案トモ採擇ニ御賛成アラシコトヲ希望致シマス

○清水委員長 海軍省説明員中山中佐

○中山説明員 是ハ軍機ニ關係シマスカラ速記ヲ止メテ戴キマス

○清水委員長 速記ハ取リマスケレドモ、秘密ニ保存致シテ、公表シナイコトニ致シマスカラ、御諒承願ヒマス

〔速記中止〕

○清水委員長 只今政府ノ説明員カラ申サレマシタ如ク、是ハ速記ヲ取リマシタガ、密封シテ公表シナイコトニ致シマス、新聞社ノ方ニモ今ノ記事ハ御書キ下サラヌヤウニ御願ヒ致シマス

○坂東委員 本三件共國防問題デアリマスノデ、十分慎重ナ御研究ヲ願フ意味デ採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 三件共採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 農商省所管政府委員ノ都合デ日程第九ヲ繰上ゲ上程致シマス

日程第九、牛乳ノ價格引上ニ關スル請願、文書表第一〇五號——紹介議員、山本芳治君

○山本芳治君 請願ノ趣旨ハ書面ニ認メテ居ル通りデアリマス、牛乳生産者團體カラ農商省指定ノ販賣機關ニ搬入スル原乳ノ價格ヲ相當ニ引上ゲテ貰ヒタイト云フ要請デアリマス、其ノ理由ハ申上ゲルマデモナク牛乳ハ乳幼児、疾病患者、病弱者ノ保健上

必要デアルコトハ今更申上ゲルマデモナイノデアリマス、尙且ツ一般國民ノ體位向上ニ資スル上カラ申シマシテモ、此ノ増産ノ要望ノ切實ナルコトハ説明スルヲ俟タヌト思フノデアリマス、然ルニ近時飼料ノ拂底、設備費ナリ人件費ノ高騰、ソレカラ公租公課ノ過重等ノ諸原因ニ依リマシテ、生産原價ガ漸次高マツテ參ツタノデアリマス、ソコデ業者ハ到底現行ノ牛乳販賣價格デハ營業ガ繼續スルニ堪ヘズシテ、轉業シ廢業スル者ガ日ヲ逐ウテ續出スル現狀デアリマス、ソレガ爲ニ原乳ハ生産減退ノ一途ヲ辿リツツアルコトハ、眞ニ憂慮ニ堪ヘヌノデアリマス、實例ヲ大阪ニ取ツテ申シマス、大阪ハ先年價格ノ統制サレタ當時ハ三百石内外出テ居ツタノデアリマスガ、現在ハ九十石ヲ割ツテ居リマス、尤モ大阪ハ極端ナ例デアリマスケレドモ、各都市ヲ通ジテ牛乳採擧ノ專業者ハ日ヲ逐ウテ轉業シ、或ハ廢業スルヤウナ實情デアリマシテ、此ノ儘デハ生産ハ減退ノ一途ヲ辿ル外ナイノデアリマス、政府ニ於テモ夙ニ此ノ供給ニ意ヲ用ヒラレマシテ、現在乳牛ニ對スル飼料ノ特配モ行ハレテ居リマス、東京カラ始マリマシテ今現ニ六大都市ヲ初メトシテ他ノ都市ニ及ビツ、アルノデアリマス、斯様ニシテ政府ニ於テモ銳意對策ヲ講ゼラレテ居ルノデアリマスケレドモ、其ノ點ハ業者ノ深ク感銘スル所デアリマス、併シナガラ更ニ實情ヲ御調査ノ上デ、相當ノ乳價ノ引上ヲ斷行シテ貰ヒタイノデアリマス、只今私ガ手許ニ持ツテ居リマスル原價計算、是ハ農商省當局ニモ業者カラ前ニ出願シテ居リマスカラ、當局ニ於テハ能ク御承知ダラウト思ヒマスガ、生産原價ヲ書キ上ゲテ居リマス

ル六大都市ノ表ヲ申上ゲマス、東京ハ九十三錢何ガシト云フコトニナツテ居リマス、是ハ既ニ配合飼料ガ特配ニナツテ居ルカラ斯ウ云フ數字ガ現ハレテ居ルノデアリマシテ、大阪ヲ初メトシテ他ノ五大都市ニ於キマシテハ、大體平均原價計算ガ一圓内外ニナツテ居リマス、斯ウ云フ現在ノ實情デアル、ソコデ現在ノ公定價格ニ依ツテ販賣シテ居リマスル價格ハ脂肪率ニ依ツテ違ヒマシテ、大體六十二、三錢ト云フ所ガ實際ノ取引價格ニナツテ居リマス、左様ナ實情デアリマスカラ、ドウカ實情ヲ御調査ノ上デ相當ノ御對策ヲ講ジテ戴キタイノデアリマス、何デモ農商省ニ於キマシテハ此ノ點御考慮下サイマシテ、今月カラ來月ニ掛ケテ東京、神戸、九州、北海道、此ノ四箇所ニ互ツテ實地ヲ御調査下サルト云フコトモ聞イテ居リマスガ、ドウカ一日モ早ク實情御調査ノ上デ、最善ノ御對策ヲ講ゼラレンコトヲ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス

○梶原政府委員 御説ノヤウニ牛乳並ニ乳製品ハ、現在ノ時局下ニ於キマシテ子供ノ食糧、又病人ニ對シマスル營養補給ノ觀點等カラ申シマシテ、極メテ必要デアルコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、從來當局ト致シマシテモソレ等ノ生産確保ノ爲ニ、飼料供給ノ確保、其ノ他各般ノ施設ヲ行ツテ參ツタノデアリマス、價格ノ面ニ於キマシテモ、是等緊要ナル食糧ノ供給確保ノ觀點カラ、數次ニ互リマシテ其ノ適正ヲ圖ツテ參ツタノデアリマス、併シナガラ御話ノ如ク、牛乳ノ供給確保ハ必ズシモ十分ハ申上ゲ兼ネル狀況ニアルノデアリマシテ、相當減産ノ傾向ヲ示シツ、アルノデアリマス、此ノコトハ牛乳ノ食糧トシテノ特質カラ考ヘマシテ、洵ニ遺憾デアルト存ズルノデアリマス、固ヨリ價格ノ面ノミヨリ致シマシテ、此ノ生産ヲ十分ニ確保スルト云フコトハ困難デアリマスケレドモ、飼料ノ確保、其ノ他輸送並ニ勞力資材、各面ニ互リマシテ工夫努力ヲ講ジマスルト共ニ、價格ノ點ニ付キマシテモ之ヲ適正ニスル必要ガアリマスレバ變ヘナケレバナラヌト存ジテ居ルノデアリマス、目下牛乳ノ生産並ニ配給ノ各方面ニ互リマシテ、當局ト致シマシテ調査ヲ致シ、研究ヲ進メテ居ル狀況デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 政府ノ都合ニ依リマシテ農商省所管

日程第七、貝沼開放ニ關スル請願、文書表第四七號——紹介議員川俣清音君

○坂東委員 私が代ツテ御紹介申上ゲマス、此ノ趣旨ハ秋田縣雄勝郡皆瀬村川向宇貝沼ニ存スル貝沼ハ往時ヨリ貝沼部落民ニ依リテ飲料灌漑用水魚類等生活必需品ヲ供給スル所トシテ使用サレ來リタリ、然ルニ該沼ハ本來國有地ニ在リテ自然沼ナル爲メ、他町村ヨリ來リテ魚獲スル者多キニ依リ之ヲ防止シ、部落民全體ノ共存共榮ノ爲ニ養鯉ヲナスベシトノ口實ヲ以テ其ノ承諾ヲ得、部落民中二名ノ者ガ該沼ノ區劃漁業權ノ免許ヲ得タルモ、彼等ハ誓約ヲ無視シテ部落民ノ魚獲ヲ許サル爲、部落民一同ハ極度ニ困窮シツ、アリ、此ノ儘ニシテ推移スル時ハ部落ノ紛爭ヲ激化シ、食糧増産ニモ惡

影響ヲ及ボスコト必然ナリ、仍テ速カニ前記二名ノ者ニ對スル區劃漁業權ヲ取消シ、貝沼部落民全體ヲシテ之ヲ使用セシムルヤウ取計ハレタイト云フ請願アリマス、政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○井出政府委員 只今ノ貝沼ノ區劃漁業權ニ付キマシテハ、大正十一年頃ニ二十箇年ヲ以テ秋田縣知事ガ、此ノ請願ニアリマスヤウナ者ニ區劃漁業權ヲ免許致シマシテ、ソレノ存續期間ガ昭和十七年ニ滿了致シマスノデ、其ノ際ニ更ニ續キマシテ、更新ノ免許ヲ同ジク秋田縣知事ガ致シテ居ルモノデゴザイマス、免許處分或ハ更新免許處分ノ當時ニ於キマシテハ、只今請願ニアリマスヤウナ事情ヲ、免許官廳ニ於キマシテモ十分ニ承知ヲ致サナカッタノデ、其ノ儘更新免許ヲシテ居ツタコト存ズルノデアリマス、併シ地方ノ事情ニ即應スルヤウニ、色々調節ヲ致サナケレバナライ事情ガゴザイマスルヤウデアリマスルナラバ、請願ノ趣旨ヲ能ク承リマシテ、至急ニ調査ヲ致シマシテ、然ルベク善處ヲ致シテ参リタイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○清水委員長 御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○清水委員長 採擇ニ決シマシタ
○川崎〔巳〕委員 農商省ノ外ノ係ノ方ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ
○清水委員長 今貴族院ノ分科ニ出席シテ居リマスノデ、督促中デスカラ、参リ次第審議ヲ進メタイト思ツテ居リマス
○川崎〔巳〕委員 ソレデハ今御出席ノ局長ニ御傳言ヲ御願ヒシタイノデス、ト云フノハ國務大臣ノ出席ヲ求メテ、最初カラ政府

モ重シズルカラト云フコトノ約束ノ下ニ始メテ居ルノデス、然ルニサウ云フ風ニ宜イ加減ニ第二次、第三次ニセラレルナラバ、請願委員會ヲ廢メテシマツタ宜イ、政府ノ方デ左様ナ行動ヲナシテ居ラレルナラバ、私共トシテハ別ニ考ヘル所ガゴザイマス、是ハ實ハ農商省バカリデナク、陸軍省モ二度モ此ノ時間ニ缺席ヲセラレテ、我々時間ヲ空シク費シテ居ル譯デアリマスカラ、農商省ノ部分ダケヲ次官、大臣ニ一ツ御傳達ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望致シマス

○井出政府委員 承知致シマシタ

○清水委員長 恐縮デスガ、今暫ク御待チヲ願ヒマス、貴族院ノ豫算ノ分科會ニ政府委員ガ皆行ツテ居リマスノデ、今督促中デスカラ参リ次第繼續シタイト思ヒマス
○清水委員長 ソレデハ見エマシタカラ内務省所管ニ移リマス
日程第一、知床半島開發ニ關スル請願、文書表第一〇三號——紹介議員東條貞君

○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、此ノ請願ノ趣旨ハ、北海道知床半島ハ地上地下及ビ近海ニ豐富ナル林産物及ビ水産資源ヲ藏スルモ、其ノ大部分ハ未開發ノ狀態ニアリ、仍テ速カニ知床半島開發ヲ爲メ、其ノ地下資源ノ完全ナル調査ヲナスト共ニ、通信、鐵道、港灣等ノ施設ヲ行ハレタイト云フノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス
○新居政府委員 知床半島ハ北海道最東部ニ位シマシテ、オホーツク海ニ突出致シマス海岸平地以外ハ森林地帯デアリマシテ、交通極メテ不便ノ所デアリマス、隨テ地下資源ノ調査ハ相當困難デアリマスノデ、未ダ沿岸一部ニ對シテ調査ヲ實施シタルニ過

ギマセヌガ、銅、硫黃、褐鐵、砂鐵ノ如キハ相當有望視セラレテ居リマス、又森林モ大部分國有森デアリマシテ、蓄積量二千二百八十萬石ヲ占メ、年產約二十七萬石ニ達シテ居リマス、而シテ水産物ハ漁場調査ノ結果鱒、鰈、大鰾、鰻等、相當豐富ノ見込デアリマス、併シナガラ知床半島ハ、前申シマシタヤウニ地理的ニ非常ニ調査ニ困難ナ狀態ニアリマス爲メ、道路ノ施設モナク、又錨地モ乏シク、急速ニ同半島ノ綜合的開發ヲ圖ルコトハ相當困難ナコトデアリマス、併シ戰力増強上重要資源ノ開發ハ、一日モ之ヲ忽セニシ得ナイ問題デアリマスカラ、同地方ニ付キマシテモ、地下資源ノ開發ニ關シテ速カニ鑛床調査ヲ進メテ、鑛業開發ノ促進ヲ圖リマスト共ニ、林産物ノ増産ニ努メ、且ツ水産業ヲ獎勵シ、是等各種事業ノ進展ト共ニ、輸送上必要ナル施設ニ付キマシテモ、適當ニ考慮致サネバナラスモノト存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○清水委員長 御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○清水委員長 採擇ニ決シマシタ
○清水委員長 日程第二、市町村吏員ノ俸給國庫補助ニ關スル請願、文書表第一二二號——紹介議員永田良吉君

○永田委員 只今御承知ノ通り市町村ノ事務ハ、町村自體ノモノヨリモ、政府ハ縣ノ委任事務ガ澤山幅濫致シテ居ルノデアリマス、隨テ町村吏員ノ優遇等ニ付キマシテモ、政府トシテモ御考慮ハシテ居ラレルモノト察シマスケレドモ、我々町村ニ於テ、人ヲ得ルコトガ甚ダ困難ナ狀態ニナツテ居リマス、

殊ニ市町村ノ貧弱ナ今ノ財政デハ困難デアリマスカラ、此ノ機會ニ政府トサレマシテモ、市町村吏員ノ爲ニ政府ノ國庫補助ヲ御願ヒシタイト云フノガ此ノ請願ノ趣旨ニナツテ居リマス、尙ホ是ハ俸給バカリデハアリマセヌ、此ノ際市町村吏員トカ、市町村長ナドニ對シテモ、或ハ敘位敘勳等何カ精神のナ優遇ヲシテ戴クコトガ、戰ニ勝ツ一ツノ要諦デアルト私ハ思フノデアリマス、政府ノ政策ガ如何ニ立派ニ出來マシテモ、市町村ノ吏員ガ勉強セシケレバ、本當ニ末梢マデ到達ヲシマセヌ、此ノ意味カラ政府トサレマシテモ、何トカ國庫補助ノ方法ニ依ツテ之ヲ優遇サレタイト云フノガ、此ノ請願ノ趣旨ニナツテ居リマス、何卒政府ノ意見ヲ徵セラレマシテ、御贊成ノ上御採擇アラントヲ希望致シマス

○庄司委員 御許シフ得マシテ、只今ノ請願ニ對スル永田紹介議員ノ趣旨ノ御辯明ニ關聯致シマシテ、私モ郷ニ在ツテハ町村長ノ立場ニアリマス關係上、何等カ市町村ノ吏員ニ對スル政府ノ、特ニ内務省御關係ノ國家的ノ待遇、或ハ精神的ノ待遇方面ノ途ヲ御開キヲ御願ヒ申上ゲタイト云フ念願ハ、多年ソレモ、全國町村長會ノ陳情請願ヲ通シテ、御當局ニ御願ヒ申上ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、只今請願ノ御辯明ニアリマシタヤウニ、御承知ノ通り政府ノ委任事務、或ハ他ノ公共團體等ノ委任事務ガ、約八十「パーセント」ヲ占メテ居ル現在ノ町村ノ事務ノ狀態デゴザイマス、成程統後奉公ノ關係ノ專任職員ニ對スル俸給ハ、國庫ニ於テ約半額ノ御支給ヲ受ケテ居ルコトハ大變有難イコトデゴザイマスガ、戶籍寄留事務、是ハ司法省關係デゴザイマスガ、其ノ

他兵事關係、何レモ政府ノ各省ノ御仕事ヲ最末端ニ於テ分擔シテ居ル町村ノ實情デゴザイマスカラ、ソレ等ニ對シテ此ノ請願ノ如ク、俸給關係ノ一部ノ補助ハ固ヨリ望マシイコトデアリマスケレドモ、只今永田サシノ御話ノヤウニ國家的待遇、精神的待遇、斯ウ云フ方面ニ關シテモ十分御考慮ノ願ツテ、速カニ御善處ヲ御願ヒ申上ゲタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス、特ニ支那事變關係ニ於ケル所ノ論功行賞、是ハ大權ニ屬スルコトデアリマスカラ、下ノ我々ガ容喙シ得ナイコトデゴザイマスケレドモ、高位高官各方面ニ互リマシテハ、昭和十五年四月二十九日ノ日付ヲ以テ敍勳等ガ行ハレテ居リマス、市町村長或ハ市町村ノ兵事課長、サウ云フ方面ニハ未ダニ均霑サレテ居ラナイヤウデアリマスガ、ソレ等ノ關係ハドウ云フヤウニナツテ居ルカ、此ノ際御支障ガナケレバ御發表ヲ御願ヒ申上ゲタイト思フノデアリマス、固ヨリ私ハ只今ノ請願ニ對シテハ、滿腔ノ御賛成ヲ申上ゲル次第デゴザイマス

○新居政府委員 市町村ニ於キマス國政事務ノ激増ニ伴ヒマシテ、市町村吏員各位ノ日夜ニ互ル御勞苦ノ並ニナラヌモノニ對シマシテハ、我々平素ヨリ感謝致シテ居ル所デゴザイマシテ、只今永田委員ノ御話ノ通りト存ジテ居リマス、而シテ政府ト致シマシテハ、此ノ事態ニ對處致シマス爲メ、國庫カラ相當多額ノ助成ヲ致シマシテ、一面市町村ニ國政事務ノ處理、例ヘバ生活必需品資、切符制實施、或ハ國民登錄、其ノ他國民動員事務ノ施行等、斯ウ云フモノニ必要ナ職員ノ増置ヲ行ヒマス共ニ、他面市町村職員ノ待遇ノ改善、例ヘバ臨時手當、臨時

家族手當及ビ戰時勤勉手當ノ支給、醫療救濟施設ノ實施、恩給制度ノ施行等ニ努力ヲ拂ツテ居ル次第デアリマシテ、是等ノ國庫補助額ハ、明年度豫算ニ於キマシテ約五千五百餘萬圓ノ多額ニ上ツテ居ル狀況デアリマス、尙ホ以上ノヤウニ直接ノ國庫助成ノ方法ヲ以テ致シマス外、累年地方分與稅ノ増額配付ヲ行ヒマシテ、市町村ニ於ケル國政事務處理ノ財源ニ充テシムルト共ニ、市町村職員ノ最低給料ノ引上、其ノ他待遇改善ノ財源ニ充當セシメテ居ル狀況デアリマス、固ヨリ國政事務ニ關スル國費地方費負擔區分ノ調整ノ問題、或ハ市町村職員ノ待遇改善ノ問題ハ、必ズシモ現狀ヲ以テ満足スベキモノデアリマセヌノデ、政府ト致シマシテモ是等ノ問題ニ付キマシテハ、今後不斷ノ注意ヲ拂ヒマシテ、適時ニ適策ヲ講ジテ、萬遺憾ナキヲ期シタイト存ジテ居リマス、尙ホ只今御話ノ精神的優遇ノ問題ニ付キマシテハ、過日別ノ委員會ノ席ニ於キマシテ、政府委員カラ御話ガアツタ思ヒマスガ、目下是ガ實現ニ努力致シテ居ル次第デゴザイマス、又主トシテコ、デハ經費ノ點カラノ趣旨辯明デゴザイマスガ、市町村ノ事務ガ御話ノヤウニ國政事務ノ爲ニ非常ニ忙シクナツテ居ルト云フ狀況ニ鑑ミマシテ、是等國政事務ヲ市町村ニ執行シテ戴クト云フ點ニ關シマシテモ、成ルベク其ノ事務ノ分量ヲ少クスルトカ、或ハシテ戴クニ致シマシテモ之ヲ簡素ニ致シマシテ、ヤリ良クスルト云フヤウナ點ニモ常ニ十分努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ支那事變以來ノ論功行賞ノ點ニ付テノ御話ガアリマシタガ、是ハ內務省トシテ所管致シマスヨリモ、寧ロ內閣ノ問題デハナイカト

モ存ジマス、又事柄ノ性質上、私カラ此處デ申上ゲルノヲ差控ヘタ方ガ適當デハナイカト思ヒマスノデ、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第三、大阪、津間道路改修ノ請願、文書表第八八號——川崎克君

○川崎克君 數年前大阪灣ト伊勢灣トヲ繋グ大キナ道路計畫ニ對シマシテ、産業上軍事上ノ必要ガアルト云フノデ請願ヲ致シタノデアリマス、是ハ採擇ニナツタノデアリマシテ、其ノ後此ノ問題ハ府縣道ノ中デモ指定府縣道ト云フコトデ、各關係ノ府縣ニ於テ道路ノ改修ヲ促進セラレテ居ルノデアリマス、三重縣ノ如キモ道路ノ改修ニハ大イニ力ヲ致シテ居リマスケレドモ、幅員ガ狹クテ基準幅員ニ達シナイ狀態デアリマス、然ルニ名古屋ト大阪ノ間ニ自動車道路ガ出來ルコトニナリマシテ、現在此ノ計畫ガ相當進シテ居ルノデアリマスガ、此ノ計畫ガ達成致シマス、伊賀ノ上野ガ中心ニナツテ此ノ津ト大阪間ノ道路ガ接觸シテ居リマスノデ、上野、津間ノ道路ガ完成スレバ、最初御願ヒシタ請願ノ趣旨ハ半分以上達セラレル譯デアリマシテ、上野カラ以西ハ二重ニナラナクテモ済ムノデアリマス、丁度上野デ交又スルコトニナルノデアリマスカラ、名古屋、大阪間ノ自動車道路ノ開通ト時ヲ同ジウシテ此ノ計畫ヲ御進メ願ヒタイト云フノガ、本請願ノ趣旨ナノデアリマス、政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○宮村政府委員 只今御述ベニナリマシタ大阪、津間ノ道路改修ニ關スル請願ノ御趣旨ノ中、特ニ津、上野間ノ府縣道改良ノ緊要ナコトハ、政府ニ於キマシテモ夙ニ之ヲ認メマシテ、御承知ノ通り昭和十一年度以降國庫助成ノ下、連年三重縣知事ヲシテ改良工事ヲ實行セシメ、本路線ノ改良ニ努力シテ居ルノデアリマスガ、明年度ニ於キマシテモ、前年度ニ引續キマシテ其ノ一部ヲ改修セシムルコトニシテ居リマスルガ、殘餘ノ區間ニ付キマシテハ將來出來ルダケ速カニ是ガ實施ニ付テ篤ト考慮スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第四、國道十號線並十一號線改修ニ關スル請願、文書表第九〇號——紹介議員松本忠雄君

○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、此ノ請願ノ趣旨ハ、長野縣北佐久郡輕井澤町ヨリ新潟縣高田市、中頸城郡直江津町ヲ經テ西頸城郡歌外波村北陸本線親不知驛方面ニ通ズル國道十號線同十一號線ハ、表日本ト裏日本ヲ結ブ國防上並ニ文化産業上重要ノ幹線ニシテ、今日マデ部分的ノ改修アリタルモ、是ガ全線ノ改修ヲナサザレバ、主要國道トシテ所期ノ效用ヲ發揮シ能ハザルモノト信ズ、仍テ前記國道中未改修區間ヲ速カニ改修セラレタイト謂フノデアリマス、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○宮村政府委員 本國道改良ノ緊要ナコトハ政府ニ於キマシテモ夙ニ之ヲ認メマシテ、

昭和六年度以降連年改良致シテ參ツテ居ルノデアリマシテ、昭和十八年度ニ於キマシテモ其ノ一部ヲ改良中デアリマス、明年度ニ於キマシテモ引續キマシテ高田市附近ノ改良ヲ國庫助成ノ下ニ新潟縣知事ヲシテ執行セシムルコトニシテ居リマス、爾餘ノ區間ニ付キマシテモ將來出來ルダケ速カニ是ガ實施ニ付テ、篤ト考慮スルヤウニ致シタイト思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○清水委員長 御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第五、斜里川河口改修並斜里港漁港修築ノ請願、文書表第一〇一號——紹介議員東條貞君

○坂東委員 是モ私ガ代ツテ請願申上ゲマス、此ノ請願ノ趣旨ハ北海道斜里郡斜里港ハ港灣施設ノ不備ナルニ依リ遠洋漁業船ヲ容ル、コトヲ得ザルヲ以テ、水産豐庫タル「オホーツク」海ヲ眼前ニシテ無限ノ水産資源ヲ開發シ得ザルノミナラズ、根室網走兩港間ノ航行船ノ海難避難場所トシテ利用スルコトヲ得ザル爲メ、過去幾多ノ慘事ヲ惹起セルハ洵ニ遺憾ナリ、仍テ政府ハ斜里川河口ヲ改修シ、漁港ヲ築設シテ之ヲ漁業根據地並ニ避難港トセラレタシト云フノデアリマス、政府ノ御意向ヲ伺ヒマス

○新居政府委員 斜里川河口ニ對シマシテハ、昭和十三年度以來河口灣曲部ノ改修ト、堆積土砂ノ流下及ビ水位ノ低下トヲ圖ル爲メ、必要ナ導水堤工事ヲ施行致シマシテ結果、水害除去ニ相當ノ效果ヲ齎シマスト共ニ、河口ノ利用ニ付キマシテモ漁舟ノ碇泊

出入ニ便トナルニ至ツタノデアリマスガ、其ノ後更ニ斜里川改修工事ノ必要ヲ認メマシテ、目下昭和十七年度以降五箇年間ノ繼續事業トシテ、總工費八十一萬七千餘圓ヲ以テ工事ヲ實施中デアリマス、而シテ斜里川河口ニ漁港ヲ修築シマスコトハ「オホーツク海」殊ニ知床半島附近ニ於ケル漁田開發ノ根據地トシテ相當重要性ヲ認メル次第デアリマスガ、何分ニモ漁港修築ニハ諸種ノ條件ヲ必要ト致シマスノデ、右河川改修工事ノ完成ヲ俟ツテ地盤、漂砂及ビ風浪等ニ付キマシテ、十分基礎調査ヲ遂ゲマシタ上、更ニ將來適當ノ時期ニ於テ善處シタイト思ツテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第六、第九及ビ第十八ハ紹介議員ガ同一デアリマスカラ一括議題トナスニ御異議アリマセスカ
〔御異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 ソレデハ一括議題ニ供シマス
日程第六、高隈川「ダム」築設ノ請願、文書表第一二六號

日程第九、横瀨海岸ニ運河開鑿ノ請願、文書表第一四八號

日程第一〇高須川上流ニ「ダム」築設ノ請願、文書表第一四九號——紹介議員永田良吉君

○永田委員 此ノ高隈川ノ「ダム」ハ内務省ノ方カラモ大變御調査ヲシテ戴キマシテ、感謝致シテ居リマスルガ、此ノ「ダム」ガ出來マスルト、笠野原ノ一萬町歩ノ畑ガ一千

町歩乃至二千町歩ハ樂ニ水田ガ出來ルノデアリマス、之ヲ實現スルコトハ一面電源ノ開發ニモ宜ウゴザイマスシ、尙又水田ノ灌溉用水、又新興都市鹿屋市ノ水道問題ニモ大變調子ガ好イト思ツテ居リマス、斯様ナ意味カラ戰時下所謂食糧並ニ戰力増強ノ上ニ是ハ急設ヲ要スル問題ト思ヒマスルノデ、特ニ場所ハ高隈村カラ百引村ニ至ル縣道ノ所デ、其ノ役場カラ約三「キロ」乃至四「キロ」ノ所ニ狹イ谷ガアリマス、其處ニ「ダム」ヲ作ルト千町歩ヤ二千町歩ノ開田ハ樂ニ出來ルト思ツテ居リマスノデ、之ヲ速カニ實現シテ戴キタイト云フ請願デアリマス

次ニ高須川上流ニ「ダム」築設ノ請願、是ハ十數年前農林省デ是ガ計畫ガアツテ、約二百町歩ノ水田ヲ開拓スルヤウニナツテ居リマシタガ、偶、其ノ場所ガ海軍ノ航空隊ニナツテシマツタノデ沙汰止ミニナツテ居リマスガ、只今申上ゲマシタ通り是モ三箇所位「ダム」ヲ作リマス、マダ「其ノ流域ニ

澤山ノ水田モ出來マス、尙又特ニ海軍ノ工廠、航空隊方面並ニ市民ノ水道、是モヤハリ高隈川、高須川ハ鹿屋市ヲ挾シ二ツノ大事ヲ川デアリマスカラ、此ノ兩方ヲ御調査ノ上「ダム」ヲ設置シテ戴キタイト云フ請願デアリマス、從來鹿兒島縣ハ畑ガ廣ク、原野モ廣クアリマスガ、水田ガ至ツテ少イ、ソレデ島津藩政時代ニ於テモ、大隅半島ノ鹿屋市ニハ島津岩子ト云フ方ガ、今カラ二百五十年前ニ女性ノ身デアリナガラ、薩南ノ阿多ト云フ所ノ萬瀨川ニ堰ヲ築イテ廣イ田圃ヲ開拓シテ居ラレ、又大隅半島ニ於テハ馬場ト云フ縣會議員ガ蓬原ニ開田ヲ致シテ居ル、又加治木國府其ノ他ノ方面ニモ島津藩

公ハ海ヲ埋メテ水田ヲ作ツテ居ラレ、藩政時代ニ於テハ斯クノ如ク水田ノ開拓ニ非常ニ努力ヲシテ居ツタニ拘ラズ、明治、大正、昭和ヲ通ジテ、未ダ鹿兒島縣ニ斯ウ云フ大的ナ開田ノ仕事ガ出來ナイト云フコトハ、洵ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、戰時下食糧問題ノ強調セラル、今日、農商省ハ唯用排水ノ幹線ノ利用ニ依ツテノミ増産ヲセラレト云フヤウナ、サウ云フヤウナ小サイコトニ著眼セズ、斯ウ云フ大的ナ數千町歩、數萬町歩ノ開田ヲヤルコトガ、目下最モ大事ダト思フノデアリマス、而モ是ハ物ノ考ヘ方ニ依ツテハ、決シテ澤山ノ資材、人手ヲ要セスニ出來ルノデアリマス、是ハ一ツ農商省ト御話合ノ上、特ニ國防ノ責任アル海軍省ト御話合ノ上、此ノ二ツノ「ダム」ノ設置ヲ希望シテ已マナイノデアリマス

次ニ九ノ横瀨海岸ニ運河開鑿ノ請願デアリマスガ、是ハ實ハ數回請願シテ居リマス、日本土木工業界ニ於テ、何故ニ日本ノ工業方面ノ方ガ運河開鑿ニ手ヲ著ケナイカ、世界ノ歴史ヲ見デモ、支那デモ「ジャワ」デモ、歐米諸國デモ皆運河ノ開鑿ニ依ツテ舟運ノ利便ヲ圖ツテ居ル、然ルニ日本ニ於テハ未ダ運河ノ開鑿ニ手ヲ著ケケタ例ガナイト云フコトハ、日本工業界ノ大恥辱デア、殊ニ大東亞戰爭ノ此ノ際ニ於テ、日本ニ運河開鑿ガナイト云フコトハ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイ、此ノ横瀨海岸ニ「キロ」三「キロ」ノ運河ノ開鑿スレバ、アノ海軍ノ猛訓練ノ歴史アル志布志、有明灣ガ非常ナ港灣ノ利便ヲ享ケテ、國防上利

アル點モ多ク、尙又目下南方ニ伸ビツ、通上又軍需工業ノ開發上等ニ資スル點ハ洵ニ甚大デアルト思フノデアリマス、私ハ少

イ經費ヲ以テ直チニ利用價值ノアル有明、志布志沿岸ノ横瀬海岸ニ、速カニ運河開鑿ノ計畫ヲ御願ヒシタイト思フデアリマス、此ノ點ニ付テハ前ニ高隈川ノ「ダム」ノ研究ヲヤツテ戴イタヤウニ、幸ヒ内務省ノ肝屬川ノ河川改修ノ出張所ガアリマスカラ、アノ方面ニ於テ速カニ運河開鑿ノ研究ヲ進メラレンコトヲ御願ヒスルデアリマス、以上三件ハ政府委員ノ説明ヲ俟タズ、戦力増強ノ爲メ何卒御採擇アラントヲ希望シテ已マナイ次第デアリマス

○新居政府委員 高隈川「ダム」築設ニ關スル件ハ、目下肝屬川ノ上流ヲ調査中デアリマスカラ、是ノ調査完了ヲ俟ツテ篤ト考究致シタイト思ヒマス、高隈川上流ニ「ダム」築設ニ關スル件ニ付テハ、慎重調査研究ノ結果ニアラザレバ工事ニ著手スルコトガ出来マセムカラ、何レ實情調査ノ上研究スルコトニ致シタイト思ヒマス、横瀬海岸ニ運河開鑿ニ關スル件ニ於キマシテハ、只今ノ所政府ニ於キマシテハ實地調査ノ計畫ハナイノデアリマスカラ、併シ運河開鑿免許出願ガアリマスレバ、政府ト致シマシテ出來ルダケ積極的ニ之ニ援助ヲ與ヘル考ヘデ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○永田委員 斯カルマダ日本ノ歴史ニナイコトハ、此ノ港灣問題ヲ今度御研究ナサル場合ニ、今マデ内務省トカ大藏省、或ハ商工省ト各種ノ方面ニ港灣行政ガ分離シテ居ツタ結果、我々地方カラ色々請願ヲシテモカラ何モ運河開鑿ノミヲ孤立シタモノニナサラナイデ、他ノ港灣行政ト共ニ運河開鑿ニ依リ港灣問題ヲ解決スルト云フ意味ニ於テ、是ハ民間カラ開鑿ノ出願ヲセヌデモ、

内務省ノ方カラモ積極的ニ、日本ニ於テ初メテ運河ノ開鑿シテ、サウシテ此ノ交通ノ利便ヲ圖ルト云フ新生面ヲ開イテ戴キタイト云フ意味カラ、何故ニ内務省ハ斯カル運河ノ開鑿ヲ躊躇逡巡ナサレカ、此ノ點私ハ國家ノ前途ノ爲ニ殘念ニ思フ次第デアリマス、ドウカ此ノ際百尺竿頭一步ヲ進メラレテ、内務省ノ方カラ運河開鑿ニ先鞭ヲ付ケテ戴キタイ、是ガ請願ノ主ナル趣旨デアリマス、ドウカ此ノコトヲ御含ミノ上、速カニ御調査ヲ願ヒタイ、是ハ直グ開イテ戴キタイト云フコトハ御願ヒ致シマセヌガ、調査ダケハ御願ヒシタイト云フ意味ヲ御含ミノ上、採擇アラントヲ願ヒマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 三案共採擇ニ決シマシタ
○清水委員長 日程第七名寄支廳設置ノ請願、文書表第一三九號 紹介議員坂東幸太郎君

○坂東委員 本請願ノ趣旨ハ北海道網走、宗谷、上川及ビ空知各支廳現在ノ管轄區域ハ、交通不備ナリシ時代ニ定メラレタルモノナルガ故ニ、交通産業著シク發展セル今日ニ於テハ、行政上ノミナラズ經濟交通上不便少カラザルモノアリ、而シテ上川支廳管轄ヨリ天鹽國上川、中川兩郡ヲ網走支廳管轄ヨリ紋別郡ノ一部ヲ、宗谷支廳ヨリ枝幸郡ヲ、空知支廳ヨリ雨龍郡幌加内村ヲ割キ、以上ノ分割地ヲ管轄區域トスル一支廳ヲ新設シ、以テ各寄區裁判所ノ管轄區域ト略、同一ナラシムルハ最適當ナリト信ズ、仍テ前記地方ヲ管轄區域トスル支廳ヲ其ノ中心地ナル名寄町ニ設置セラレタイト云フ請

願デアリマスガ、政府ノ御所見ヲ伺ヒマス
○新居政府委員 現在ノ上川、網走、宗谷及ビ空知ノ各支廳ノ管轄區域ヲ割イテ各寄支廳ヲ設置致シマスコトハ、關係各支廳ノ管轄區域ニ影響スル所ガ少クナイバカリデナク、是ガ爲ニ宗谷ノ如キハ一支廳ヲ設置スルノ要ナキニ至ルヤウナ次第デアリマシテ、本件ハ他ノ支廳ノ管轄區域共併セテ尙ホ慎重考究ヲ要スルコトト認メテ居ル次第デゴザイマス

○坂東委員 此ノ請願ハ屢、出マシタガ、只今政府委員ノ御答辯ノヤウニ、各支廳ト隨分關係ガアリマス、併シ兎ニ角他ノ支廳モヤハリ此ノヤウナ狀態ニアリマスノデ、隨テ全支廳ニ互リマシテ十分研究サレマシテ行政區域ノ變更等ヲ行ヒ、置クベキ所ニ置イテ、十分更ニ慎重ナル御研究ヲ御願ヒシタイ、其ノ意味ニ於テ採擇ヲ御願ヒ致シマス

○清水委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ
○清水委員長 日程第八、聲問、更喜古内兩河川治水工事促進ノ請願、文書表第一四五號 紹介議員坂東幸太郎君

○坂東委員 此ノ請願ノ趣旨ハ北海道稚内町字聲問及ビ更喜古内ノ二大原野ハ、農耕地トナルベキ大地積ヲ有スルモ、兩原野ヲ流ル、聲問、更喜古内兩河川ハ河水氾濫シ、春秋ノ候ニ於テハ一望沼ト化スルノ狀態ナリ、然ルニ兩河川ノ一部ヲ切替フルト共ニ更ニ排水溝ヲ設クルニ於テハ、兩原野中約三千町歩ノ土地ハ直チニ乾燥シ、移民ヲ入地セシメ得ベシト信ズ、仍テ政府ハ前記稚

内町聲問川及ビ更喜古内川ノ切替及ビ排水工事ヲ施行セラレタイト云フ請願デアリマス、政府ノ御所見ヲ伺ヒマス

○新居政府委員 本請願ノ兩河川ニ對シマシテハ、曩ニ調査ヲ行ツタノデアリマス、其ノ結果ニ依リマス、是ガ工事ニハ技術的ニ種々困難ナ事情ガアリマスノデ、尙ホ今後更ニ篤ト研究調査ヲ遂ゲタイト存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ望ミマス
○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 運輸通信省所管ノ日程第一七ハ内務省ニ移ルベキモノデゴザイマスカラ、此ノ場合議題ト致シマス
稚内町字拔海ニ船入澗築設ノ請願、文書表第一四〇號 坂東幸太郎君

○坂東委員 此ノ請願ノ趣旨ハ、北海道天鹽郡天鹽町及ビ宗谷郡稚内町間沿岸十八里ノ間ニハ一ノ船入澗モナキ爲四季ヲ通シ漁業上ノ危險少カラズ、風浪襲來時ニ於テ幾多貴重ナル生命財産ヲ喪失セルコト一再ナラズ、仍テ政府ハ速カニ前記稚内町字拔海ニ船入澗ヲ築設セラレタシ、ト云フ要望デアリマスガ、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス
○飯沼政府委員 北海道宗谷郡稚内町字拔海附近一帶十數里ノ間ニハ適當ナ船入澗ガアリマセヌノデ、政府ニ於キマシテモ其ノ築設ノ必要ヲ認メマシテ、曩ニ實地調査ヲ致シタノデアリマス、其ノ結果技術的ニ困難ガアルバカリデアリマセヌデ、比較的多額ノ工費ヲ要スル見込デアリマスノデ、更ニ精細ニ調査ヲ行ヒマシタ結果ニ依リ、適

當ナ設計ヲ見マシタナラバ、是ガ實現ヲ圖ルベク考慮致シタイト存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ望ミマス

○清水委員長 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第十一ハ十二ニ變更致シマシテ

日程第一二、伊弉諾神社社號改稱ニ關スル請願、文書表第一四六號 紹介議員南鐵太郎君

○南委員 請願ノ趣旨ヲ申述ベマシテ、御採擇ヲ御願ヒ致シマス、伊弉諾神社ニ神宮號ヲ賜ハリタイト云フノデアリマス、伊弉諾ノ大神ハ長クモ皇祖天照大神ノ御父尊ニ在シマシテ、國土ノ修理固成、諸神ノ生成、蒼生育化ノ洪業ヲ畢ヘ給ヒ、貴子三柱ノ神ノ所知ノ事項ヲ定メラレ、皇國根元ノ胚胎ヲ確立シ給ヘル後、御親ヲ淡路多賀ノ靈域ニ幽宮ヲ造リ在シテ、長ク隠レ在シ、永久ニ御鎮座アラセラレテ居ルノデアリマス、是ガ實ニ當神社デアツテ、御神德ハ昭々永ヘニ國土ヲ守護シ給ヒ、國民齊シク崇敬措ク能ハザル所デアリマス、日本書紀ヲ見マス「伊弉諾尊神功既畢而靈運當遷是以構幽宮於淡路之洲寂然長隱者矣」ト云フ記事ガゴザイマス、又古事記ノ伊勢本ニ、即チ元神宮稱宣御巫家ノ所藏デアリマス、ソレニ依リマス「故其伊弉那岐大神者坐淡路之多賀也」トアリ、其ノ欄外ニハ「淡路多賀宮」ト記シテアル、舊事紀ニモ「坐淡路多賀者矣」ト云フコトガアリマス、延喜式神名帳ニ「淡路伊佐奈伎神社、名神大」トアリマス、大同類聚方ノ伊用藥下ニ「淡路多賀祝等

傳云々」、延喜式神名帳ノ頭註ニ「淡路津名郡伊佐奈伎又曰多賀又天地大明神」、一宮巡詣記ニハ「二十七日郡家多賀村一宮ノ神主和泉所ニ泊ル」、斯ウ云フ記事ガアリマス、大日本一宮記ニハ「伊佐那岐多賀社淡路多賀郡」、常磐草ニハ「多賀村ニアリ一宮多賀社ト言フ」、斯ウ云フ風ニ色々記録モアルノデアリマス

謹ミテ惟ルニ當神社ノ起源ハ既ニ太古草創ノ時ニ屬シ、全國十一萬餘ノ神社中最モ古イ大社デアツテ、御祭神モ亦最初ノ御祖神ニアラセラレ、殊ニ御祭神ノ御親ヲ造リ給ヘル洵ニ崇高尊嚴ナル幽宮デアリマス皇學ノ大家鈴木重胤翁ハ日本書紀傳ニ「清和天皇實錄ニ、貞觀元年正月二十七日甲申ニ京幾七道諸神ノ進階總テ二百六十七社ナリシ、其最初ニ奉授淡路國無品勳八等伊佐奈伎命一品ト有ルモ餘社ニハ例無キ御崇敬ナリ、然レドモ上古ニハ無キ事ナレドモ當時世ニ被行カリシ宮號ヲ奉ラセ給ハザリシコトハ遺憾キ事ナリケレ」ト論ゼラレタノハ實ニ宜ナリト申スベキデアリマス、洵ニ大御神ノ御神績ノ宏大崇高且ツ天照大神及ヒ素盞鳴尊、月讀尊ノ御親神ニ在シマシテ、而モ三柱貴子神ノ尊キ御功績ヲ立テ給ヘルハ又以テ御親神ノ御稜威ニ依ルモノト言フベク、御恩顧ハ炳乎トシテ天地ニ洽キガ故デアリマス、古事記ニ大御神ノ尊稱ヲ用ヒタモノハ唯天照大神ト伊弉諾大神トノミデアアルコトヲ拜シマシテモ、神國開發進展ノ上ニ偉大ナル神功ヲ樹テサセ給ヘルコトハ明カデアリマス、即チ特別尊嚴ナル當神社ヲ他ノ一般官國幣社ト其ノ社號ヲ同ジウシテ奉稱スルト云フコトハ恐懼措ク能ハナイ所デアリマス、願クハ速カニ其ノ

列ヲ進メ、特ニ神宮號ニ御改稱アラセラレシコトヲ御願ヒスル次第デアリマス、蓋シ御神德ヲ闡明シ、以テ益々崇高ナル御稜威ヲ欽仰シ、敬神ノ大義ヲ示シテ國民ノ歸向スル所ヲ知ラシメタルコトハ偏ヘニ八百萬神ノ御神慮ニ副ヒ奉ランガ爲デアリマス、謹ンデ申上ゲマス、ドウカ願ハクハ採擇アラシコトヲ希望致シマス

○飯沼政府委員 伊弉諾神社ノ昔カラ尊イ由緒ヲ御持チニナツテ居リマスコトハ、只今縷々御述ベニナリマシタ通りデゴザイマス、問題ハ御社號即チ只今官幣大社伊弉諾神社ト申上ゲテ居リマスノヲ、官幣大社伊弉諾神社ト申上ゲタルヤウニト云フ御趣旨ナデアリマスガ、是ハ實ハ昨年モ申上ゲタコトデアリマスガ、今日神宮號ヲ申上ゲテ居リマスノハ、日向三代ノ皇祖ヲ御祀リ致シマシタ神社三社、ソレカラ歷代ノ天皇ヲ御祀リ申上ゲマシタ神社、ソレカラ外地デ御祀リ申上ゲテ居リマス特別ナ神社ヲ除キマシテハ、皆昔カラ尊イ由緒ヲ御持チニナツテ居リ、官幣大社何々神宮ト申上ゲテ居ルノデゴザイマス、此ノ伊弉諾神社ニ付キマシテハ只今色々御話ガゴザイマシタガ、其ノ中ニモ例ニ御引キニナリマシタ延喜式ノ神名帳ナドニモ、淡路ノ伊弉諾神社ト書イテアリマスヤウナ譯デ、神宮ト申上ゲタ事例ガ見當ラナイノデゴザイマス、隨テ今日ノヤウニ伊弉諾神社ト申上ゲテ居ルノデアリマス、左様ナ譯デ、今遽カニ之ヲ神宮ト申上ゲルコトニ付キマシテハ、尙ホ十分考究ヲ致シテ見ナケレバナラヌト考ヘマス、請願ノ御趣旨ニ付キマシテハ能ク拜聽致シマシタ

○南委員 私委員トシテ政府ノ所見ヲ改メテ御願ヒ致シマス、政府ハ我ガ國體ノ精華ト云フコトニ付キマシテ、忠孝一本ノ思想ヲ一本トセラレタルコトニ御反對ガナイト私共確信致シマス、茲ニ肇國ノ精神ヲ昂揚スルト云フコトニモ御反對ガナイ答デアル、而シテ私特ニ御伺ヒシタイトハ、伊弉諾尊ト云フ方ハ、我々ガ人間トシテノ御先祖トシテ崇敬シ奉ルバカリデハナイ、御承知ノ通り國土ヲ産ミ、山川草木ヲ産ミ、神々ヲ産ミ奉ツタ、即チ日本ノ有リト凡ユルモノノ御祖先デアリマス、而シテ此ノ神様ハ我々ノ最モ遠イ御先祖トシテ、御皇室ノ明津神ノ御遠祖トシテ拜ミ奉ツテ居ル所ノ天照大神ノ御父神様デアルト云フコトハ、青史ニ於テハツキリト現ハサレテ居ルノデアリマス、他ニ神様ハ幾多アリマシテモ、成程日本書紀ノ一書ニハ小サイ所ニ伊弉諾尊、伊弉諾尊ノ先祖ノ系統ヲ書イタモノモアルヤウデゴザイマスケレドモ、ソレハホソノ一書デ小サイ所デアリマシテ、何人モ疑ハナイノハ、即チ伊弉諾尊ト云フモノハ天照大神ノ御父君デアルト云フ點デ、是ハドノ青史ニモ疑フ餘地ノナイ所デアリマス、サウシテ其ノ神ノ御祖先トノ關係ト云フモノハ青史ニ於テ認メラレテ居ラナイノデアリマス、即チ忠孝一本ト云フ思想ガ即チ國體ノ精華デアル、我ガ國民精神ヲ昂揚スベキ目標デアルトスルナラバ、其ノ神様トシテノ人間トシテノ一番ノ御祖先、崇敬ノ的トナル天照大神ヲ日本ノ一番ノ崇敬ノ中心トスルコトハ無論當爲デアリマス、又更ニ降ツテハ明津神ヲ現在ノ崇敬ノ的ニスルノモ是ハ當然デアリマス、併シソレダケデハイカス、其ノ遠祖ニ遡リマシテ、天照大神ノ更ニ御親神デアルト云フコトガハツキリシテ居ル

居リマス、ソシナコトヲ早く言ヘバ宜イノ
ニ、斯ウ御考ヘニナルカモ知レマセスガ、
政府ガ思ツテイラツシヤル通り、農村ノ人

ハソナニ敏感デアリマセヌ、常會ヲ通ジテ色々鹽ノコトヲ言フ場合モアリマスケレドモ、動トモシマスト仕事ノ忙ガシイ結果、申出ヲ怠ルコトモアルノデアリマス、私ハ政治ハ親ガ子ヲ思フト同ジヤウニ、オ上ニ立ツ人ガ能クモノヲ察シテ、早ク手ヲ付ケテ戴キマセスト、立派ナ成績ハ舉ラスト思フノデアリマス、子供ガ泣イデカラ初メテ糧ヲヤルト云フコトハ遅イ、子供ガ寒カラウ、饑ジカラウト云フコトハ、オ上ニ立ツ人ガ早ク其ノ時ノ事情ヲ察シテ、サウシテ敏速ニ配給ヲヤツタ場合ニ立派ナ結果ガ舉ルト思ヒマス、此ノ意味カラ私ハ今年ハ農山漁村ニ對シテ、鹽ノ増配ヲモツト現在ヨリ數等増シテヤツテ戴キタイト云フコトヲ要望スル次第デアリマス、尙ホ又現在鹽ガ足リナイナラバ、私ノ鹿兒島縣ノ大隅ニモ垂水、新城ガ最近マデ鹽ヲ拵ヘテ居リマシタ、今デモ苦汁、アレダケハ自家用ヲ許シテ居ラレマスガ、是等ハ神代ノ昔カラ鹽ヲ造ツテ居ツタノデアリマスカラ、斯ウ云フ時期ニハア、云フ鹽田ヲ復活シテ、國內ノ自給自足ノ方法モ御考慮ノ上ニ入レテ戴キタイト云フ要望モ之ニ加ヘテアリマス、何卒以上申上ゲマシタコトヲ御酌量ノ上、増配ノコトヲ政府トシテモ御配慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ請願シタ譯デアリマス、何卒滿場一致ノ御賛成ヲ得テ採擇アラシコトヲ希望致シマス

○濱田(德)政府委員 只今鹽ガ國民生活ニ非常ニ必要デアアル、殊ニ戰時下ニ於ケル農山漁村ノ生活ニ於キマシテ、缺クコトヲ出來ナイ最重要ナモノノ一ツデアルト云フコトハ、請願ノ趣旨ノ御説明ノ中ニ御指摘ニナツタ通りデゴザイマス、政府ニ於キマ

シテモ國民ニ對シマスル鹽ノ供給ヲ確保スルコトニ對シマシテハ、最大ノ努力ヲ傾注致シテ居ル次第デゴザイマス、唯御參考ノ爲ニ鹽ノ供給力ノ方面ニ付キマシテ、一寸御説明申上ゲテ置イタ方ガ宜シカラウト思ヒマス、大體ノ事柄ヲ申上ゲマスレバ、國內ニ於キマスル生産鹽ヲ以テ致シマシテハ、到底國民ノ食料用鹽ノ全部ヲ賄フコトガ出來兼ネテ居ルノデアリマシテ、之ヲ滿洲國或ハ中華民國、關東州、臺灣等ニ産シマスル所謂近海鹽ヲ以テ補給補足致シテ居ルヤウナ實情デアリマス、國內ノ生産鹽ノ狀態ハ、最近天候ノ不良勝チ、或ハ風水害等ノ被害ヲ受ケマシテ不作勝チニナツテ居リマスノデ、政府ト致シマシテハ努メテ此ノ近海鹽ノ移輸入ヲ増強致シ方針ヲ持ツテ居リマス、所ガ戰局ノ進展ニ伴ヒマシテ船舶等モ逼迫致シツ、アリマス現狀ニ於キマシテハ、十二分ニ之ヲ移輸入スルト云フコトガ、マダ困難ナ實情下ニアリマスノデ、現在ニ於キマシテハ確保致シマシタ鹽ヲ最モ適正ニ配給致シ、サウシテ農山漁村ニ於キマスル實需ヲ充タスヤウニ致シタイ、斯ウ云フ方針デヤツテ居リマス、隨ヒマシテ先程鹿兒島縣ニ於キマシテ大根ノ良作ガアツタ、或ハ梅干等ニ付テ非常ニ不足勝チデアルト云フ御指摘ガゴザイマシタガ、是等ノ點ニ付キマシテハ出來マスダケ實需ニ副フヤウニ、豫メ調査モ致シマスシ、又農商當局トモ緊密ナ連絡ヲ以チマシテ、是等ノ作柄ヲ豫メ察知致シ、適正ニ配給ヲ致スヤウニ努力致シテ居ル次第デアリマス、梅干ニ付キマシテハ、本年度ノ計畫ハ前年度ノ實績ニ比シマシテ、全國ヲ平均シテ考ヘマスト、一割四分強ノ増配ヲ目途トシテ居リマス、

配給致シマシタ實績モ、昨年度ノ實績ニ比ベマスレバ約一割八分ノ増加トナツテ居リマスガ、之ヲ地域的ニ見マスト今御話ノヤウニ、私共ノ努力ノ不十分ナル點、或ハ又地方ニ於キマスル配給ノ不慣レ其ノ他ニ於キマシテ、不十分ノ點ガアツタカト存ジマス、是等ノ點ニ付キマシテハ將來尙ホ一層努力致シマシテ、又各地方ノ御協力ヲ得マシテ、適正ニ配給ヲ致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス、尙ホ農村ノ味噌、醬油ノ釀造用ノ鹽ノ配給ニ付キマシテモ、出來マスダケ之ヲ増配致シタイト存ジマス、昭和十七年度ニ初メテ之ヲ配給致シマシタ時ニ比シマシテ、昭和十八年度ハ全體ト致シマシテ約二割位ノ増強ヲ行ツタノデアリマス、併シナガラ農山漁村ニ於キマスル是等ノ實需ノ實情ニ鑑ミマシテ、來年度昭和十九年度ニ於キマシテハ更ニ之ヲ出來マスダケ、幾分デモ増強致シタイト、折角努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 御異議アリマセヌカ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 農商省所管ニ移リマス

日程第一、配合間接肥料利用ニ關スル請願、文書表第一〇號——紹介議員川崎巳之太郎君

○川崎(巳)委員 戰闘ハ益、悽愴苛烈ヲ極メル時節下ニ於キマシテ、一番重大ナコトハ、銃後ガ一固マリトナツテ戰力ヲ増強スルコトデゴザイマスルガ、其ノ戰力ハ前線ヘ飛行機等ノ新銳武器ヲ送り、銃後ニ米麥其ノ他ノ食糧品ヲ増産シ、且ツ之ヲ確保スルコトガ一番肝腎ナコトハ申上ゲルマデモゴザイマ

セヌ、然ル所、金肥ハ農商省當局ノ能ク御存ジノ通りニ、半減狀態ヲ脱シ得ナイ今日ニ於キマシテ、國民ノ衆智ヲ集メテ、凡ニル角度ヨリ肥料源ヲ探索シ、且ツ開拓シナケレバナラヌコトハ無論デアリマス、加フルニ南方カラノ米ノ輸入ハ、今年度ニ於テハ輸送等ノ關係上差控ヘルト云フ方針デ、官民協力シテヤツテ行クノデゴザイマスルカラ、其ノ南方カラ輸入スル部分ノ不足米モ内地ノ増産ニ依ラネバナラナイガ、其ノ内地ノ増産ニ要スル所ノ金肥ハ少イト云フノデゴザイマスルカラ、金肥以外ノ自給肥料ヲ多量益、衆智ヲ集メテ探シ出シ、且ツ開拓シナケレバナラヌコトハ無論デゴザイマス、茲ニ於テ從來ハ類似品トシテ取扱ハレタル配合間接肥料ニシテ、無機要素珪酸ヲ主體トナシ、更ニ「マンガン」硫酸等ヲ含有スル所ノ配合肥料ノ制限ヲ緩和シテハ下サルマイカ、是ガ請願ノ趣旨デゴザイマス、此ノ請願者ハ陸軍少將デアリマシテ、豫備ニナリマシテカラ以後、日本ノ主要食糧品ト云フコトニ非常ニ力ヲ注ギマシテ、自ラ駒場農科大學ノ學生トナリマシテ、七八年間程聽講ヲ續ケテ居ルノデゴザイマス、其ノ傍ラ自分一人ノ手デ以テ約一千坪ノ荒地ヲ開墾シテ、之ニ各種ノ農作物ヲ植付ケテ、學シテ所ヲ實驗シテ、其ノ經驗ニ依ツテ此ノ時運ニ大キクソレヲ推シ及ボシテ、國家ノ御奉公ニナレバ幸ヒダト云コトデ、専心努力シテ居ル方ガ、此ノ間接肥料ノ制限緩和方ヲ御願ヒ致シタノデ、私此ノ紹介議員トナツタ譯デアリマス、ソコデ如何ナル手續デ農林省ガ那樣ニ配合間接肥料ヲ制限シタカト云フト、昭和十七年九月二十六日農林省令第七十四號間接肥料販賣制限規則ニ依リ

マシテ、之ヲ制限シ、同年十月二十五日以降殆下全面的ニ、制限デハナクテ禁止ヲシテ居ルノデゴザイマス、ソレハ二年前ノ秋ノコトデゴザイマスガ、同年禁止シテカラ後ニ、主要食糧ノ大不作ヲ來シタガ爲ニ、昨十八年度ノ食糧増産及ビ其ノ確保ノ爲ニハ、御承知ノ通り臨時議會ヲ年ニ二度マデモ開イテ、ソレカラ農産物増産及ビ施肥問題ニ付キマシテ、屢次緊急ナル閣議決定要綱ヲ發表セラレテ居ルノデゴザイマス、サウシテ自給肥料ハ從來ノ雜草ノ堆肥、牛馬ノ厩肥ハ勿論ノコト、豚ノ糞、雞ノ糞、魚骨、厨芥、綠肥、燒土、燐炭、何デモ彼デモ澤山拵ヘテ、多ク施セト云フコトデ、政府ハ獎勵シテ居ルノデゴザイマス、左様ニ一方ニ焦リナガラ、コチラノ側ニ於テハ、其ノ間接肥料ノ制限禁止ヲ舊態依然緩和シナイノハ、ドウ云フコトデアラウカト云フノガ、此ノ請願者ノ遺憾トシテ居ル所デゴザイマス、ソコデ此ノ制限規則ニ依リマスレバ、農林大臣ノ指定スルモノノ外アルカラ、指定スルモノノ外間接肥料ハ幾ラカ許サレテ居ルヤウニ見エマスガ、實際ドノ位許サレテ居リマスカ、又其ノ後、表面ハ禁止デナクテ制限ダト云フノデ、農林大臣ノ許可ヲ得タモノハ許シテ居ルト云フノデゴザイマスカラ、既ニ許サレタモノガ幾ラ位アルカ、先ノ方ノ話ヲ進メル前ニ、參考ニ政府委員ニ御伺ヒシタイト思ヒマス

○重政政府委員 私詳シイコトハ十分存ジテ居リマセヌガ、ハツキリト許シタモノハ現在ノ所ナイヤウニ考ヘテ居リマス、此處ニ請願ノ主題ニナツテ居リマス珪酸ヲ主體トシタ間接肥料ニ付キマシテハ、其ノ許可ノ申請等モ出テ參ツテ居リマシテ、目下農事試験場ニ於テ研究ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○川崎(巳)委員 農事試験場デ研究ノ結果、制限ヲ解イテ御許シニナルモノモアリ得ルト存ジマスガ、此ノ制限規則ニ依リマス間接肥料ト云フノハ、非常ニ範圍ガ廣イノデス、ソレハ第三條ヲ見マス、間接肥料ノ定義ヲ下シマシテ「農林大臣ノ指定スルモノヲ除クノ外農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ業トシテ販賣スルコトヲ得ズ」ト斷ツテアリマシテ、其ノ間接肥料ノ定義ハ「本則ニ於ケル間接肥料ハ農林大臣ノ指定スルモノヲ除クノ外肥料取締法第一條ノ肥料以外ノ物料ニシテ農業藥劑其ノ他何等ノ名目ヲ以テスルヲ間ハズ植物ノ栽培ノ爲メ土地ニ施用シ又ハ有機物ノ醱酵促進ニ供用スルモノヲ言フ」是デハ何デモ彼デモ含シマツテ、馬糞デ此ノ中ニ含マレルト云フコトニナツテシマフ、之ヲ一面的ニ禁止シテシマツテ、ソレヲ解カズニ、一方ノ方デ急ニ慌テクサツタヤウニ、サア何デモ彼デモ、牛糞デモ馬糞デモト云フコトデ焦ツテ居ルノト調子ガ合ハナイヤウニ私共拜見スルノデゴザイマス、即チ是等ノ間接肥料ハ——

植物ヲ生成サセテ居ルノダト云フ學說ニナツテ居リマス、就中「マンガン」ナドヲ含ム珪酸肥料ガ、刺戟其ノ他ニ效果ナシトハ學界ニ於テ決シテ立證セラレテ居ナイ所ダト、私ハ斯様ニ學者方面カラ承ツテ居ルノデアリマス、珪酸ガ效能ガナイト云フ學說ヲ農林當局ハ御信ジナサルカ、此ノ點ガ一ツ、ソレカラ配合間接肥料ガ米麥等ノ主要農作物ニ有效デアルコトハ、最早ヤ議論ノ域ヲ脱シテ、既ニ實驗ヲシテ居ル、ソレハ澤山ノ例ガアリマスガ、試ミニ其ノ中カラ一、二ヲ拾ツテ見マスレバ、配合間接肥料ノ中ノ一種ニウヘノ間接肥料ト稱スルモノガアリマス、ソレハ販賣禁止以前二箇年間、北海道ヨリ南ハ九州マデ、約六千名ノ會員ガ施用シタ實驗報告ニ依リ、米ニ於テハ田一段歩カラ一石ヲ増産シ——是ハ秋田縣ノ小野敬徳氏ノ責任アル報告デス——麥ニ於テハ粒ノ重量三割ノ増加ガアツタト云フコトハ、埼玉縣ノ一會員ガ報告シテ居リマス、斯様ナモノハ各方面ニアリマスケレドモ、煩ヲ避ケテ茲ニハ申述バマセヌ、單リ米麥バカリデハナク、甘藷、馬鈴薯、芋、蔬菜、果樹等ニ對シテモ、肥效顯著ナノハ、單リ右ノウヘノ配合間接肥料ノミナラズ、他ノ間接配合肥料ノ實地ニ證據立テ、居ル所デアリマス、勿論間接肥料ヲ用ヒルニ適地不適地ハアリマスケレドモ、適地ニ用ヒレバ斯様ナ效能ノアルコトハ、民間ニ於テハ既ニ實驗済デアリマス、然ルニ之ヲ其ノ儘ニシテ置クハ、農商省當局ガ肥料ノ増産ヲ叫ビナガラ、一方ニ於テハ其ノ隘路ヲ塞イデ置イテ抛ツテ置ク勘定ニナルノデゴザイマスガ、ソレデモ此ノ隘路ヲ打開スル御積リハナイカ、ソコデ一方大藏省ノ方ヲ見マ

スルト、專賣局ヘ今度煙草ヲ澤山値ヲ上ゲマシテ高イ間接稅ヲ課セルコトニナツタノニ煙草ノ收穫ガ惡クテハ國庫ノ豫算ニ大イニ穴ガ開クカラト云フコトデ、非常ニ責任カラ、世間デ愚圖々々シテ居ル香氣者ノ暇潰シノ相談相手ニハナツテ居ラレト云フヤウナコトデ、自己流デ芥ヲ燒イタリ色々ナコトヲサセル所ノ指導ヲシテ、芥ヲ燒ク竈ニハ補助ヲスル、其ノ灰ヲ溜メル甕ニハ補助ヲシテヤルト云フコトヲ獎勵致シマシテ、茨城縣ノ水戸專賣支局ニ於テハ去一月二十六日全縣百數十名ノ指導員ヲ集メテ、其處ノ沼田局長ガ訓示ヲシテ居リマス、先日モ本院ニ於テ專賣局ノ責任者ニ伺ヒマスレバ、全國的ニサウサセテ居ルノダト云フコトヲ聞キマシタ、又茨城縣ノ養蠶地帶デアル下妻ノ蠶業取締所支所ニ於テハ、燒土ガ桑樹ノ發育ニ一番效カラト云フコトデ、燒土ヲ燒ク竈ヲバ最近五百二十何名ノ組合員ニ配ツタ、斯ウ云フコトデ、色々有效ナル間接肥料マデヲ無暗ニ壓迫シテ居ルモノダカラ、責任アル當局者ハ居タ、マレナクテ、桑ノ葉ヲ作ル者、煙草ヲ作ル者ニハ左様ナ奮發マデシテ居ル、又議會ニ於キマシテモ、肥料ガ不足デ、此ノ分デハ政府御注文ノ通りノ農作物増産ハ蓋シ覺束ナイデハナイカト云フノハ、豫算總會デ連日展開サレタ光景デアルノミナラズ、一昨日ノ本會議散會後ニハ、新聞ニモ出テ居リマシテ、農商當局モ御聞キ及ビデゴザイマセウガ、有志代議士會ヲ特ニ此ノ爲ニ開キマシテ、第四控室ニ溢ル、程ノ議員大勢ガ集リマシテ、ドウシテモ此ノ儘ノ肥料ノ計畫施設デハ心許ナイカラト云フノデ、十五名ノ實行委員ヲ立テ、農商當局ト只今折衝シテ居ル最中デア

リマス、左様ナ場合ニ尙且二年前カラ配合
間接肥料ニ對シ斯様ヲ制限ヲ置イテ之ヲ動
カサナイト云フノハ、餘リニ時局認識ガ足
ラスト私共ハ考ヘルノデゴザイマス、勿論
配合間接肥料ト云フノデ、藥同ジヤウニ效
クモノ效カヌモノ、宜イ加減ノモノモアリマ
セウカラ、ソレヲイケナイモノヲ十分ニ取
締ルナリ制裁スルノハ宜イケレドモ、全面
的ニ制限ト云フ名ノ下ニソレヲ禁止シテシ
マツテ、マダ一ツモ許シテ居ナイト云フコ
トデハ、時局ニ副ハヌモノト思ヒマス、左
様ナ意味ヲ以テ其ノ制限ヲ緩和シテ戴キタ
イト云フノガ趣旨デゴザイマスガ、政府當
局ノ御所見ヲ承ルコトヲ得バ幸ヒト思ヒマ
ス

○重政政府委員 肥料ノ食糧増産ニ極メテ
大切デアリマスコトハ、只今續々御述ベニ
ナリマシタ通りデアリマス、硫安其ノ他ノ
金肥ハ固ヨリ、自給肥料ノ増産、殊ニ只今御
述ベニナリマシタ通り焼土法ノ施行ヲヤリ
マストカ或ハ芥ヲ燒キマス、此ノ何レ
モ肥料成分ヲ或ハ供給ヲスル、或ハ植物ニ
吸收ヲ好クセシメルト云フヤウナ方法デア
リマス、是ハ私共トシテモ非常ニ現在獎勵
ヲ致シテ居ル所デアリマスガ、コ、デ只今
議題ニナツテ居リマス此ノ請願ノ趣旨デア
リマス所ノ珪酸ハ、是ハ御承知ノ通りニ肥
料成分ハ含有シテ居ラナイノデアリマス、
先程御述ベニナリマシタヤウニ、間接ニ植
物ヲ刺戟スルト云フヤウナ色々ノ作用ノア
ルコトハ私共モ承知シテ居ルノデアリマス、
殊ニ此ノ珪酸ヲ主體ニ致シマシタ間接肥料
ハ、土壤ノ如何ニ依リマシテハ若干ノ效果
ノアルト云フコトモ聞イテハ居ルノデアリ
マス、唯御承知ノヤウニ日本ノ土壤ハ珪酸

ヲ非常ニ澤山ニ含シデ居リマスノデ、果シ
テソレ以上ニ此ノ珪酸ヲ主體トシタ所ノ斯ウ
云フ肥料ヲ施用スル必要ガアルカドウカト
云フコトガ、現在恐ラク問題ニナツテ居ル
點デアラウト考ヘルノデアリマス、併シナ
ガラ御述ベニナリマシタ通りニ、現在肥料
ガ非常ニ激減ヲシテ居リマシテ、非常ニ其
ノ増産ニ努メテ居リマスニ拘ラズ、其ノ供
給ガ思フヤウニ行カナイト云フ現狀デアリ
マスノデ、ソレ等ノ點モ十分ニ考慮ニ入レ
マシテ、更ニ此ノ珪酸ヲ主體ニシタ所ノ間
接肥料ニ付キマシテ、之ヲ認メルカドウカ
ト云フ問題ニ付キマシテハ、出來ルダケ速
カニ農事試験場等モ督勵致シマシテ決定ヲ
致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○坂東委員 此ノ際此ノ問題ニ關聯致シマ
シテ、一寸重政サシニ希望ヲ述ベテ置キタ
イノデアリマス、此ノ點ハ別ニ御答辯ニハ
及ビマセヌガ、一寸委員長御許シテ願ヒマ
ス——此ノ際農商省ノ大臣初メ各當局ニ對
シテ、農機具ノ迅速ナル配給、据付、修理
ト云フ件ニ付キマシテ、強イ意味ニ於テ進
言ヲ致シタイト思ヒマス、現在中央ノ大工
場ニ於キマシテ製造セラレマシタル農機具
ハ、産業組合ト商業組合トノ所謂一元協定
ニ依リマシテ、配給ハ産業組合ガ之ヲ行
ヒ、据付、修理ハ商業組合ガヤツテ居ルノ
デアリマス、而シテ其ノ利益ノ分配ハ前者
三、後者七トナツテ居リマス、然ルニソレ
ガ爲ニ農機具ハ一旦産業組合ノ倉庫ニ入レ
テ、再び出庫シテ農家ニ送付スル順序トナ
リ、或ハ各町村トノ分配ノ割合ノ變更、豫
定ノモノガ來ナイトカ、種々ナル原因ニ依
リマシテ農家ニ行渡ルノガ非常ニ遅延スル
ノミナラズ、産業組合ハ其ノ送付シタコト

ヲ商業組合ニ通知シ、其ノ通知ヲ受ケテ特
別据付又ハ修理ニ赴クト云フコトデアリマ
スカラ、結局据付、修理共ニ遅延シ、増産
ノ大キナ妨ゲトナツテ居ルヤウナ次第デゴ
ザイマス、此ノ制度ノ爲ニ餘計ナ努力ト時
間ガ費サレ、時局下甚ダ面白クナイヤウナ
有様デゴザイマス、此ノ増産ノ妨ゲヲ如何
ニシテ是正スルカト云フコトガ、現在當面
ノ大キナ問題デアリマス、是ニ於テ政府モ
勿論研究シテ居ルノデゴザイマセウガ、結
局配給ト据付及ビ修理トヲ一元化スルト云
フコトガ、一番適當ダト云フコトニ相成ル
ト思ヒマス、新潟縣、岡山縣其ノ他ノ各縣
ニ於キマシテハ、此ノ際地方農機具製造業、
即チ所謂商業組合ト野鍛冶トヲ以テ統制組
合ヲ組織シテ、配給、据付修理等ヲ一元化
シテ取扱ハシメ、農業者ハ是ガ計畫、指導、
鑑査ノ任ニ當ル方ガ一番宜シイノデヤナイ
カト云フコトデ、既ニ統制組合ノ假定期款モ
出來テ居ルヤウナ次第デゴザイマス、此ノ
方法ニ對シテハ、代議士百餘名ノ意見ガ一
致シテ居リマシテ、既ニ其ノ代議士ノ代表
者ハ、數回ニ互リマシテ農商大臣並ニ重政
局長、其ノ他課長等トモ面會致シマシテ、
此ノ意見ヲ具陳シテ居ルヤウナ譯デゴザイ
マス、ドウカ政府ハ愈々本件ヲ決定スル場合
ニ於キマシテハ、此ノ趣旨ヲ尊重セラレテ、
戰時下増産ノ目的ヲ貫徹スルコトニ萬端算
ナカラシコトヲ切望スル次第デゴザイマス

○川崎(巳)委員 只今重政總務局長ノ御答
辯ヲ戴イテ満足スルモノデゴザイマス、成
べく速カニ農事試験場ノ試験ニ依ツテ許
スモノハ許ス、ドウカ左様ニシテ戴キタイ、
勿論刺戟劑ノ珪酸ヲ主トシタ所ノ不適地ガ
アルコトハ私共認メテ居リマス、ケレドモ

適地ノ多イコトモ亦否ムベカラザルコトデ
ゴザイマスカラ、ソレガ禁止シテカラモウ
二年ニモナツテ、大分長イコトデゴザイマ
シテ、後ニナツテ戰デモ濟ンデシマツテカ
ラデハ、泥棒ガ逃ゲテシマツテカラ繩ヲ綱
ヒ出サウナ話ニナツテ間ニ合ヒマセヌカ
ラ、此ノ増産ノコトハ必要デアリ且急ヲ要
スルノデスカラ、其ノ中ニ許スベキモノハ
速ク許サレルヤウニ、一ツ十分ノ善意アル
御努力ヲ賜ハラシコトヲ希望致シテ、此ノ
案ノ採擇ヲ望ミマス

○南委員 一寸御尋ネシタイ、此ノ間接肥
料ノ販賣ヲ制限スルト云フ趣旨ハ一體何處
ニアルノデアリマセウカ、之ヲ一寸御尋ネ
シタイ、聞ク所ニ依リマスト、何カ燐礦石
デモ一〇%以下ノモノハ肥料ニ使ツテモ役ニ
立ツノデ、又場合ニ依ツタラ、客土用ニ此
ノ土ヲ使ツテモ役ニ立ツノデ、ソレヲ販賣
ガ出來ナイノデ増産ニ非常ニ支障ヲ來スノ
ダト云フコトデアル、此ノ一〇%以下ノモ
ノヲ販賣ヲ許サレルト云フコトナラバ、モ
ウ米麥ノ増産ハ期シテ待ツベキデアル、決
シテ肥料ノ缺乏ヲ來サヌ、到ル處ニ澤山ア
ルノダト云フヤウナコトヲ聞クノデスガ、
果シテサウ云フヤウナコトガアルノカドウ
カ、一ツ此ノ點御伺ヒ致シテ置キマス

○重政政府委員 此ノ間接肥料ノ制限規則
ヲ出シマシタ理由ハ、先程モ川崎サンカラ
續々御述ベニナリマシタ中ニアリマシタ通
リニ、從來色々如何ハシイモノガ横行ヲ致
シテ、其ノ弊ニ堪ヘナカツタノデアリマス、
殊ニ肥料ガ漸次少クナツテ參リマスト云フ
ト、色々ナモノガ飛出シテ來テ、農家ハソ
レニ迷ハサレテ、不測ノ損害ヲ受ケルコト
ガ非常ニ大デアツタ譯デアリマス、隨テ是

ハ一應此ノ規則ヲ發布致シマシテ、良イモノハ許ス、如何ハシイモノハ許サナイ、斯ウ云フ方針ヲ立テ次第デアリマス、ソレカラ只今燐礦石ノ御話ガゴザイマシタガ、燐礦石自體ハ燐酸ヲ含有致シテ居リマスケレドモ、是ハ直チニ其ノ儘デ之ヲ施用致シマシタノデハ肥料ニナラナイノデアリマス、ヤハリ之ヲ硫酸等ニ依ツテ處理ヲ致シマシテ、其ノ燐酸分ヲ植物ガ吸收出來ルヤウナ形ニスル、即チ水溶性燐酸、或ハ枸橼酸溶解性燐酸ニ、此ノ燐酸ノ形ヲサウ云フ性質ニシナケレバ、是ハ結局吸收ガ出來ナイ譯デアリマス、是ハ窒素デモ同様デアリマシテ、例ヘバ私共ノ履イテ居リマス破レタ靴ノ革等ニ窒素ガ六「パーセント」カ、七「パーセント」含有ヲ致シテ居リマスガ、併シソレデハ其ノボロ靴ノ革ノ千切レタモノヲ施セバ直ニソレガ肥料ニナルカト云ヘバ、是ハ水ニ溶ケナイ、酸ニモ溶ケナイト云フヤウな窒素ノ形デアル間ハ、肥料トシテハ效カナイト云フコトニナル譯ナノデアリマス、燐礦石ノ如キモサウ云フ譯デアリマシテ、隨テ現在行ツテ居リマス所謂過燐酸石灰ト云フノハ、硫酸デ處理ヲ致シマシテ、サウシテ水溶性燐酸ニシテ、之ヲ燐酸肥料トシテヤツテ居ル譯デアリマスガ、是ハ硫酸デ處理ヲ致シマス外ニ、尙ホ之ヲ燒キマストカ云フヤウナコトニ依ツテ、若干水溶性ニ其ノ性質ヲ變化ガ出來ルノデハナイカト云フコトヲ私共ハ現在考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、今研究ヲ試驗場等ニ於テセラレテ居リマスガ、兎ニ角サウ云フ譯デアリマス、ソレカラ尙ホ一〇%程度ノ低度燐礦ハ、到ル處ニ我が國ニ於テアルト云フコトモ、サウ簡單ニハ參ラナイノデ

アリマス、其ノ燐礦石ノ分布狀況ト云フモノハ、到ル處ニアルト云フ譯デハゴザイマセヌ、ソレカラ序ニ附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒマスコトハ、燐礦石ト一口ニ申シマシテモ、其ノ原因ガ所謂鳥糞ニ依ツテ出來マシタモノハ礦石トハ言ヘナイ譯デアリマスガ、サウ云フヤウナモノハ、モウ其ノ儘デ之ヲ碎イテヤレバ宜イ譯デス、デアノ燐礦ト云フヤウナモノハ、其ノ儘デ行ク譯デアリマス、ソレハ即チ水溶性ノ燐酸ヲ含有シテ居ルカラ行ク譯デアリマシテ、普通ノ燐礦ト云フモノハ、先程申上ゲマシタヤウニ、水溶性枸橼酸溶解性燐酸ニスル爲ニハ、酸デ之ヲ處理スル、燒クト云フコトモ一ツノ方法デハナイカト思ヒマスガ、是ハハツキリ致シマセヌ、兎ニ角サウ云フ操作ヲ致サナケレバ、肥料トナラヌ譯デアリマス

○南委員 モウ一ツ附加ヘテ伺ヒマスガ、化學肥料ノ製造會社デ、實際化學肥料ノ製造ヲヤツテ居ルノハ一部デアツテ、軍需品ノ製造ヲ主ニヤツテ居ル、サウスルト軍需品ノ方ハ特別扱ヒヲ受ケテ、肥料ノ製造ノ方ハ別扱ヒデヤツテ居ル、其ノ爲ニ非常ニ工場ノ従業員ノ士氣ニ影響シテ、實際肥料ノ増産ト云フモノガ減退スル、サウシテ同時ニ他面ニ於テ食糧生産ト云フコトガ五大産業ニモ重要産業ニモ比スベキモノデアアル云フコトニナツテ居ルニモ拘ラズ、米麥ノ増産ニ缺クベカラザル肥料ノ生産ニ付テ、特別ナ劣位ナ扱ヒヲ受ケテ居ルト云フコトニ付テ御關心ガアリマセウカ、ソレハ何カ善處セラレテ居リマスカ、是ハ非常ニヤカマシク論議セラレテ居ルノデアリマス

○重政政府委員 先般ノ議會デ政府ニ於キ

マシテ化學肥料ヲ五重點産業ト同様ニ取扱フ、斯ウ云フコトヲ聲明致シマシテ、先年ノ十一月ニ勅令ヲ改正致シマシテ、戰時行政職權特例ニ其ノ趣旨ヲ謳ツタ譯デアリマスガ、是ハ勅令ノ改正ヲ致シマス前カラ、アノ聲明以來、私共ト致シマシテ具體的ニ飛行機、鐵、石炭ト同様ナ取扱ヒヲ致ス措置ヲ順次講ジテ參ツテ居ルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、電力ノ規正ノ際ニ於キマシテモ、硫酸肥料ノ製造用ノ電力ニ付テハ、是ハ鐵鋼、石炭、飛行機等ト平等ナ取扱ヒヲ致スト云フコトデ實行致シテ參ツテ居リマス、其ノ消費規正ノ「ランキンダ」モ最上位ニ之ヲ上ゲタ、石炭ニ付キマシテモ是ハ同様ナ取扱ヒヲ致シマシテ、此ノ原料炭ニ付キマシテハ鐵鋼ニ必要ナ石炭ノ割當ヲ致シマスノト同列ニ、是ハ割當ヲ致シテ居ル、資材ノ點ニ付キマシテモ、出來ルダケハ優先的ニ此ノ方面ニ資材ヲ渡スヤウニ、物動計畫ニ於テモ計畫ヲ致シテ居リマス、唯資材ノ點ニ於キマシテハ壓延及ビ鋼管ガ最モ問題デアリマシテ、是ハ同ジヤウニ、船舶其ノ他重要ナ軍需工場ニ於テモ隘路ニナツテ居ル譯デアリマシテ、是ガヤハリ硫酸ノ製造工場ニ取リマシテハ必要ニナルノデアリマスガ、其ノ點デ資材配當ガ若干遅レテ居ルノデアリマス、是ハ至急先年末ニ手當ヲ致シマシテ、壓延及ビ鋼管モ特ニ補修シテ能率ヲ上ゲルト云フ爲ニ必要ナモノハ確保致シテ次第デアリマス、ソレカラ軍需工場トノ關係ニ於キマシテハ、勿論只今御述べニナリマシタヤウニ、軍需用硫酸製造會社ニ於テ「アルミニウム」ヲ造リ、或ハ「メタノール」ヲ造ルコトハヤツテ居リマスガ、問題ハ硝酸、「メタノール」ガ將來其

ノ方面ノ需要ガ増大致セバ、硫酸ヲ造リ、「アンモニア」ヲ造ルコトトドウ調節スルカト云フコトガ、現在將來ニ互ツテノ問題デアリマス、私共ト致シマシテハ少クトモ現在ノ製造量ハ減ラサナイト云フ建前デ、其ノ點ノ調節ヲ圖ラナケレバイカヌ、斯ウ云フ考ヘ方デ進ンデ居リマス

○南委員 御趣意ハ分リマシタガ、實際従業員ノ待遇ハマダ變ツテ居ラヌ狀況ヘ考ヘテ居リマスカラ、此ノ上トモ肥料ノ増産ニ御注意アラントヲ希望致シマス

○坂東委員 本請願ハ採擇ヲ願ヒマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決シマシタ、暫時休憩致シマス、午後一時四十五分ニ再開致シマス、若シ其ノ時間ニ本會議ニ於キマシテ決議案ガ上程セラレマスナラバ、決議案終了後ニ致シマスカラ御諒承願ヒマス

午後零時四十五分休憩

午後一時四十八分開議

○清水委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、文部省所管ニ移リマス、日程第四乃至第七ハ紹介議員同人デアリマスカラ、一括議題トスルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 一括議題ニ致シマス、日程第四、肝付兼重等ノ偉業ヲ國定教科書ニ載録ノ請願、文書表第一一七號、日程第五、鹿兒島縣ノ古城趾調査並保存ニ關スル請願、文書表第一三八號、日程第六、村社小島、年貫兩神社御鏡等ヲ國寶ニ指定ノ請願、文書表第一五〇號

日程第七、岩戸神社ニ關スル綜合的史蹟調査ノ請願、文書表第一五一號、右四案ヲ一括議題ト致シマス——永田良吉君

○永田委員 日程第四ノ肝付兼重、楡井賴仲兩公ノ偉業ニ關スルコトデアリマスガ、肝付兼重公ヤ楡井賴仲公ハ、アノ日本ノ南端ニ居ツテ南朝ノ爲ニ二百數十年ノ間、孤立無援ノ間ニアリナガラ誠忠ヲ盡サレタノデアリマス、所ガ残念ナガラ我が國ノ國定教科書ニタツタ一行デモ宜ウゴザイマスガ、肝付氏、楡井氏ガアツタト云フコトガ載ツテ居リマセス、今ヤ東北ノ隅デモ何處デモ皆贈位ヲナサレタノデアリマシテ、肝付兼重公モ從四位ニ贈位サレテ居リマスガ、是ハ一番最下位ニナツテ居リマス、何レニシテモ皇祖發祥ノ地ニ忠勤ヲ勵ンダ立派ナ方ノ偉業ヲ地ニ葬ツテ置クト云フコトハ、大變残念ニ思ツテ居リマス、殊ニスウ云フ時局ノ際、アソコニハ近頃海軍ノ航空隊等モ澤山出來テ參ツテ居リマスカラ、其ノ將兵ノ訓練ニモ影響ガアルト思ヒマスカラ、アソコニ居ツタ忠臣ノ偉業ヲ考ヘ、國定教科書ニ一行デモ宜シウゴザイマスカラ、載セテ戴キタイト云フノガ此ノ請願ノ要旨トナツテ居リマス、ソレカラ此ノ外ニ男バカリデハアリマセス、古クハ神武天皇ノ神代ノ御后ノ始良吾平津姬ニ、又最近ニ於キマシテハ島津若子ト云フ人ガ隆道ヲ通シテ鹿屋市ニ今カラ二百四十五年前ニ開田ヲ致シマシタ、尙ホ島津氏ガ肝付氏ヲ滅ボス爲ニ、御南姬ヲ肝付氏ニ嫁入サシテ到頭肝付氏ヲ滅ボシタ、其ノ後御南姬ハ島津ノ方ニ歸ツテ來イト云フタガ、死ヌマデ肝付氏ノ方ニ留ツテ居ツタ、斯ウ云フ烈婦モアリノデアリマス、尙又鐵砲傳來デ有名ナ若

狹姫ガア、云フ國防ノ爲ニ獻身的ノ働キラナサレタト云フヤウナコト、又此ノ地方カラハ弟橘姫モヤハリ日向ノ方カラオイデニナツタト思ツテ居リマス、左様ナ譯デ我が日本ノ最南端ノ大隅ノ國ニハ非常ニ偉イ姫君ガ澤山居ラレタ譯デ、今日戰爭ヲヤツテ行クニハ男バカリデナク、女子ガ飛行機デモ造ツテ大イニ活躍シナケレバ彼ノ英米ノ打倒モ容易デハナイト思ヒマス、私ハ斯ウ云フ意味ニ於テ曾テ七百年以前、或ハモツト以前カラ忠勤ヲ勵ンダ斯ウ云フ忠臣ノ埋レテ居ル事績、又日本婦人ノ貴キ斯ウ云フ事績ヲ國定教科書ニ現ハシテ戴キタイト云フノガ此ノ請願ノ趣旨ニナツテ居リマス

ソレカラ次ノ五ノ鹿兒島縣ノ古城趾調査竝保存ニ關スル請願デアリマス、是ハ鹿兒島ノ中デモ、私ノ方ノ大隅半島、鹿屋市ノ大始良ト云フ所ニハ十三城、西保城、梨木城或ハ鹿屋ノ一ノ谷城、龜鶴城、アノ地方全體ニ互ツテ殆ド數百ニ及ブヤウナ古イ城趾ガアルノデアリマス、特ニ其ノ中ニハ國司ノ城趾モアル、只今ハ或ハ開田ヲサレルトカ、或ハ住宅地ノ爲ニ其ノ古キ相貌ガ破壊サレテ居リマス、是等ハ今ノ内ニ測量ヲシテ置クトカ、或ハ寫眞其ノ他ノ記錄ノ方法ニ依ツテ之ヲ保存スルコトガ必要デハナイカト思ツテ居リマス、石デ造ツタ熊本城、其ノ他ノ五、六百年以後ノ立派ナ城ハ、國寶ヤ色々ナモノニ御指定ニナツテ居ルケレドモ、私ハ或ル意味ニ於テ此ノ天然ノ山ヲ切崩シテ造ツタ所謂古城、是コソ日本ノ古代文化、日本人ノ所謂聖國精神ヲ研究スルニハ取ツテ置キノ大事ナ場面ト思フノデアリマス、殊ニ今私ガ申上ゲマス鹿屋市ノ一ノ谷城趾ノ如キ馬乘馬場ガ破壊サレテ居

リ、高山町ノ本城ノ馬乘馬場モ水田ト化シテ居リマス、斯ウ云フ古イ時代ニ於テ馬術ノ訓練ヲヤツテ武ヲ鍊ツタ所ガ、今跡方モナクナツテ居ルト云フコトハ洵ニ歎ハシク存ジテ居ルノデアリマス、尙ホ鹿屋ノ龜鶴城ニハ、此ノ間モ私行ツテ見マシタガ、古イ石ノ水鉢ガアリマス、ケレドモ是ハ手水鉢デハナク、所謂昔ノ古イ大キナ城、殿堂ノ基礎石デアルト思ツテ居リマス、ソレニ太柱ヲ入レタモノト察セラレマスガ、斯カル立派ナ史蹟ハ、此ノ地方ノ町村ヤ縣デモヤリマスケレドモ、ヤハリ其ノ道ノ專門家ノ調査鑑定ヲ受ケ、尙又サウ云フ專門家ノ指導ニ俟タナケレバ完全ナ調査保存ノ方法ハ如何カト思フノデアリマス、斯ウ云フ大東亞戰爭ノ際ニ於テ古イ歴史ノ跡ヲ調査保存スルコトハ、最モ大事ナコトト考ヘルノデアリマス、若シ之ヲ怠ツテ居リマシテ、今ノ大東亞ノ各關係國、或ハ諸外國カラ來テ日本ノ古イ歴史ヲ調べタ場合、是ガ調査未了ニアルト云フコトハ、或ル意味カラ言フト日本ノ國辱ト云フヤウナコトニモナリマスカラ、取急ギ斯ウ云フコトニハ早ク手ヲ著ケテ戴キタイト云フ請願デアリマス

次ニ小島、年貢兩神社ニ御鏡ガアリマス、小島神社ノ御鏡ニハ、縣主方縣王カハツキリ致シマセヌガ、縣主若シクハ縣主白銅鏡ト云フ文字ガ入ツテ居リマス、是ハ神武天皇其ノ他日本ノ歴史ノ上カラ、縣ト云フコトハ大變大事ナコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ立派ナ證據品ト云フモノハナイト思フノデアリマシテ、此ノ意味カラ是モ御調査願ヒタイト思ツテ居リマス、尙ホ男女二神ノ繪ノ入ツタ御鏡モアリマスガ、是モ相當古イモノデヤナイカト思ヒマス、又年貢

神社ニハ八綾鏡デアツテ、ハツノ古代文字ノ入ツテ居ル御鏡ガゴザイマスガ、是等ハ地方ノ者デハ文字ガ分ラヌノデ、是モヤハリ中央ノ文部省ノ偉イ方ガ行ツテ其ノ文字ヲ御調査願ヒタイト思ツテ居リマス、ソレカラ此ノ神社ニハ二神像モアリ、其ノ他上野ノ帝室博物館、或ハ遊就館ニアルノト同ジ古イ時代ノ短甲ガゴザイマス、此ノ短甲ハ年貢神社ノミナラズ大塚神社ニモアリマスカラ、斯ウ云フモノヲ御調査願ヒタイ、尙又御鏡ノ中デ志布志ノ山宮神社ニハ直徑一尺以上ノ葡萄鏡ガアリマス、是等ハ帝室博物館ニアル以上ノ立派ナ物デアルト思ツテ居リマス、又智、仁、勇ノ文字ヲ現ハシタ御鏡モアリマス、要スルニ大隅竝ニ鹿兒島縣下ニ於ケル御鏡ノ數ハ數百面ニ達スルト思ツテ居リマスガ、是等ハ今ノ中ニ寫眞ヲ撮ルカ何カノ方法ニ依ツテ保存サルベキモノト思ヒマス、特ニ結構ナモノニ付テハ之ヲ國寶ニ御指定ヲ願ヒタイ、兎ニ角我が國ノ御即位ニ最モ大事ナ御鏡ト鏡ト曲玉、之ニ對スル御調査ガ、東京、京都ヲ中心トシタ方面デハ行ハレテ居リマスガ、最モ古イ歴史ノ由緒アル日向、鹿兒島地方ニ於ケル調査ガ才粗末ニナツテ居ルヤウニ思ヒマスカラ、此ノ際是非文部省ガ中心ニナツテ相當ノ豫算ヲ御組ミニナツテ、御調査アラシコトヲ希望スルト云フ意味デアリマス

次ニ岩戸神社ニ關スル綜合的史蹟調査ノ請願デアリマスガ、岩戸神社ハ元、國見山ノ中腹ノ岩窟ニアツタノヲ、明治初年ニ現在ノ山ノ麓ニ移轉シタモノデアリマス、此ノ岩戸神社ハ由緒モ餘程深クテ、中々有名ナ神社デアリマスガ、此ノ神社ニハ白銅鏡デアツテ嚙ミ合セニナツテ居ル鏡ガアリマ

ス、ソレガ硝子カト思ツテ居ツタラ、硝子デハナクテ、所謂雲母板ガ硝子板ノ代リニナツテ嵌ツテ居リマス、サウシテ中ノ繪ハ赤ヤ紫ノ色ヲ染メ分ケテアリマスガ、紙デアルカ何カ鑛物質ノモノデアルカヨク分リマセヌガ、何レニシテモ二神像デアツテ、是ガ女神ト男神ノ御姿ガ窺ハレマスガ、其ノ頭髮ノ分ケヤウト胸ノ所謂襟ノ合セ方、或ハ一方ノ神様ハ美登良ノ跡ガ少シ分ツテ居リマス、是等ハ史蹟上餘程參考ニナリハセスカト思ツテ居リマス、無論私ハ専門家デアリマセヌカラ、或ハ實地ノ調査ノ結果ガ物笑ヒニナルカモ知レマセヌケレドモ、ドウシテモ斯ウ云フ類ノナイ所ノ御鏡ハ御調査アツテ然ルベキモノデハナイカト思ツテ、請願ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、以上ノヤウナ譯デ此ノ鹿兒島縣ハ昔ノ日向ノ國デアリマスカラ、宮崎縣ノミニ日本ノ古イ歴史ガアルト云フヤウナ考ヘハ、最モ是ハ小サイ誤ツタル考ヘデアリマスカラ、ドウカ宮崎、鹿兒島ノ兩方ヲ御調査ニナツテ戴キタイ、宮崎縣ハ調査ガ居イテ居ルケレドモ、鹿兒島縣ハ今マデ捨テ置キニナツテ居ツタノデアリマス、之ヲドウシテモ此ノ際十分調査シテ日本ノ國體明徴ニ資スルコトハ、時局柄最モ大事ト考ヘマシテ此ノ請願ヲ紹介シタ譯デアリマスカラ、何卒當局ノ御意向ヲ承リ、採擇アランコトヲ希望スル次第デアリマス

○庄司委員 議事進行ニ付テ簡單ナ發言ヲ御許シテ御願ヒ申上ガマス

○清水委員長 承知シマシタ

○庄司委員 只今紹介議員永田君ノ御陳述ナサレマシタ冒頭ノ文書表第百十七號ノ請願ノ趣旨ノ文書表ニ、多分是ハ請願者ノ御

間違ヒデアルカ、或ハ院内ノ印刷ノ關係ノ御間違ヒデアルカモ分リマセヌケレドモ「南朝」云々ト云フ文字ガ二箇所ニアルヤウニ見受ケラレマス、御承知ノ通り我々青少年ノ時代ハ南北朝ト國史ノ上ニ於テ教ヘラレテ居ル者デゴザイマスガ、昨年以來御承知ノ如ク南北朝ト云フ言葉一切廢止サレマシテ、此ノ場合ニ於テハ吉野朝ノ文字ヲ用ヒルコトニ——國史上、又我々ガ講演ノ場合等ニ於キマシテモ、或ハ新聞記者、操觚業者等ノ場合ニ於キマシテモ、一切此ノ頃ノ文獻ノ上ニ於キマシテハ、古イモノハ餘儀ナイコトデゴザイマスガ、將來ハ吉野朝ノ文字ヲ用ヒルコトニ相成ツタノデアリマス、此ノ請願文書表ニアルヤウナ文字ノ内容ニ付テハ、當然内務省ノ警保局ガ之ヲ差止メルコトニ相成ツテ居リマスノデ、是ハ無論何等惡意故意等ノアツタモノデハゴザイマセヌ、從來ノ關係上傳統的ニ此ノ文字ヲ御用ヒニナツタモノデアルト思フノデゴザイマスガ、是ハ衆議院ノ事務當局ノ方面ニ於テモ、將來斯ウ云フ場合ニハ慎重ヲ期サレタイ問題デゴザイマシテ、委員長ヨリ御照會ヲ戴キマシテ、二箇所ノ「南朝」ト云フ文字ヲ「吉野朝」ニ御改メ下サルコトヲ釋然トシテ請願者竝ニ紹介議員等ニ於テ御贊成シテ戴ケレバ、洵ニ望マシイコトデアルト考ヘテ居リマスノデ、御參考ノ爲ニ申上ゲテ置クヤウナ次第デアリマス

○清水委員長 永田君、只今庄司君ノ御話ノ點御承認下サイマスカ

○永田委員 私モサウ云フ所マデハ研究シテ居リマセヌデシタカラ、大體御丁寧ナ御指導ヲ蒙リマシテ有難ウゴザイマス、左様ニ訂正シテ戴キマシテチツトモ差支ヘゴザ

イマセヌ

○川崎(巳)委員 關聯シテ——昨年から改メルヤウニナツタト云フノハチラツト聞イタコトノヤウニモ思ヒマスガ、ハツキリ私ハ知ラナイノデスガ、今マデ南北朝ノ歴史ノ本モ澤山出テ居リ、南朝時代ノ本モ澤山出テ居ルヤウナ譯デアリマスガ、ソレハドレダケノ權威ノアルモノカ、衆議院ノ中ノ公文書マデソレヲ直サナケレバナラヌ程ノモノデスカ、何處ノ決定ナノデスカ、ソレヲ庄司サンニ一ツ承リタイ

○清水委員長 政府委員ヨリ只今ノ御答辯ヲ願フト同時ニ、紹介議員ニ對スル四案ノ御答辯モ共ニ願ヒタイト思ヒマス

○阿原政府委員 ソレデハ只今ノ御請願ノ中ノ肝付兼重公等ノ偉業ヲ國定教科書ニ載録セラレタイト云フ御請願ニ對シマシテ意見ヲ申上ゲマス、吉野時代ニ於キマスル肝付兼重公、檢井賴仲公ノ勤皇ノ事績ヲソレゾレ國定ノ國史ノ教科書ニ載録致シマスルコトニ付キマシテハ、尙ホ編纂ノ體系、其ノ他色々ノ點ヲ考慮シナケレバナラヌト考ヘテ居リマスガ、御説ノ教材ト致シマシテ載録シテ、サウシテ御遺功ヲ欽仰サセマスルコトハ、教育上極メテ必要ナコトト存ジマスノデ、現在國民學校初等科ノ國史ノ教師用ニハ、既ニ教材トシテ記述シテ居ルヤウナ次第デアリマスノデ、右ニ依リマシテ御諒承願ヒタイト存ジマス、尙ホ又只今出マシタ南北朝ノ用語ノ問題ニ付キマシテハ、一寸今何時カラト云フコトハ記憶シテ居リマセヌガ、現在教科書デハ吉野朝トシテ取扱ツテ居リマスカラ、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○川崎(巳)委員 ソレハ、之ヲ扱フ本ハ省

令デスカ、ドンナ形ノモノナンデスカ

○近藤政府委員 是ハ能ク調べテハ置キマスガ、現實ニハモウ檢閲其ノ他ニ於テ南北朝ト云フ字ハ一切使ハセナイ、是ハ内務省ノ方デサウ云フ文字ガアリマシタラ必ズ取消スコトニナツテ居リマス、是ハヤハリ吉野朝トシテ戴イタ方ガ宜シイト思ヒマス

○川崎(巳)委員 其ノ根據ナル法令ヲ一ツ御教ヘ願ヒタイト思ヒマス

○近藤政府委員 一遍調べテ置キマス

○清水委員長 委員長カラ申上ゲマスガ、此ノ文書表ニアリマス「南朝」ト云フノ「吉野朝」ニ訂正致シマスカラ御承認ヲ願ヒマス、尙ホ他ノ三案ニ對スル政府委員ノ御意見ヲ伺ヒマス

○近藤政府委員 只今永田サンカラ色々御説明ガアリマシタ古城趾ノ調査保存ニ關スル件デアリマスガ、本省ト致シマシテハ十分斯ウ云フ點ニ關心ヲ持ツテ居ルコトデアリマスルノデ、縣ニモ是等ノ色々ノ點ニ付キマシテ照會ヲ致シマシテ、資料ノ整備ニ努メテ居ルノデアリマスガ、尙ホ先程御話ガアリマシタヤウニ、此處ニハ澤山ノ古城趾モアルコトデアリマスカラ、是等モ併セテ調査ヲ進メテ行キタイ、斯様ニ思ツテ居リマス、出來ルダケ我々ノ方デモサウ云フ機會ヲ捉ヘマシテ調査ヲ進メテ行キタイト思ツテ居リマス

○永田委員 當局ノ方モ調査ヲシテ戴クト云フ御説明デアリマスカラ、本案ハ採擇アランコトヲ希望致シマス

○異議ナシト呼ブ者アリ

○清水委員長 御異議ナシト認メマス、四案共採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 文部省所管日程第一、第二、第三ハ後廻シニ致シマス

○清水委員長 農商省所管ニ移リマス

日程第二、笠野原畑地水田化ノ請願、文書表第一一九號——紹介議員永田良吉君

○永田委員 此ノ笠野原ハ約一萬町歩モアルノデアリマスガ、此ノ中鐘紡會社ガ持つテ居ルノガ約千八百町歩アリマス、ソレガ二百町歩ハ飛行場ニ費サレテ居リマスケレドモ、アトガマダ千六百町歩モアリマス、是等ガ最近原野ニナリ、或ハ松林ニナツテ居ルノガ相當殖エテ居リマス、今年モ鹿兒島カラ態々學徒ガ幾組モ來マシテ、之ヲ開墾致シテ麥ヲ作ツタリ何カシテ居リマス、要スルニ此ノ地方ニハ近頃軍需工業ガ興リマシテ、其ノ方ノ金取リガ好イノト、ソレカラ色々海軍ノ諸施設ガアリマシテ、農民ガ其ノ方ニ行クト大變生活ノ調子ガ好イノデアリマス、隨テ最近ハ恐ロシイ厭農、離農ノ思想ガ段々増加シツ、アルヤウナ傾向ガアリマスノデ、我々地方ノ者トシテモ洵ニ心配致シテ居リマス、是等ハ何ニ原因スルカト云ヒマス、要スルニ勞力ノ不足等ガ原因ヲナシテ居ルノデアリマスガ、此處ハ元々我々地方三箇村デ耕地整理ヲシテ、道路ヲ造リ、水道マデ簡單ナノガ出來テ居リマス、ソレデモ餘リ移民ガナイト云フコトハ大變殘念ニ思ツテ居リマスガ、要スルニ此處ニハ今水稻モ作ツテ居リマスケレドモ、大變手間ヲ食フノデ困ツテ居リマス、尙又風水害モアリ旱害モアツテ、陸稻ガ思フヤウニ出來マセヌ、私ハ此ノ意味カラ鹿兒島縣ハ特ニ水田ガ少ウゴザイマスカラ、アノ一萬町歩ノ畑ヲ、高隈川ノ上流ニ「ダ

ム」ヲ造ツテ戴イテ、其ノ「ダム」カラ彼處ニ水ヲ御引キニナリマス、千町歩ヤ二千町歩ハ田ガ出來ヤウト思フノデアリマス、鹿兒島縣ニ取ツテ田ノナイト云フコトガ一番困ルコトデアリマス、勞力不足ノ際、是非之ヲ實現シテ戴キタイト云フ意味デ、此ノ請願ガ出テ居リマス、曩ニ内務省方面ヘハ「ダム」ヲ築造シテ戴キタイト云フ請願モ出テ居リマス、内務省トモ御協力ノ上、之ヲ實現サレンコトヲ希望シテ、本請願ヲ紹介シタ次第デアリマス、何卒政府ノ説明ヲ御聽取ノ上、之ヲ採擇アラントラ希望致シマス

○西村政府委員 本請願ノ要旨ハ、只今御述ベニナリマシタヤウニ時局下食糧増産上、此ノ一萬町歩ノモノヲ水田ニ化スルト云フコトハ、最モ必要ナコトト考ヘテ居ルノデアリマスガ、昭和十九年度ニ於テ直チニ水田化スルト云フコトニナリマス、現在ノ資材及ビ勞力ノ關係カラ困難ダト思ヒマスガ、出來ルダケ早イ機會ニ於テ、之ヲ開發事業トシテ實施スルコトニ考慮ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決定シマシタ

○清水委員長 日程第三、地主、小作人間ノ調和促進ニ關スル請願、文書表第一三二號——紹介議員坂東幸太郎君

○坂東委員 我ガ國ニアリマシテハ、農村ハ社會組織ノ中核體デアルコトハ爭フコトガ出來マセヌガ、農村ハ地主ト小作人トニ依リテ出來テ居リマスルカラ、兩者ノ關係

ノ圓滿ハ、我ガ國社會組織ヲ強化スルモノト考ヘラレマス、然ルニ現在ノ實情ヲ見ルニ、兩者ノ關係ハ兎角面白カラズ、古來ノ美風ヲ根柢カラ崩壞セントスル憂ヒガ多分ニアルノデゴザイマス、其ノ原因ハ勿論種種アリマスガ、其ノ一ツノ大キナ原因ハ、適正小作料ノ決定ノ仕方デアルト私ハ考ヘマス、政府ノ方針ハ兩者ノ交譲協和デアリマスルガ、實際ニ於テハ小作官、市町村當局等ハ、頭カラ地主ヲ押ヘ付ケルヤウナ方針ヲ執ツテ居ル實情デアリマシテ、從來ニ比シテ二割三割ノ減額ハオロカ、中ニハ半減、六割減ト云フモノスラアルノデアリマス、斯カル狀態デアリマスルカラ、地主ハ租税公課金ニモ足りナイヤウナ決定ヲ受ケルコトガゴザイマス、又一面地主ハ多クノ租税ノ外ニ公債貯金等モ多額ニシナケレバナリマセヌガ、右様ニセラレマシテハ、實ニ自滅ノ外ハナイヤウナ實情デアアルノデゴザイマス、故ニ政府ハ其ノ實情ヲ取調ベ、小作料ノ文字通りノ適正ヲ圖ルト同時ニ、地主ト小作人トノ關係ガ惡化スルコトノナイヤウニ、換言スレバ兩者關係ノ淳風美俗ヲ存續セシメ、以テ一億一心戰時態勢ノ強化ヲ切望スルノガ本請願ハ趣旨デゴザイマス、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○西村政府委員 現在我ガ國ノ小作料ハ御承知ノヤウニ從來ノ關係ナリ、社會的ノ原因等ニ依リマシテ、中ニハ相當高率ナモノモアルノデアリマス、是等ハ漸次適正ナ小作料ニ改訂スルト云フ風ニ致シテ居ル譯デアリマスガ、御承知ノヤウニ現在小作料ヲ改訂スルト云フコトハ、上ゲルニ致シマシテモ、又下ゲルニ致シマシテモ、中小地主ニ對スル影響ハ相當大キナモノガアルノ

デゴザイマシテ、現在此ノ運用ニ當リマシテハ、地主小作人ノ代表カラ成ル市町村ノ農地委員會ニ於キマシテ、地方ノ實情ニ即シテ之ヲ決定致シマシテ、尙ホ更ニ地方長官ガ之ヲ認可決定ヲ致ス場合ニ於キマシテハ、豫メ十分ナル調査ヲ致シ、道府縣ノ農地委員會ノ意見ヲモ徵シマシテ、之ヲ決定スルト云フヤウナコトニ致シテ居ルノデアリマシテ、徒ラニ小作人ノミヲ庇護スルト云フヤウナ、一方的ナ措置ハ執ツテ居ラナイト考ヘルノデアリマスガ、何レニ致シマシテモ只今御述ベニナリマシタヤウニ、小作料ノ問題ヲ繞リマシテ、地主小作人ノ間ニ面白クナイ事態ヲ發生スルト云フコトハ、時局下農業増産ノ爲ニ非常ニ遺憾ナ點ダト考ヘルノデアリマス、ソレ等ノ實情ハ能ク調ベマシテ、ソレ等ノ紛爭ヲ出來ルダケ避ケルヤウニ、本當ノ意味ノ妥當ナル小作料ニ持ツテ行クヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○坂東委員 只今ノ御答辯ノヤウニ思ツテ居ラレデハ、ソレハ非常ナ間違ヒデス、私ノ申上ゲタコトハ實際ノ狀況デ、少シモ間違ヒハナイノデアリマス、表面ノ下僚ノ報告ハ爾カアリマシテモ、實際ハ小作官等ガ地主ニ對シテ壓制ヲ行ツテ居ル、非常ナ紛爭ガ澤山アリマスケレドモ、併シソレヲ又裁判ニ掛ケルマデニハ行カナイ、地主ハ非常ニ泣イテ居リマスカラ、ドウカ實情ヲ調ベマシテ、兩者ノ關係ガ圓滿ニナリマシヤウニ、十分御努力ヲ切ニ御願ヒスル譯デアリマス

○清水委員長 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第四及び第五ハ同一紹介議員デアリマスカラ、一括議題トスルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 御異議ナシト認メマス

日程第四、蠶工品生産用機械配給ニ關スル請願、文書表第一三七號

日程第五、離農防止並地主保護ニ關スル請願、文書表第一五二號——紹介議員永田良吉君

○永田委員 第四ノ蠶工品ノ請願デアリマスガ、是ハ鹿兒島縣ニ於キマシテ、今年米ノ供出ヤ諸ノ供出ニ當リマシテ、叭ガナイ爲ニ大變供出ニ困ツタ實情ガアルノデアリマス、ソレ段々調ベテ見マス、ドウモ叭——米ノ配給機構ナドニモ多少不備ガアルヤウデアリマスガ、其ノ他之ヲ作ルノニ機械ガ餘程古クナツテ居ツテ、能率ガ上ラヌノガ相當アルヤウデアリマス、其ノ意味カラ成タケ機械ノ新シイノヲ御配給ニナツテ、來年カラ斯カル失敗ノナイヤウニト云フ意味カラ請願シタノデアリマス

次ニ離農防止デアリマスガ、最近アノ地方ニモ大變海軍ノ工事等ガ始マツタ關係カラ、或ハ工員トナツテシマフトカ、其ノ他海軍ノ工事ニ行ケバ、日給デアレバ二圓カソコラデアアルケレドモ、之ヲ請負事業デヤリマスト一日何圓モ澤山取レル、サウ云フ關係上カラ段々離農シテ行クヤウナ傾向ガアル、殊ニ中農ガ大變困ツテ居ル、モウ中農ハ人ヲ雇フコトガ出來ナイ、ソレデアアルカラ中農モ大農モ小作人ガ段々少クナツテ來テ、土地ガ荒レテ行クト云フ傾向ガアリ

マス、是ハ政府ノ方デモ、先刻私ガ請願ヲ申上ゲマシタヤウニ、水田デモ開拓シテ貴ヒマストカ、何トカ手ヲ付ケナイト、恐ロシイ狀態トナルト思ヒマスカラ、此ノ請願ヲ紹介シタ譯デアリマス、當局ノ説明ヲ徵セラレマシテ採擇アラシコトヲ希望致シマス

○西村政府委員 蠶工品ノ最近不足ノ爲ニ甘諸ナリ米ノ供出上、非常ナ支障ヲ來シテ居ルト云フコトハ伺ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ一面資材ノ原料蠶ノ關係モアリマスガ、御話ノヤウニ、生産用ノ機械ノ配給ガ十分デナイト云フ點モアルト思フノスデアリマシテ、全般ノ農具トシテモ勿論デアリマスガ、農業用必要デアアル蠶工品等ノ製造用機械ニ付キマシテモ十分意ヲ用ヒマシテ、機械ノ配給ガ皆ク行カナイ爲ニ、蠶工品ガ出廻ラナイト云フヤウナコトノナイヤウニ、極力努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

尙ホ次ノ、離農防止及ビ地主保護ニ關スル請願ニ付キマシテハ、請願ノ御趣旨洵ニ御尤モデアリマシテ、政府ト致シマシテハ、昭和十七年ノ一月カラ、農業生産統制令ヲ施行致シマシテ、農業生産ニ缺クベカラザル農業者ノ離農ヲ抑制スルヤウナ方法ヲ圖ツテ居リマス、尙ホ昨年ノ十二月二十八日ノ閣議ニ於キマシテ、御承知ノヤウニ食糧自給體制ノ強化方策ヲ決定致シマシテ、之ニ基イテ一定ノ農業者ガ戰時ニ於ケル農業要員トシテ食糧増産ニ從事シナケレバナライ、斯ウ云フ風ニ致シマシテ、ソレ等ガ離シテ行ク場合ニハ行政廳ノ承認ヲ得ナケレバナライト云フ風ニ致シマシテ、離農統制ヲ強化シテ、農村ノ確保ヲ圖リ、地主ノ立場ニモ之ヲ十分擁護スルヤウナ方策ヲ

考ヘテ參リタイ、斯様ニ致シテ居ル次第デゴザイマス

○坂東委員 兩件トモ採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 兩件トモ採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 日程第六、山漆ノ伐採禁止並蠶採取ニ關スル請願、文書表第一三四號——紹介議員今成留之助君

○今成留之助君 本請願ハ山漆樹木ノ伐採禁止、蠶採取ニ關スル請願デゴザイマシテ、其ノ理由ハ、山漆ノ重要デアアルコトハ、此ノ山漆ノ實カラ蠶燭ノ最モ徳用ナ品ガ出來マスバカリデナク、燈用トシテ非常ニ長時間ニ堪ヘルノデアリマス、又蠶ノ種ヨリハ食用油ガ採レル、且ツ山漆ノ葉ハ黒染染料トシテ良質ノモノニナツテ居ルノデアリマス、時局下染料不足ノ折、衣服ノ更生ニ有效ナル等ニ徴シマシテ、近時山漆樹木ヲ尊重シテ參ツテ居ルニモ拘ラズ、此ノ大事ナ樹木ヲ單ナル薪トシテ伐採シ、蠶ハ拋棄サレ居ルヤウナ實情デゴザイマス、此ノ物資不足ノ折柄洵ニ惜ムベキコトデアリマス、古來カラ明治ニ至ルマデ、里漆ハ勿論、山漆ノ實、即チ蠶ハ山間ノ農家ハ必ズ年々歲歲蠶山ノ國ト稱シマシテ、日ヲ定メテ一齊ニ採集シテ、領主ノ命ニ應ジ供出シ、燈用ニ充テシテ來タモノデアツテ、若シ萬一自由ニ之ヲ採ツタリ、販賣又ハ使用シタル者ハ、所拂ト云フヤウナ當時ノ重刑ニ處セラレタコトガアルコトヲ聞イデ居ルノデアリマス、其ノ後明治年間ニ至リマシテハ、各

自年々歳々之ヲ採ツテ、之ヲ蠶燭製造家又ハ油製造家ニ依頼生産シ、需要ニ充タシ來

ツタノデアリマスガ、近來文化ノ進展ニ伴ヒマシテ、他ノ品種ヨリ之ヲ採ルヤウニナツテカラ拋棄サレテシマツタ、所ガ此ノツ資不足ノ際、蠶燭ヲ採ル所ノ原料ノナイ今日、山漆ノ貴重ナルコトハ愈々重大ニナ物テ參ツタノデアリマス、仍テ政府ニ於カレマシテモ、山漆ヲ徒ラニ薪ヤ木炭ナドニ製造スルコトヲ禁ジ、山間農業者ニハ、必ズ山漆ノ實、即チ蠶ヲ採集供出セシムルヤウニシテ貴ヒタイ、一タビ此ノ請願人ガ蠶ヲ採ツテ、居ル所ガ新聞ニ出マシテ宣傳セラレタ結果、附近ノ國民學校ノ生徒ガ蠶ヲ採集致シマシタ所ガ、蠶燭屋ヨリソレニ代ルベキ蠶燭ヲ學校ニ供給サレテ、山間ノ電燈ノナイ學校デハ、ソレガ爲ニ不自由シナイヤウニナツタト云フヤウナコトモ聞イデ居ルノデアリマス、是ハ全國的ニアル山漆デアリマシテ、之ヲ徒ラニ伐採シナイヤウニ何カ訓令若シクハ指令ヲ以テ禁ジ、之ヲ採集シテ今ノヤウナ重要用途ニ用ヒルヤウナ政府ノ方策ヲ講ゼラレンコトヲ願フ、斯ウ云フノガ此ノ請願ノ趣旨デゴザイマス、政府ノ御所見ヲ承リマシテ、ドウゾ各員ノ滿場一致ノ御採擇ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○西村政府委員 只今御述ベニナリマシタヤウニ、山漆ハ是カラ蠶燭ノ最モ徳用ノ品ガ出マスシ、實ハ食用油ニモ使ハレ、又葉ハ染料ニモ用ヒラレルノデアリマシテ、現在物資ノ少イ場合ニ於キマシテ、非常ニ貴重ナル樹木デアアルコトハ政府モ認メテ居ルノデアリマス、唯蠶ノ含有量等ハ普通ノ漆ノ實ヨリモ少イ點モ多少アルノデアリマス、又此ノ木ハ他ノ樹木ト混淆シテ居リマス爲ニ、強制的ニ之ヲ一切伐採出來ナイト云フヤウニ致スコトハ、今俄カニハ如何カト考

ヘルノデアリマスガ、非常ニ重要ナル樹木デアリマスノデ、請願ノ御趣旨ニ副フヤウニ適當ナ施策ヲ講ジテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 日程第八、黒砂糖製造許可ニ關スル請願、文書表第九一號——紹介議員永田良吉君

○永田委員 黒砂糖ハ從來沖繩トカ、鹿兒島縣ノ中デモ大隅熊毛郡ノ種子島、ソレカラ内地トシテハ大隅半島ノ肝屬郡ト云フノガ入ッテ居ッタデアリマスガ、ソレガ現在沖繩ト、大隅種子島マデハ、多少ノ栽培ト製造ヲ自家用ダケニ許可ニナッテ居ルデアリマスガ、殘念ナガラ日本内地ノ、唯一ツシカナイ大隅半島ノ肝屬郡ハ是ガ製造ヲ許可シテ居ラレマセヌ、是ガ殘念デアリマスカラ、之ヲ復活シテ戴キタイト云フノ

ガ此ノ請願デアリマス、特ニ黒砂糖ハ、私ノ邊ニハ海軍航空隊ガ出來マシタガ、航空隊ノ航空食トシテ大變宜イト云フヤウナ評判ヲ聞イテ居ルデアリマス、此ノ航空決戦ノ際デアリマスカラ、飛行隊ノ食糧品ニナルダケデモ宜イノデアリマスカラ、栽培ヲ許可シテ戴キタイ、鹿兒島縣ニハ十六萬町歩ノ畑地モアリマスシ、原野モ十、七八萬町歩アリマス、ソレニ山モ二十萬町歩位アリマス、私ハ數千町歩ト云フコトハ申上ガマセヌ、僅カ數十町歩カ、セメテ百町歩カ二百町歩ダケデモ、肝屬郡ノ中ニ御許シヲ願ッテ、サウシテ特ニ海軍航空隊ノ食糧

ニ供シテ戴キタイト云フ意味カラ、此ノ許可ヲシテ戴キタイト云フ請願デアリマス、何卒政府ノ意見ヲ徵セラレテ、採擇アラシコトヲ希望致シマス

○西村政府委員 黒砂糖ノ製造ノ許可ノ問題ニ付キマシテハ、從來分蜜糖トノ關係上色々考慮セラレテ居ッタデアリマスガ、現在ノ事態ニナリマシテ、特別ニ必要ナルモノニ付テハ能ク其ノ實情ヲ調べマシテ、許可スベキモノハ許可シタ方ガ宜イノデハナイカト云フヤウニモ考ヘテ居リマスノデ、能ク實情ヲ調査シタ上ニ於テ施策致シタイト考ヘテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 日程第一〇、米穀増配ニ關スル請願、文書表第九五號——紹介議員赤尾敏君

○坂東委員 代ッテ御紹介致シマス、此ノ請願ノ趣旨ハ、戦力増強並ニ國民保健ノ見地カラ、米穀ノ増産並ニ増配ヲナスコトハ現下最モ必要ナリト信ズ、仍テ政府ハ米價ヲ一升一圓ニ引上ゲテ、生産者ニ對シテ八十錢ヲ交付シ、其ノ大増産ヲ圖リ、殘額二十錢ヲ國庫ニ收納シテ之ヲ戰費ニ繰入レルト共ニ、米ノ配給量ヲ一律ニ一人一日三合トサレタシト云フデアリマス、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○西村政府委員 現在ノ米價ハ生産者ノ方ニ價格ニアリマシテハ、現在ノ農村ノ事情ニ即應セル生産費ヲ大體保證サレ得ル如ク致シマシテ、又消費者ノ方面ニ於キマシテハ國民生活ノ安定ヲ圖リ、殊ニ一般勞賃等

ニ惡影響ヲ及ボサナイヤウナモノヲ限度ト致シマシテ、政府ノ補給金等ノ實行ニ依リマシテ色々苦慮致シテ居ルデアリマスガ、今請願ノ如ク直チニ米價ヲ引上グルト云フコトノミニ依リマシテハ、必ズシモ増産ヲ期待シ得ナイノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ米穀ノ増配ニ付キマシテハ本年度カラハ御承知ノヤウニ外米關係ヲ離脱致シマシテ、國內ノ食糧ダケデ以テ自給シテ行カケレバナラナイヤウナ狀態デアリマシテ、現在ノ一人一日二合三勺ト云フコトヲ極力維持シテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居ルデアリマシテ、現在ノ米穀事情カラ見マスラバ、此ノ數量ヲ増配スルト云フコトハ實行ガ困難デアル、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 本年度滿洲方面カラ日本ニ來ル食糧ハ、大體何種類デ何「トシ」位ノ御見込デアリマスカ

○西村政府委員 私今數字ヲ憶エテ居ラスノデアリマスガ、滿洲方面カラモ相當ノ食糧ニ雜穀其ノ他ノ食糧ヲ入レマシテ、内地ノ食糧確保ヲ圖ッテ行キタイ、斯様ナコトニ考ヘテ居ル譯デアリマスガ、ソレニ致シマシテモ從來相當ノ數量ノ外米ヲ入レマシテ、ソレニ依リ二合三勺ヲ維持シテ參ッタ譯デアリマシテ、今直チニ配給一日量ヲ増加スルト云フコトハ、現在ノ食糧ノ生産配給ノ實情カラ考ヘテ見マシテ困難ナ次第デアリマス

○永田委員 是ハ參考送付トシテ採決アラシコトヲ御願ヒ致シマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 參考送付ニ決シマシタ

○清水委員長 日程一一、食糧検査員優遇ニ關スル請願、文書表第一一五號——伊藤東一郎君

○伊藤東一郎君 食糧検査ニ從事致シテ居リマス職員ガ、其ノ検査ヲ通ジテ主要食糧ノ増産ヲ初メトシテ、食糧ニ關シ生産消費兩方面ニ對シマシテ、國民ノ福祉増進ヲ圖ルト共ニ、農産物ノ實收、更ニ消費ニ付キマシテ、公正的確ナル資料ヲ提供シテ、我が國食糧生産ノ完壁ニ寄與シテ、食糧ノ増産ト相俟チマシテ、是ガ供出督勵ニ日夜第一線ニ立ッテ涙グマシキ活躍ヲ續ケテ居ラレマスコトハ、洵ニ感激ニ堪ヘザル所デゴザイマス、然ルニ是等ノ職員ハ頗ル薄給デアリマス、ノミナラズ縣營検査ノ當時ニ於キマシテハ、是等大部分ノ職員ハ農林技手トシテ恩給ノ制度ニ浴スルコトガ出來マシタモノガ、國營移管ヲサレマシタガ爲ニ、却ツテ其ノ恩惠ヲ喪失スルト云フ矛盾著ラシシ、爲ニ之ヲ市町村農業技術員ヤ、食糧増産技術員ニ比較致シマシテ、物心兩方面ニ互リ極メテ不遇ノ地位ニ置カレテアルノガ現狀デアリマス、斯様ナ實情ニ基キマシテ遺憾ナガラ最近ハ頓ニ轉職、退職者ヲ續出シ、加フルニ應召等ニ依ル缺員モアリ、旁ニ是ガ補充ニ相當ノ難色ガアリ、又其ノ素質ニ於キマシテ漸次低下致シ、トモスレバ國家食糧生産ノ要請ニ對シマシテ、萬全ヲ期シ難イ傾向サヘアリマスコトハ、決戦下洵ニ憂慮ニ堪ヘザル所デアリマス、仍テ政府ハ食糧管理ノ重責ニ鑑ミ、是等職員ノ平均給ヲ増額シ、更ニ多年ノ問題デアリマシタ彼ノ町村吏員ニ對スル恩給制度ノ創設サヘアリマシタ現狀ニ照シ合ハサレマシテ、此ノ際是非トモ検査員ノ雇員タル資格ヲ判

任官ニ昇格セシメ、優遇ノ方途ヲ講ジ、以テ検査國營ノ基礎ヲ確立サレコトハ、現下ノ食糧事情ニ對照致シマシテ、喫緊ノ要切ナリト確信ヲ致シマスルガ故ニ、速カニ是ガ實現方ニ付キマシテ特ニ御配慮ヲ煩ハシタイト云フノガ、本請願ノ趣旨デアリマス、政府ノ御所見ヲ承ツテ滿場ノ御採擇ヲ切望シテ已マナイモノデアリマス

○西村政府委員 只今御述べニナリマシタヤウニ、現在ノ食糧事情ノ下ニ於キマシテ、食糧検査場ガ持ツテ居ル所ノ使命ハ洵ニ重大ナルモノガアルノデアリマス、先頃は等ノ検査ヲ國營検査ト致シマシタ爲ニ、只今ノ御話ニモゴザイマシタヤウニ、從來中央恩給ヲ取ツテ居リマシタ者ガ、其ノ恩給ノ特權ヲナクナシタ者モアルノデアリマス、是等ノ待遇改善ニ付テハ十分考慮シナケレバナラスト考ヘマシテ、本議會ニ御協賛ヲ願フコトニナツテ居リマスル中ニモ、待遇改善ノ經費ヲ要求シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、今後モ十分考慮シテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ願ヒマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 軍需省所管ニ移リマス

日程第一、自轉車用資材等ノ配給ニ關スル請願、文書表第一二一號——永田良吉君

○長田委員 自轉車ノ使ハレズニ居ル所謂遊休車ガ、全間ニハ數百萬臺モアルト思ヒマス、是等ニ對シテイマ少シ「チューブ」ニ對スル「ゴム」糊ノ配給、或ハ部分品ノ配給ヲ賜ハツタラバ、大變生産増加ノ上ニモ宜カ

ラウト思フノデアリマス、今御願ヒスルノハ無理カモ知レマセヌガ、成タケナラバ「ゴム」糊ノ一罐デモ御配給願ツテ、生産増強ニ努メタイト云フ意味カラ出シタ譯デアリマス、何卒政府ノ意見ヲ徵サレマシテ御贊成アラソコトヲ希望致シマス

○美濃部政府委員 自轉車ガ産業上、國民生活維持上重要デゴザイマスコトハ、今更申上ゲルマデモナイノデアリマスガ、現在資材ノ不足カラ相當故障ニナツテ居リマス自轉車ガ其ノ儘動カズニ多數アル、其ノ修理ヲ急速ニスルコトガ必要デナイカト云フ御話デアリマスガ、私共ノ方ニ於キマシテモ現在ノ資材ノ狀況ニ鑑ミマシテ、出來ルダケ新規ノモノヲ生産致シマスヨリハ、現有ノ設備ヲ全幅ニ活用シテ行クコトニ主眼ヲ置キマシテ、既ニ十七年、十八年度ニ於キマシテモ自轉車用ノ資材ノ中約半分、今年度ニ於キマシテハ六分程度補修用部品ノ方ニ廻ハシテ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ此ノ遊休自轉車ノ全幅活用ト云フコトニ全力ヲ注イデ居リマスガ、何ト申シマシテモ資材ノ不足ガ次第ニ窮屈ニナツテ参リマス上ニ、特ニ「ゴム」糊ノ面ニ於キマシテハ十分資材モゴザイマセヌ上ニ、用材ノ需給狀況モ逼迫シテ居リマスノデ、是等ヲ脱ミ合セマシテ、極力修繕用ノ「ゴム」糊ノ配給ヲ圖ツテ修理ノ圓滑ヲ圖ツテ参リタイト存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第二、漁船用燃料配給

ニ關スル請願、文書表第一三五號——紹介議員川崎巳之太郎君

○川崎(巳)委員 是ハ餘リ明瞭ナコトデ委細説明ヲスル必要モナク、當局ガ十分御認メノコトト思ヒマスシ、又燃料ノ足ラナイコトモ當業者側ニ於テモ十分存ジテ居ルノデアリマス、サリナガラ此ノ間當業者ガ見テ居ル所ト、當局ニ於カレテ知悉シテ居ル所ガ、雙方事情ヲ諒トシナガラモ、若干ノ距離ガアリマスノデ、其ノ距離ノ橋渡シヲ少シクツケテ考ヘテ戴キタイト思フノデ、自分ガ紹介議員ニナツタ譯デアリマス、食糧増産ハ刻下ノ急務ナルコトハ言フマデモナイガ、其ノ食糧ヲ米麥及ビ甘藷、馬鈴薯ダケニ限ツテシマフノデハ、日本人ノ生活ハ出來ナイ、大陸デアリマスレバ豚肉、牛肉、羊肉ナドガアリマセウガ、ソレハ日本人ハ食ハネバナラスト限リマセヌガ、魚ニ依ル營養分ガナクテハ、ドウシテモ生活ガ出來ナイコトハ言フマデモナイノデアリマス、ソレガ色々ノ故障ガアツテ——船ノ方デモ造船ノ問題ガ、盛シニナツテ來タガ、漁船ノ方ノ新造及ビ修繕ガ兎角怠ラレテ居リ、漁網モ船綱モイケンナイ、揚繰網ノ如キハ以前一組一萬圓ソコノデ出來タモノガ、今四、五萬圓掛ル、或ハ四、五萬圓掛ケテモ出來ナイト申シテ居リマス、ソコヘ揚繰網ヲ買ツテ來テモ、乘リ廻ハス人手モ少イガ別シテ燃料油ガナクテ困リ抜イテ居ル、鯉、鮪ナドト違ツテ鰻ハ沿岸近クデ漁ガ出來マスガ、ソレデモ困ツテ居ル、尙ホ漁夫ノ中、壯丁ハ應召シ、其ノ殘リハ、農業要員ニ對スルヤウニ、漁夫要員ノ手當ナドガナイ所ヘ、何トモ彼トモ此ノ燃料ガナクテ仕様ガナイノデアリマス、昨年ノ秋カラ暮ニ掛ケ

マシテハ、太平洋ニ面スル北部沿岸ノ如キハ非常ナ鰻ノ大漁デアリマシタガ、ソコニ澤山鰻ガアルノニミス——逃ガシテシマフヤウナ困難サデアリマス、是ハ鰻バカリデナク、廣イ意味デアリマスケレドモ、燃料ニ付テ何トカモウ少シ御工夫ガ出來マイカ、斯ウ云フ請願デアリマスガ、當局ノ御意見ヲ伺ヒマス

○菱沼政府委員 戰時下食糧確保ノ必要ナコトハ、御説ノ如ク論ヲ俟タナイノデアリマシテ、燃料關係ニ於キマシテハ、從來ヨリ能フル限り是ガ配給確保ニ努力致シテ居ル次第デアリマス、國內石油需給ノ事情ヲ詳シク申上ゲ得マスナラバ、御諒解ヲ得ルコトト存ジマスガ、サウ云フコトガ許サレナイ事情デ齒痒イノデアリマスガ、非常ニ逼迫シテ居リマスノデ、我々ト致シマシテハ漁業用ニ出來ルダケ廻ハシタイト思ヒナガラ、其ノ配給ヲ増加シ難イヤウナ現状ニアリマスコトヲ御諒承願ヒタイノデアリマス、隨ヒマシテ是ガ對策ト致シマシテハ、關係各省ト緊密ニ連絡ヲ致シマシテ、代用燃料ノ有効利用、漁船ニ對スル代用燃料裝置ノ普及ノ一層ノ徹底促進ヲ圖リマスコトガ必要ト思ヒマス、又他方ニ於キマシテ供給可能ノ燃料ノ數量内ニ於テモ、之ヲ效率的ニ使用スル必要ガアリマスノデ、國民食糧確保ノ見地ヨリ、漁獲魚種ニ對應スル重點ノ配給ヲスル等、一層斯ウ云フ方面ニ於テ合理化ヲ期スルコトガ必要ト考ヘテ居ルノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○川崎(巳)委員 燃料配給ヲ合理化スルコトニ御努力中デアルコトハ了承致シマスガ、一向其ノ努力ノ效果ガ現ハレズニ、モドカシクテ仕様ガナイト云フノデ、同ジ文案デ

請願が續々方々カラ参ッテ居ルヤウナ次第
デアリマスカラ、尙ホ實績ノ上ルヤウナ御
努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、各省緊密ナ連
繫ヲ執ルト云フコトニ付テノ御努力モ有難
イノデアリマスガ、ソレニ付テ伺ヒタイコ
トハ、昨年秋頃、農林省配屬委員ノ會議デ
此ノ問題ガ論議セラレマシタ時、多分濱地
委員ノ發案ト思ヒマシタガ、農林省ガサマ
デ漁船用燃料ニ困ツテ居ルナラバ、漁船ノ
或ル部分ヲ漁業組合自身ノ手デ南ノ方ヘ派
遣シ油ヲ持ツテ來サセル、勿論持ツテ來タ
其ノ油ハ全部自分用ニスルノデハナク、其
ノ何割カハ國ノ方ニ御命令通り獻上シ、其
ノ餘リヲ漁業者ニ分ケル、其ノ代リ途中デ
敵潜水艦ヲ飛行機ニ狙ハレヤウトモ、自分
等ハ第一線ノ兵士ト同ジ覺悟デ居ルノダカ
ラ、一向構ハス、ダカラ農林省ガ他ノ諸省
ト連絡ヲトリ世話ヲ焼イテ之ヲ實行ニ移シ
テ呉レマイカト云フコトデアツタヤウニ薄
ラ覺エニ記憶シテ居リマス、無カラ有ラ生
ジ、不可能ヲ可能ニスルト云フ東條總理大
臣ノ御話ノ通りニ、何デモ彼デモヤラナク
テハナラス時節デアリマスカラ、左様ナ
方法ガ若シ惡ケレバソレニ修正ヲ加ヘルナ
リシテ、折角提案ガ出タノデスカラ、之ヲ
出來レバ宜カラウト云フ位ナ茶舌話ノ材料
デナク、實行ニ移スヤウニ致サナケレバナ
ラヌト、思フノデゴザイマスガ、其ノ案若シ
クハソレニ類スル案デ何カ一ツ本氣ニ促進
スルト云フ思召ガアルカナイカラ承リタイ
ト思フノデゴザイマス

○**菱沼政府委員** 今御尋ネニナリマシタコ
トハ、内容ガ陸海軍省所管ノコトデアリマ
スガ、唯私ノ承知シテ居ル所デハ、思ヒ付
キト云フ程度ヲ越エテ、是ハ相當實行シ得

ル状態ニナツテ居ルヤニ伺ツテ居リマス、
私カラ其ノ點ヲ申上ゲテ置キマス
○**南委員** 油ノ逼迫シテ居ルコトハ能ク分
リマス、又漁業用ノ油ニ付テモ相當ノ制限
ヲセラレテ居ルノハ已ムヲ得ナイトモ思ヒ
マス、所ガ當時繼續的ニ或ル數量ヲ供給ス
ルト云フコトノミニ付テ考ヘレバ、已ムヲ
得ナイト云フコトデ、不足ト云フ場面ガ非
常ニ痛切ナシデアリマスガ、ソレヲ或ル程
度季節的ニ、鰯ノ群ガウント來タト云フヤ
ウナ特ニ必要ナ時ニ、臨時ニ供給シテヤル
ト云フヤウナコトガ出來マスカラバ、サウ
云フモノヲ常時ニ割ツテ見レバ僅カナモノ
デアアル、僅カナモノヲ固メテ置イテ、何處
カニ、此ノ附近デハ斯ウ云フ季節ニ此ノ程
度ノ數量ハ豫備的ニ置イテオクト云フ必要
ガアルンデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ關係
當局ト御協議ノ上デ、全體ノ絕對量ニ於テ
ハ大シテ影響ノナイヤウナ範圍デ有效ニ其
ノ油ヲ使フ、斯ウ云フコトニ付テノ御工夫
ハ出來ヌモノデアアルカ、其ノ點ヲ一寸參考
ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○**菱沼政府委員** 只今御尋ネノ點ハ主トシ
テ農商省ニ於テヤツテ居ラレル所デアリマ
スガ、農商省ニ於カレマシテモ或ル程度ノ
數量ハヤハリ保留シテ、御話ノヤウナ場合
ニ充デルベクヤツテ居ラレルノデアリマス
ガ、併シ何分ニモ全體ノ數量ガ少イノデア
リマスカラ、御話ノヤウナ場合ニ特別ニ
配給スルト云フ量ガ少イト云フヤウナ事情
デアラウト思ヒマス、尙ホ此ノ點ニ付キマ
シテハ農商省當局トモ十分連繫ヲ執リマシ
テ、更ニ考究ヲ進メタイト思ヒマス

○**小野寺委員** ソレニ附帶シテ簡單ニ御尋
ネ申上ゲマスガ、漁船用ノ石油ノ配給ト、

其ノ配給ヲ受ケタル漁船ノ漁獲物ノ供出ト
ノ關係、是ハ御省ノ關係デセウカ、農商省
ノ關係デセウカ

○**菱沼政府委員** 今御尋ネハ所管ノ御尋
ネト思ヒマスガ、ソレハ農商省ノ所管デゴ
ザイマス

○**坂東委員** 採擇ヲ希望致シマス
○**清水委員** 御興議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○**清水委員** 採擇ニ決定致シマシタ
○**清水委員長** 陸軍省所管ニ移リマス
日程第一、歸還後死亡セル軍人ノ取扱ニ
關スル請願、文書表第二〇號——川崎君

○**川崎君** 此ノ請願ノ趣意ハ歸還後
死亡シタ軍人ノ取扱規定ニハ若干改善ノ餘
地アリ、且ツ是ガ運用ニ付テモ往々遺憾ノ
點ガ少クナイ、仍テ取扱規定ヲ改善スルト
同時ニ、其ノ運用ニモ遺憾ナキヲ期セラレ
タイト云フノデゴザイマス、是ダケデハ如
何ニモ簡單明瞭デ、當局ニ於テモ無論御興
議ノナイコトト存ジマスケレドモ、此ノ實
際ノ話ニナルト中々左様簡單ニ參ラスノデ
ゴザイマス、ソコデ戰死シタ者及ビ歸還後
死亡シタ軍人及ビ其ノ遺族等ノ取扱ニ付テ
ハ、我々外ノ者カラ見マスト實ニ澤山ノ規
定ガアリマス、法律アリ、勅令アリ、告示
アリ、達アリ、陸海軍トモ各種各様、ソレ
ガ何年カ毎ニ追加サレタリ改マツタリ何カ
スルノデ、一寸私共素人ニハ見當ガ付カヌ
程澤山アリマスガ、ソレ等ヲ殘ラズ並ベテ
之ヲ斯ウシテハドウカ、アレヲ斯ウシテハ
ドウカト云フ、左様ナ法制審議會デヤルヤ
ウナコトヲ茲ニ持出スノデハゴザイマセヌ、
私共全ク門外漢デ素人デアリマス、ソレヲ

極メテ善意ニ運用シテ下サルコトニ滿幅ノ
信賴ヲ拂ツテ居リ、謝意ヲ表シテ居ルノデ
ゴザイマス、併シナガラ實際問題ニ打突カ
ツテ甚ダ遺憾ナ點ガ多イノデゴザイマスガ
ラ、是デハドウモ仕様ガナイ、我々ノ僅カ
ナ經驗ノ中ニ打突カツテ行詰ツタコト、サ
ウシテ其ノ基ク所ハ現行ノ規定ガ惡イノダ
カラト云フ所ニ存ジマスカラ、其ノ實際問
題トナツタモノダケ、一、二ヲ僅カニ拾ウテ、
サウシテ他ノ點ニ付テモ色々改善ノ餘地ガ
アレバ御工夫ヲシテ戴キタイト思フノデゴ
ザイマス、然ラバ運用ノ方ヲ次ニシマシテ、
第一ニ規定ノ方カラ申シマス、私共實際
問題デドンナコトニ打突カルカト云フト、
歸還後死亡シタ軍人ヲ戰死者トスルカ、唯
ノ普通ノ平病デ斃レタモノトスルカト云フ
境目ナノデゴザイマスガ、昭和十二年頃ノ陸
軍省告示第何號「今回ノ支那事變ニ係ル死
者特別賜金賜與規程」ソレニ依リマス、昭和
十二年七月七日以後直接支那事變ニ關ス
ル勤務ニ從事シ爲ニ死シタル各號ノ一ニ
該當スルトキハ其ノ遺族ニ特別賜金ヲ賜與
ス「其ノ各號ノ一ニ、事變地ニ於テ戰傷以外
ノ傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲該負傷
又ハ該罹病ノ日ヨリ三年以内ニ死シタル
トキ、死後遺族ニ特別賜金ヲ賜與スルト云
フコトニナツテ居リマス、所ガ人數ガ多イ
ノデアリマスカラ、勿論年數ヲモ限ラネバ、
當局ガ御扱ヒ下サルノニ困ラデアリマセウ
ケレドモ、實際三年以内ト云フノハ適當デ
アルカドウデアアルカト云フコトガ問題ニナ
ツテ來ルノデアリマシテ、極メテ不適當ダ
ト云フ實例ガ是ニアルノデアリマス、左様
ナ實例ハ他ノ委員カラモ後程申上ゲルト思
ヒマスガ、例ヘバ戰地デ彈ヲ何發カ受ケテ、

第三類第一號 請願委員會會議錄 第四回
昭和十九年二月五日

六三

其ノ彈ガ殘ラズ拔ケ切レナカッタ爲ニ、外ニ内臓ノ故障ヲ起シテ、ソレガ三年以内ト云フ期限ガ切レル少シ前カラ始マツテ以後ニ繼續シテ、四年モ五年モ掛ツテ死シタト云フ兵隊ガアルノデアリマス、左様な場合ニ於キマシテハ、三年以内ニ死ヌタル時ダカラ、オ前ノ親父ノ死シタノハ大死デアルト云フヤウナ處分ヲセラレテ、遺族ガ悲運ニ泣イテ居ルト云フ慘澹タル事例ガ幾ツモアルノデゴザイマス、デスカラ三年以内ニ死ヌシタノハ、原因ガ其ノ前デアレバ三年以内ヲモウ少シ延バサナケレバナラヌデヤナイカト云フ風ニ私共實物ニ打突カツテ考ヘルノデゴザイマス、ソレカラ例ヘバ「マ

結果ガソコニ起ルト思フ、甚ダ残念デアリマス、ソコデ三年以内ニ死ヌト云フヤウナコトハ何トカ直シテ戴キタイ

御考ヘノ餘地ハナカラウカト思ヒマス、ソレカラ衆議院ニ於テ元々議員側ノ發議デアツテ、文部省ノ提案トシテ正式ニ文部省カラ提案サレテ成立シマシタ育英基金制度ノ如キモ、一ツノ狙ヒ所ハ出征軍人ノ遺家族ヲシテ、君達ノ家ニ殘シタ子供ニ關シテハ後顧ノ憂ヒナカラシムルト云フコトガ主眼デアアル、オ前サン達ノ子女ヲ憐リナガラ國家ガ御世話スルカラ、斯ウ云フ意味デ育英基金制度ガ大賛成ヲ以テ成立ツテ居ル、サウ云フ國策ト、今尙ホ舊態依然トシテ斯ウ云フコトヲ陸海軍ノ方ガ放擲シテ居ルコトハ、國策ノ上ニ矛盾ガアルノデハナイカト

病ハ三年、戰傷死或ハ戰病死ニ對シテハ五年間ノ有效期間ヲ認メマシテ、之ニ依ツテ若シモ死亡シタト云フヤウナ場合ニハ取扱ハレルヤウニナツテ居リマス、殆大部分ノモノハ此ノ原則デ間違ヒナク今マデ處置シテ居リマスガ、唯今色々言ハレマシタヤウニ時々非常ナ特例ガゴザイマス、サウ云フ場合ニハ又特別ノ詮議ヲ致シマシテ、色色臨機ノ處置ヲ致シテ居ル場合モゴザイマスガ、今ノヤウナ法律ト別ノ方面カラノト睨ミ合セテ、ドウシテモソレデ不合理ダト云フコトナラバ逐次變ヘテ行クヤウニ研究ヲ致シマス、是等ノ總テノ規則ハ運用ニアリマスノデ此ノ運用ニ付テハ大臣モ非常ニヤカマシク言ツテ居ラレマシテ、陸軍省ノ此ノ方面ノ者モ非常ニ親切ニヤツテ居ル積リデゴザイマス、此ノ上トモ氣ヲ付ケテ行キタイト思ヒマス

ノ秋ニ私共衆議院議員團ガ霞ヶ浦ノ海軍病院ヘ御訪ネシタ時ニ、院長ガ言フノニハ、此處デハ四年、五年以前「マラリア」ニ罹ツタ者ガ今ハ外觀平癒シテ居ル、本人ハ退院サセテ貰ヒタイト言フニ拘ラズ、ピン／＼シテ居ル者ヲ院內ニ殘シテ置イテ、骨マデ削ツテ骨ノ髓カ何カラ器械デ一部抉リ取りマシテソレヲ検査シテ、マダ微菌ガアルカラト云ツテ留メテ置クノガアルト云フコトデアリマス、海軍バカリデナク陸軍モ同様ニ、此ノ戰時ニアツテハ特ニ左様ナ軍隊醫學ガ發達シテ居ルノデ、同様デアルト思フノデアリマス、サウデアリマスレバ南方「マラリア」ニ罹ツタ毒ノ爲ニ熱ヲ起シタリ、腦ヲ冒サレテ發狂狀態ニナツタリスル者ガ随分アルノデアリマス、ソレデ三年以内ニ治マラナケレバソレハ普通ノ犬死ニサセテシマフト云フ話デハ、甚ダ軍當局ノ平生ノ親心ニ似合ハナイ

其ノ次ハ軍事扶助法施行令ノ中ニ斯様ナ規定ガゴザイマス、昭和六年十二月八日、勅令第二百八十四號デ發布セラレテ居リマスルガ、第二條ノ三ニ「居宅扶助ノ場合ニ於テ生活扶助ノ爲支出スル費用ハ一人一日三十五錢以内トス」其ノ上ニ「一世帯ニ於テ扶助ノ受クル者二人以上アルトキハ前項ノ費用ハ之ヲ減額スルコトヲ得」即チ三十五錢以下ニシテシマフト云フノデアリマス、第四條ニハ「居宅扶助ノ場合ニ於テ助産ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」、第五條ニ「埋葬ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」斯ウ云フ明文ガアツテ、是ガ未ダニ生キテ居ルノデゴザイマス、所ガ是ハ昭和六年デゴザイマスガ、言フマデモナク今ヨリ十三年前デス、此ノ時ノ物價ヲ其ノ價ニシテ平然トシテイラツシヤル當局者ノ御心持ガ私共ニ解セナイ、アナタ方ハ常識ノナイ方ト思ヒマセヌガ、

○二宮政府委員 只今色々具體例ヲ擧ゲテ御説明ニナリマシタ、私モ專門屋デアリマセヌノデ、一々ノ具體例ニ付テ御答ヘハ此處デ出來マセヌガ、常々大臣モ斯ウ云フモノニ關スル點ハ非常ニヤカマシク言ツテ居リマス、色々不十分ナ點ハ其ノ時々ニ特別ニ調査ヲシテ處置スルヤウニ致シテ居リマス、唯規則ノ點ハ今申サレマシタヤウニ、ヤハリ古イ時ニ決マツタ規則デ、金額アタリモカシイコトガアリマスガ、唯是バカリデハ行ツテ居リマセヌノデ、軍人援護ノ方面カラソレ以外ニ救護等モ加ヘマシテ、困ツテ居ル者ニ對シテハ又別ノ方面カラヤルヤウニ致シテ居リマス、年限ノ問題アタリモ病氣ニ依リマシテソレ／＼特例ハゴザイマスガ、大體現在ノ規定ハ病人ナラバ平

○平井政府委員 軍事扶助ノ施行ハ厚生省ノ軍事保護院ガ主管致シテ居リマスノデ、御答ヘヤラ實情ヲ申上ゲタイト存ジマスガ、御話ノ通りニ軍事扶助ノ額ガ低イコトハ十分承知致シテ居リマス、今記憶ハ明確デアリマセヌガ、昭和十三年頃ニ既ニ第一回ノ額ノ引上ヲ行ツテ居リマス、更ニ又今年度デゴザイマスガ、昨年ノ夏頃ニ引上ゲテ居リマスノデ、額ハ相當引上ツテ居リマスケレドモ、尙ホ物價ノ昂騰ニ比較致シマスレバ十分デナイコトハ我々モ認メテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ扶助ノミニ依リマシテ御困リノ場合ニ於キマシテハ、政府トシテハ、是モ明確デハアリマセヌガ、約一千萬圓位ノ國費ヲ以テマシテ、其ノ方デ定メラレタ以外ノ扶助モ行フヤウナ途モ講ジテ居リマスルシ、更ニ又恩賜財團軍人援護

ノ秋ニ私共衆議院議員團ガ霞ヶ浦ノ海軍病院ヘ御訪ネシタ時ニ、院長ガ言フノニハ、此處デハ四年、五年以前「マラリア」ニ罹ツタ者ガ今ハ外觀平癒シテ居ル、本人ハ退院サセテ貰ヒタイト言フニ拘ラズ、ピン／＼シテ居ル者ヲ院內ニ殘シテ置イテ、骨マデ削ツテ骨ノ髓カ何カラ器械デ一部抉リ取りマシテソレヲ検査シテ、マダ微菌ガアルカラト云ツテ留メテ置クノガアルト云フコトデアリマス、海軍バカリデナク陸軍モ同様ニ、此ノ戰時ニアツテハ特ニ左様ナ軍隊醫學ガ發達シテ居ルノデ、同様デアルト思フノデアリマス、サウデアリマスレバ南方「マラリア」ニ罹ツタ毒ノ爲ニ熱ヲ起シタリ、腦ヲ冒サレテ發狂狀態ニナツタリスル者ガ随分アルノデアリマス、ソレデ三年以内ニ治マラナケレバソレハ普通ノ犬死ニサセテシマフト云フ話デハ、甚ダ軍當局ノ平生ノ親心ニ似合ハナイ

其ノ次ハ軍事扶助法施行令ノ中ニ斯様ナ規定ガゴザイマス、昭和六年十二月八日、勅令第二百八十四號デ發布セラレテ居リマスルガ、第二條ノ三ニ「居宅扶助ノ場合ニ於テ生活扶助ノ爲支出スル費用ハ一人一日三十五錢以内トス」其ノ上ニ「一世帯ニ於テ扶助ノ受クル者二人以上アルトキハ前項ノ費用ハ之ヲ減額スルコトヲ得」即チ三十五錢以下ニシテシマフト云フノデアリマス、第四條ニハ「居宅扶助ノ場合ニ於テ助産ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」、第五條ニ「埋葬ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」斯ウ云フ明文ガアツテ、是ガ未ダニ生キテ居ルノデゴザイマス、所ガ是ハ昭和六年デゴザイマスガ、言フマデモナク今ヨリ十三年前デス、此ノ時ノ物價ヲ其ノ價ニシテ平然トシテイラツシヤル當局者ノ御心持ガ私共ニ解セナイ、アナタ方ハ常識ノナイ方ト思ヒマセヌガ、

○二宮政府委員 只今色々具體例ヲ擧ゲテ御説明ニナリマシタ、私モ專門屋デアリマセヌノデ、一々ノ具體例ニ付テ御答ヘハ此處デ出來マセヌガ、常々大臣モ斯ウ云フモノニ關スル點ハ非常ニヤカマシク言ツテ居リマス、色々不十分ナ點ハ其ノ時々ニ特別ニ調査ヲシテ處置スルヤウニ致シテ居リマス、唯規則ノ點ハ今申サレマシタヤウニ、ヤハリ古イ時ニ決マツタ規則デ、金額アタリモカシイコトガアリマスガ、唯是バカリデハ行ツテ居リマセヌノデ、軍人援護ノ方面カラソレ以外ニ救護等モ加ヘマシテ、困ツテ居ル者ニ對シテハ又別ノ方面カラヤルヤウニ致シテ居リマス、年限ノ問題アタリモ病氣ニ依リマシテソレ／＼特例ハゴザイマスガ、大體現在ノ規定ハ病人ナラバ平

○平井政府委員 軍事扶助ノ施行ハ厚生省ノ軍事保護院ガ主管致シテ居リマスノデ、御答ヘヤラ實情ヲ申上ゲタイト存ジマスガ、御話ノ通りニ軍事扶助ノ額ガ低イコトハ十分承知致シテ居リマス、今記憶ハ明確デアリマセヌガ、昭和十三年頃ニ既ニ第一回ノ額ノ引上ヲ行ツテ居リマス、更ニ又今年度デゴザイマスガ、昨年ノ夏頃ニ引上ゲテ居リマスノデ、額ハ相當引上ツテ居リマスケレドモ、尙ホ物價ノ昂騰ニ比較致シマスレバ十分デナイコトハ我々モ認メテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ扶助ノミニ依リマシテ御困リノ場合ニ於キマシテハ、政府トシテハ、是モ明確デハアリマセヌガ、約一千萬圓位ノ國費ヲ以テマシテ、其ノ方デ定メラレタ以外ノ扶助モ行フヤウナ途モ講ジテ居リマスルシ、更ニ又恩賜財團軍人援護

ノ秋ニ私共衆議院議員團ガ霞ヶ浦ノ海軍病院ヘ御訪ネシタ時ニ、院長ガ言フノニハ、此處デハ四年、五年以前「マラリア」ニ罹ツタ者ガ今ハ外觀平癒シテ居ル、本人ハ退院サセテ貰ヒタイト言フニ拘ラズ、ピン／＼シテ居ル者ヲ院內ニ殘シテ置イテ、骨マデ削ツテ骨ノ髓カ何カラ器械デ一部抉リ取りマシテソレヲ検査シテ、マダ微菌ガアルカラト云ツテ留メテ置クノガアルト云フコトデアリマス、海軍バカリデナク陸軍モ同様ニ、此ノ戰時ニアツテハ特ニ左様ナ軍隊醫學ガ發達シテ居ルノデ、同様デアルト思フノデアリマス、サウデアリマスレバ南方「マラリア」ニ罹ツタ毒ノ爲ニ熱ヲ起シタリ、腦ヲ冒サレテ發狂狀態ニナツタリスル者ガ随分アルノデアリマス、ソレデ三年以内ニ治マラナケレバソレハ普通ノ犬死ニサセテシマフト云フ話デハ、甚ダ軍當局ノ平生ノ親心ニ似合ハナイ

其ノ次ハ軍事扶助法施行令ノ中ニ斯様ナ規定ガゴザイマス、昭和六年十二月八日、勅令第二百八十四號デ發布セラレテ居リマスルガ、第二條ノ三ニ「居宅扶助ノ場合ニ於テ生活扶助ノ爲支出スル費用ハ一人一日三十五錢以内トス」其ノ上ニ「一世帯ニ於テ扶助ノ受クル者二人以上アルトキハ前項ノ費用ハ之ヲ減額スルコトヲ得」即チ三十五錢以下ニシテシマフト云フノデアリマス、第四條ニハ「居宅扶助ノ場合ニ於テ助産ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」、第五條ニ「埋葬ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」斯ウ云フ明文ガアツテ、是ガ未ダニ生キテ居ルノデゴザイマス、所ガ是ハ昭和六年デゴザイマスガ、言フマデモナク今ヨリ十三年前デス、此ノ時ノ物價ヲ其ノ價ニシテ平然トシテイラツシヤル當局者ノ御心持ガ私共ニ解セナイ、アナタ方ハ常識ノナイ方ト思ヒマセヌガ、

○二宮政府委員 只今色々具體例ヲ擧ゲテ御説明ニナリマシタ、私モ專門屋デアリマセヌノデ、一々ノ具體例ニ付テ御答ヘハ此處デ出來マセヌガ、常々大臣モ斯ウ云フモノニ關スル點ハ非常ニヤカマシク言ツテ居リマス、色々不十分ナ點ハ其ノ時々ニ特別ニ調査ヲシテ處置スルヤウニ致シテ居リマス、唯規則ノ點ハ今申サレマシタヤウニ、ヤハリ古イ時ニ決マツタ規則デ、金額アタリモカシイコトガアリマスガ、唯是バカリデハ行ツテ居リマセヌノデ、軍人援護ノ方面カラソレ以外ニ救護等モ加ヘマシテ、困ツテ居ル者ニ對シテハ又別ノ方面カラヤルヤウニ致シテ居リマス、年限ノ問題アタリモ病氣ニ依リマシテソレ／＼特例ハゴザイマスガ、大體現在ノ規定ハ病人ナラバ平

○平井政府委員 軍事扶助ノ施行ハ厚生省ノ軍事保護院ガ主管致シテ居リマスノデ、御答ヘヤラ實情ヲ申上ゲタイト存ジマスガ、御話ノ通りニ軍事扶助ノ額ガ低イコトハ十分承知致シテ居リマス、今記憶ハ明確デアリマセヌガ、昭和十三年頃ニ既ニ第一回ノ額ノ引上ヲ行ツテ居リマス、更ニ又今年度デゴザイマスガ、昨年ノ夏頃ニ引上ゲテ居リマスノデ、額ハ相當引上ツテ居リマスケレドモ、尙ホ物價ノ昂騰ニ比較致シマスレバ十分デナイコトハ我々モ認メテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ扶助ノミニ依リマシテ御困リノ場合ニ於キマシテハ、政府トシテハ、是モ明確デハアリマセヌガ、約一千萬圓位ノ國費ヲ以テマシテ、其ノ方デ定メラレタ以外ノ扶助モ行フヤウナ途モ講ジテ居リマスルシ、更ニ又恩賜財團軍人援護

ノ秋ニ私共衆議院議員團ガ霞ヶ浦ノ海軍病院ヘ御訪ネシタ時ニ、院長ガ言フノニハ、此處デハ四年、五年以前「マラリア」ニ罹ツタ者ガ今ハ外觀平癒シテ居ル、本人ハ退院サセテ貰ヒタイト言フニ拘ラズ、ピン／＼シテ居ル者ヲ院內ニ殘シテ置イテ、骨マデ削ツテ骨ノ髓カ何カラ器械デ一部抉リ取りマシテソレヲ検査シテ、マダ微菌ガアルカラト云ツテ留メテ置クノガアルト云フコトデアリマス、海軍バカリデナク陸軍モ同様ニ、此ノ戰時ニアツテハ特ニ左様ナ軍隊醫學ガ發達シテ居ルノデ、同様デアルト思フノデアリマス、サウデアリマスレバ南方「マラリア」ニ罹ツタ毒ノ爲ニ熱ヲ起シタリ、腦ヲ冒サレテ發狂狀態ニナツタリスル者ガ随分アルノデアリマス、ソレデ三年以内ニ治マラナケレバソレハ普通ノ犬死ニサセテシマフト云フ話デハ、甚ダ軍當局ノ平生ノ親心ニ似合ハナイ

其ノ次ハ軍事扶助法施行令ノ中ニ斯様ナ規定ガゴザイマス、昭和六年十二月八日、勅令第二百八十四號デ發布セラレテ居リマスルガ、第二條ノ三ニ「居宅扶助ノ場合ニ於テ生活扶助ノ爲支出スル費用ハ一人一日三十五錢以内トス」其ノ上ニ「一世帯ニ於テ扶助ノ受クル者二人以上アルトキハ前項ノ費用ハ之ヲ減額スルコトヲ得」即チ三十五錢以下ニシテシマフト云フノデアリマス、第四條ニハ「居宅扶助ノ場合ニ於テ助産ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」、第五條ニ「埋葬ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」斯ウ云フ明文ガアツテ、是ガ未ダニ生キテ居ルノデゴザイマス、所ガ是ハ昭和六年デゴザイマスガ、言フマデモナク今ヨリ十三年前デス、此ノ時ノ物價ヲ其ノ價ニシテ平然トシテイラツシヤル當局者ノ御心持ガ私共ニ解セナイ、アナタ方ハ常識ノナイ方ト思ヒマセヌガ、

○二宮政府委員 只今色々具體例ヲ擧ゲテ御説明ニナリマシタ、私モ專門屋デアリマセヌノデ、一々ノ具體例ニ付テ御答ヘハ此處デ出來マセヌガ、常々大臣モ斯ウ云フモノニ關スル點ハ非常ニヤカマシク言ツテ居リマス、色々不十分ナ點ハ其ノ時々ニ特別ニ調査ヲシテ處置スルヤウニ致シテ居リマス、唯規則ノ點ハ今申サレマシタヤウニ、ヤハリ古イ時ニ決マツタ規則デ、金額アタリモカシイコトガアリマスガ、唯是バカリデハ行ツテ居リマセヌノデ、軍人援護ノ方面カラソレ以外ニ救護等モ加ヘマシテ、困ツテ居ル者ニ對シテハ又別ノ方面カラヤルヤウニ致シテ居リマス、年限ノ問題アタリモ病氣ニ依リマシテソレ／＼特例ハゴザイマスガ、大體現在ノ規定ハ病人ナラバ平

○平井政府委員 軍事扶助ノ施行ハ厚生省ノ軍事保護院ガ主管致シテ居リマスノデ、御答ヘヤラ實情ヲ申上ゲタイト存ジマスガ、御話ノ通りニ軍事扶助ノ額ガ低イコトハ十分承知致シテ居リマス、今記憶ハ明確デアリマセヌガ、昭和十三年頃ニ既ニ第一回ノ額ノ引上ヲ行ツテ居リマス、更ニ又今年度デゴザイマスガ、昨年ノ夏頃ニ引上ゲテ居リマスノデ、額ハ相當引上ツテ居リマスケレドモ、尙ホ物價ノ昂騰ニ比較致シマスレバ十分デナイコトハ我々モ認メテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ扶助ノミニ依リマシテ御困リノ場合ニ於キマシテハ、政府トシテハ、是モ明確デハアリマセヌガ、約一千萬圓位ノ國費ヲ以テマシテ、其ノ方デ定メラレタ以外ノ扶助モ行フヤウナ途モ講ジテ居リマスルシ、更ニ又恩賜財團軍人援護

ノ秋ニ私共衆議院議員團ガ霞ヶ浦ノ海軍病院ヘ御訪ネシタ時ニ、院長ガ言フノニハ、此處デハ四年、五年以前「マラリア」ニ罹ツタ者ガ今ハ外觀平癒シテ居ル、本人ハ退院サセテ貰ヒタイト言フニ拘ラズ、ピン／＼シテ居ル者ヲ院內ニ殘シテ置イテ、骨マデ削ツテ骨ノ髓カ何カラ器械デ一部抉リ取りマシテソレヲ検査シテ、マダ微菌ガアルカラト云ツテ留メテ置クノガアルト云フコトデアリマス、海軍バカリデナク陸軍モ同様ニ、此ノ戰時ニアツテハ特ニ左様ナ軍隊醫學ガ發達シテ居ルノデ、同様デアルト思フノデアリマス、サウデアリマスレバ南方「マラリア」ニ罹ツタ毒ノ爲ニ熱ヲ起シタリ、腦ヲ冒サレテ發狂狀態ニナツタリスル者ガ随分アルノデアリマス、ソレデ三年以内ニ治マラナケレバソレハ普通ノ犬死ニサセテシマフト云フ話デハ、甚ダ軍當局ノ平生ノ親心ニ似合ハナイ

其ノ次ハ軍事扶助法施行令ノ中ニ斯様ナ規定ガゴザイマス、昭和六年十二月八日、勅令第二百八十四號デ發布セラレテ居リマスルガ、第二條ノ三ニ「居宅扶助ノ場合ニ於テ生活扶助ノ爲支出スル費用ハ一人一日三十五錢以内トス」其ノ上ニ「一世帯ニ於テ扶助ノ受クル者二人以上アルトキハ前項ノ費用ハ之ヲ減額スルコトヲ得」即チ三十五錢以下ニシテシマフト云フノデアリマス、第四條ニハ「居宅扶助ノ場合ニ於テ助産ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」、第五條ニ「埋葬ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」斯ウ云フ明文ガアツテ、是ガ未ダニ生キテ居ルノデゴザイマス、所ガ是ハ昭和六年デゴザイマスガ、言フマデモナク今ヨリ十三年前デス、此ノ時ノ物價ヲ其ノ價ニシテ平然トシテイラツシヤル當局者ノ御心持ガ私共ニ解セナイ、アナタ方ハ常識ノナイ方ト思ヒマセヌガ、

○二宮政府委員 只今色々具體例ヲ擧ゲテ御説明ニナリマシタ、私モ專門屋デアリマセヌノデ、一々ノ具體例ニ付テ御答ヘハ此處デ出來マセヌガ、常々大臣モ斯ウ云フモノニ關スル點ハ非常ニヤカマシク言ツテ居リマス、色々不十分ナ點ハ其ノ時々ニ特別ニ調査ヲシテ處置スルヤウニ致シテ居リマス、唯規則ノ點ハ今申サレマシタヤウニ、ヤハリ古イ時ニ決マツタ規則デ、金額アタリモカシイコトガアリマスガ、唯是バカリデハ行ツテ居リマセヌノデ、軍人援護ノ方面カラソレ以外ニ救護等モ加ヘマシテ、困ツテ居ル者ニ對シテハ又別ノ方面カラヤルヤウニ致シテ居リマス、年限ノ問題アタリモ病氣ニ依リマシテソレ／＼特例ハゴザイマスガ、大體現在ノ規定ハ病人ナラバ平

○平井政府委員 軍事扶助ノ施行ハ厚生省ノ軍事保護院ガ主管致シテ居リマスノデ、御答ヘヤラ實情ヲ申上ゲタイト存ジマスガ、御話ノ通りニ軍事扶助ノ額ガ低イコトハ十分承知致シテ居リマス、今記憶ハ明確デアリマセヌガ、昭和十三年頃ニ既ニ第一回ノ額ノ引上ヲ行ツテ居リマス、更ニ又今年度デゴザイマスガ、昨年ノ夏頃ニ引上ゲテ居リマスノデ、額ハ相當引上ツテ居リマスケレドモ、尙ホ物價ノ昂騰ニ比較致シマスレバ十分デナイコトハ我々モ認メテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ扶助ノミニ依リマシテ御困リノ場合ニ於キマシテハ、政府トシテハ、是モ明確デハアリマセヌガ、約一千萬圓位ノ國費ヲ以テマシテ、其ノ方デ定メラレタ以外ノ扶助モ行フヤウナ途モ講ジテ居リマスルシ、更ニ又恩賜財團軍人援護

ノ秋ニ私共衆議院議員團ガ霞ヶ浦ノ海軍病院ヘ御訪ネシタ時ニ、院長ガ言フノニハ、此處デハ四年、五年以前「マラリア」ニ罹ツタ者ガ今ハ外觀平癒シテ居ル、本人ハ退院サセテ貰ヒタイト言フニ拘ラズ、ピン／＼シテ居ル者ヲ院內ニ殘シテ置イテ、骨マデ削ツテ骨ノ髓カ何カラ器械デ一部抉リ取りマシテソレヲ検査シテ、マダ微菌ガアルカラト云ツテ留メテ置クノガアルト云フコトデアリマス、海軍バカリデナク陸軍モ同様ニ、此ノ戰時ニアツテハ特ニ左様ナ軍隊醫學ガ發達シテ居ルノデ、同様デアルト思フノデアリマス、サウデアリマスレバ南方「マラリア」ニ罹ツタ毒ノ爲ニ熱ヲ起シタリ、腦ヲ冒サレテ發狂狀態ニナツタリスル者ガ随分アルノデアリマス、ソレデ三年以内ニ治マラナケレバソレハ普通ノ犬死ニサセテシマフト云フ話デハ、甚ダ軍當局ノ平生ノ親心ニ似合ハナイ

其ノ次ハ軍事扶助法施行令ノ中ニ斯様ナ規定ガゴザイマス、昭和六年十二月八日、勅令第二百八十四號デ發布セラレテ居リマスルガ、第二條ノ三ニ「居宅扶助ノ場合ニ於テ生活扶助ノ爲支出スル費用ハ一人一日三十五錢以内トス」其ノ上ニ「一世帯ニ於テ扶助ノ受クル者二人以上アルトキハ前項ノ費用ハ之ヲ減額スルコトヲ得」即チ三十五錢以下ニシテシマフト云フノデアリマス、第四條ニハ「居宅扶助ノ場合ニ於テ助産ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」、第五條ニ「埋葬ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス」斯ウ云フ明文ガアツテ、是ガ未ダニ生キテ居ルノデゴザイマス、所ガ是ハ昭和六年デゴザイマスガ、言フマデモナク今ヨリ十三年前デス、此ノ時ノ物價ヲ其ノ價ニシテ平然トシテイラツシヤル當局者ノ御心持ガ私共ニ解セナイ、アナタ方ハ常識ノナイ方ト思ヒマセヌガ、

○二宮政府委員 只今色々具體例ヲ擧ゲテ御説明ニナリマシタ、私モ專門屋デアリマセヌノデ、一々ノ具體例ニ付テ御答ヘハ此處デ出來マセヌガ、常々大臣モ斯ウ云フモノニ關スル點ハ非常ニヤカマシク言ツテ居リマス、色々不十分ナ點ハ其ノ時々ニ特別ニ調査ヲシテ處置スルヤウニ致シテ居リマス、唯規則ノ點ハ今申サレマシタヤウニ、ヤハリ古イ時ニ決マツタ規則デ、金額アタリモカシイコトガアリマスガ、唯是バカリデハ行ツテ居リマセヌノデ、軍人援護ノ方面カラソレ以外ニ救護等モ加ヘマシテ、困ツテ居ル者ニ對シテハ又別ノ方面カラヤルヤウニ致シテ居リマス、年限ノ問題アタリモ病氣ニ依リマシテソレ／＼特例ハゴザイマスガ、大體現在ノ規定ハ病人ナラバ平

○平井政府委員 軍事扶助ノ施行ハ厚生省ノ軍事保護院ガ主管致シテ居リマスノデ、御答ヘヤラ實情ヲ申上ゲタイト存ジマスガ、御話ノ通りニ軍事扶助ノ額ガ低イコトハ十分承知致シテ居リマス、今記憶ハ明確デアリマセヌガ、昭和十三年頃ニ既ニ第一回ノ額ノ引上ヲ行ツテ居リマス、更ニ又今年度デゴザイマスガ、昨年ノ夏頃ニ引上ゲテ居リマスノデ、額ハ相當引上ツテ居リマスケレドモ、尙ホ物價ノ昂騰ニ比較致シマスレバ十分デナイコトハ我々モ認メテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ扶助ノミニ依リマシテ御困リノ場合ニ於キマシテハ、政府トシテハ、是モ明確デハアリマセヌガ、約一千萬圓位ノ國費ヲ以テマシテ、其ノ方デ定メラレタ以外ノ扶助モ行フヤウナ途モ講ジテ居リマスルシ、更ニ又恩賜財團軍人援護

會ガソレニ對シテ手ヲ伸ベルコトニモ相成
ツテ居リマシテ、ソレ是レ合セマシテ、軍
人ノ遺族、家族、傷痍軍人ノ援護ニ付キマ
シテハ、出來ルダケノコトハヤツテ居ルト
御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○川崎(巳)委員 只今厚生省府委員ノ御
答辯ニ依レバ、數回改善シテ居ルト云フコ
トデゴザイマスガ、成程改正ハ昭和九年ニ
モ、十二年ニモ、十三年ニモ、又十七年ニ
モゴザイマス、併シ改正サレタ金額ガ是デ
アル、私昨日此處ノ圖書館デ現行法ヲ見テ
來テ、改正シテモ明文上コンナ金額ナラデス、
ソレデ以前ハ幾ラデアツタノカト實ハ驚イ
タ譯デス、陸軍當局及ビ厚生當局カラモ他
ノ後援會何カアルト云フ御話デアリマス、
ソレハ洵ニ結構デ、ソレハ是非ヤツテ戴カ
ナクテハナリマセスガ、此ノ軍事扶助法施行
令ヲ其ノ儘ニシテ置イテ宜イカドウカ、時
節柄直サナケレバナラスノデハナイカ、宮
内省ノ經費、衆議院議員ノ歳費ト同ジヤウ
ニ萬年据置ニシテ置ク積リカ、是ハ蛇足デ
アリマスガ、郵便切手ヤ煙草マデ値段ノ上
ル時代ニ、之ヲ此ノ儘放ツテ置ク積リカト
云フコトヲ厚生省及ビ陸軍省ノ方ニ御伺ヒ
シタイノデアリマス、

○平井府府委員 軍事扶助ノ支給額ニ付キ
マシテハ、物價其ノ他ノ點ヲ考慮致シマシ
テ、適宜直シテ行キタイト思ツテ居リマス
○菅又委員 只今川崎委員カラ詳細ニ互ツ
テ申サレマシタカラ、私カラ繰返シテ申上
グル必要ニナイト存ジマスガ、私ノ方ノ栃
木縣ノ一例ヲ申上ゲテ、軍當局ノ御考ヘラ
承リタイト思ヒマス

ソレハ栃木縣那須郡荒川村大字八ヶ代ノ
小池宗光ト云フ者ガ、昭和十一年一月十日

ニ現役兵トシテ、歩兵第五十九聯隊第五中
隊ニ入營致シマシテ、昭和十二年八月十四
日ニ勅令ガ下リ、同年八月二十九日ニ大
阪港ヲ出帆シマシテ、北支ノ方ニ參リ、九
月十三日、十四日、十六日ニ拒馬河畔ノ戰
争ニ參加シ、丁度九月二十一日平漢線西側
地區ノ戰鬪ニ參加シマシテ、同戰争デ左胸
部ニ盲管銃創ヲ受ケ、到ル處ノ病院デ療養
致シマシタケレドモ、中々全治致シマセス
デ、左胸部盲管銃創及ビ肺損傷ニ基因セル
結核性肋膜炎及ビ腹膜炎ト云フ病名デ、立
派ニ彈丸ガ殘ツタ儘、不幸ニシテ十六年一
月十一日午後十一時遂ニ死亡シタノデアリ
マス、所ガ是ガ負傷ノ日ヨリ起算シテ三箇
年四箇月經過シタ爲ニ、規定ニ依ツテ戰病
死ノ扱ヒヲ受ケルコトガ出來ナイト云フノ
デ、此ノ親父サンカラ私ノ所ヘ詳細ニ書イ
タ物ヲ持ツテ來マシテ、斯ウ云フ譯デカラ
一ツ何トカシテ戴キタイト言ツテ來タノデ
アリマス、斯ウ云フ例ハ私ノ知ツテ居ル範
圍デモ澤山アリマスガ、軍當局ノ方デハ斯
ウ云フ死亡者ニ向ツテハドウ云フ御考ヘラ
シテ居ルカト云フコトヲ簡單ニ御尋ネシテ
置キタイト思ヒマス

○二宮府府委員 先刻モ申上ゲマシタヤウ
ニ、時々實際オ氣ノ毒ナ者モゴザイマス、
私モ祕書官ヲヤツテ居リマス時ニ、大臣宛
ニ直接書類アタリモ貰ツタコトモゴザイマ
スガ、其ノ場合ニハ直ニ點檢ヲ致シマシ
テ、處置ヲ致シテ居リマス、若シモサウ云
フ特例ガアリマシタナラバ、是ハ全般的ニ
色々規則デ行ケナクテモ、地方ニハ聯隊區
司令部ガゴザイマスシ、ソレカラ師團司令
部ノ所在地ハ兵務部ガゴザイマスノデ、サ
ウ云フ所ニ行ツテ戴クナリ、或ハ陸軍省ノ

方ヘ行ツテ戴クナリ致シマスレバ、是ハ全
部デハゴザイマセス、特例デゴザイマ
スガ、サウ云フ場合ニハサウ云フ方ヘ
能ク相談シテ戴ケバ、極力善處スルヤ
ウニ、今マデモ調ベ戴イテモ結構デゴザ
イマスガ、必ズヤツテ居リマス、特殊ノモ
ノハ其ノ書類アタリ後戴キマスレバ、コ
チラデ調ベマシテ必要ナ處置ヲ致シマス
○清水委員長 菅又君、若シサウ云フ實例
ガアリマスレバ、御提出願ヒマスレバ、速
記ヘ入レテ置キマスルカラ、其ノ速記ニ依
ツテ政府ノ善處ヲ願ヘレバ結構デスカラ、
若シ書類ヲ纏メテコチラヘ御送り下サレバ
委員長ノ手許デ致シマスカラ……

○小澤委員 只今ノ御質疑ニ依リマシテ政
府ノ意向モ分リマシタケレドモ、此ノ歸還
軍人ノ死亡ノ際ニ於ケル法規ノ運用ニ付キ
マシテハ、大臣ヲ初メ中央部ニ於カレマシ
テハ、大變御同情アルオ氣持ヲ以テ取扱ツ
テ居ルコトハ能ク分ツテ居リマスガ、事務
當局ノ末端ニハ是ガ必ズシモ徹底致シテ居
リマセヌ、只今菅又君ノ申サレマシタヤウ
ナコトガ特例ト申シマスケレドモ、多々ア
ルノデゴザイマス、私モ都在軍人會ニ關係
致シテ居リマスガ、私ノ關係ニモ多々サウ
云フコトガゴザイマス、聯隊區司令部、其
ノ他ニ照會致シマシテモ、運送上ノ缺陷カ
ラ未ダニ國家ノ恩典ニ預カラザル者ガ多々
アルノデアリマス、ドウカ一ツ御答辯ノ趣
味ヲ十分末端ニ徹底サセルト云フコトヲ私
ハ希望致シテ置キマス、ソレカラモウ一ツ
デゴザイマスガ、出征軍人家族ノ救護ノ方法
ヲモ御答辯ガアリマシタガ、最近改正致シ
タバカリ額モ上ゲテ居ル、斯ウ仰シヤイ

マスガ、今ノ物價指數カラ行キマス、洵
ニ殘念ナガラ満足出來ナイノデゴザイマス、
是等ハ非常ニ皇軍ノ士氣ニ關係致シマス、
一回出征致シテ、歸還シテ、今將ニ第二回
ヲ待ツテ居ル者ガ、歸リマシテ妻帯シ、又
子ヲ産ミマシテ、是カラ奉公ヲスル覺悟ヲ
持ツテ居リマスケレドモ、出テ行カレタ後
ハ如何ニスルカト云フコトハ、今一般ノ歸
還軍人ニアル氣持デゴザイマス、是ハ獨リ
士氣バカリデハゴザイマセヌ、現實ニ生産
ニモ影響ヲ致シテ居リマス、今日食糧ノ増
産ヲ叫バレテ居ルコトハ申スマデモゴザイ
マセヌガ、農家ノ子弟ニシテ出征致シマスレ
バ、何等ノ救護モゴザイマセヌ、殘ル家族
ヲ以テ百姓致シマシテモ、手不足肥料不足
デ到底所期ノ生産ヲ維持スルコトハ出來得
マセヌ、是ガ爲ニ軍關係ノ施設ニ馳セ參ジ
マシテ田畑ヲ留守ニスルヤウニモ相成リ其
他種々苦肉ノ方法ヲ執ルガ爲ニ、生産モ大
イニ減退シテ居ルヤウナ點モ多々アルノデ
アリマシテ、私ノ縣ハ農業縣デゴザイマスガ、
今生産ノ中核ニナルモノハ在郷軍人ガヤツ
テ居リマスガ、出征後ニ於ケル所ノ不安ヲ
考ヘマシテ、近所ノ軍事施設ニ馳セ參ズル
ト云フヤウナ所カラ、現ニ非常ニ生産ヲ減
退致シテ居ルノデアリマス、斯カル點ヲ見
マスレバ、此ノ出征軍人ノ家族救護ト
云フコトハ急務中ノ急務デアルト私ハ
考ヘテ居リマス、政府ニ於カレマシテ
ハ斯カル現狀ニアルコトヲ見マス時ニ、如
何ナル御決意ガアルカ、重ネテ御答辯ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○二宮府府委員 今出征家族ニ關シテ十分
救護スル必要ガアルト云フ御考ヘニ對シマ
シテハ、我々ノ方ハ洵ニ有難イコトデアリ

昭和十九年二月五日

マシテ、勿論軍ト致シマシテハ是非サウシ
タイト思ツテ居リマス、唯軍ト致シマシテモ
今ノ出征家族バカリデナシニ、戦死者ノ遺
族アタリニ對シマシテモ、軍ト致シマシテ
ハ餘リサウ云フ甘エタ氣持——國民ノ親切
ナ氣持ニ甘エテハイカス、受ケル方ノ者ハ
オ世話ニナラナイ、自分飽クマデ獨立シ
テ生産力増強ニ寄與スルヤウニ努力スルノ
ダト云フヤウニ、其ノ當人達ニハ大體指導
スル方針ニシテヤツテ居リマスケレドモ、
普段カラ其ノ周圍ニ居ル者、若クハ上ニ居
ル者ト致シマシテハ、極力各種ノ手段ヲ盡
シマシテ、後ノ心配ガナイヤウニ十分致シ
タイト思ヒマス、當人達ニ對スル指導ト、
ソレカラ我々責任者及ビ國民ノサウ云フ遺
家族デナイ方ニ對シマシテハ、皆デ之ヲ盛
立テ、助ケテ戴クト云フ工合ニ、一寸具體
的ナ例モ今申上ガラレマセヌガ、サウ云フ
方法デ凡ル方法ヲ講ジテ居リマス、又今
後トモ講ジタイト思ヒマス、ソレカラ先程
末端ニ參リマストヤハリ運用ガ十分デナイ
ト云フコトデアリマスガ、是ハ確カニサウ
云フコトガアリマスノデ、現ニ色々ナ投書
アタリデ懇ヘモ若干ゴザイマス、此ノ點ニ
付テハ今後トモ我々ノ方トシマシテモ注意
致ス積リデアリマス

○川崎(巳)委員 長クナリマシタカラ最後
ニ私モ簡單ニ御願ヒ致シマスカラ御許シ願
ヒマス、茨城縣下館署巡査鈴木農夫ト云フ
衛生兵ノ死亡ノコトニ付キマシテハ、昨春
其ノ詳シイ書類ヲ一括シテ見タイカラト云
フ軍當局ノ思召デアリ恩賞課ノ中尾少佐カ
ラ、昨年ノ三月二十九日ニ御預カリシテ調
ベテ見ルカラト云フ御手紙ヲ頂戴シテ、半
月後ノ四月十五日ニ故鈴木農夫上等兵ノ特

別賜金扶助料ニ關スル件賜與相成難キニ付
御返答申上候ト云フ返事ガ來テ、是ガ陸軍
省ノ最後ノ決定トナリマシタ、ケレドモ其
ノ以前コ、ニ至ルマデノ手續ヲ見マスト、
茨城縣ノ警察部及ビ其ノ所管ノ巡査ノ屬シ
テ居ツタ下館署署長ハ、戦死者ノ扱ヒヲ
始終シテ居リマス、或ハ下館署長カラ本籍
地世矢村長ニ公葬執行ノ照會ヲシタリ、又茨
城縣警察部長發給ノ案内狀ニ依ツテ其ノ遺
族等ハ東京マデ出テ來テ靖國神社ナドニ參
詣シテ居ル事實モアルノデゴザイマスガ、軍
ノ方デハ戦病死者トシテ之ヲ認メナイ、段々
詮議シテ見ルト、軍ノ方ノ途中調査ガ甚ダ
粗漏デアツテ、是ハ申上ゲニクイケレドモ、
事實ダカラ已ムヲ得ナイ、此ノ軍隊手牒ニ
書イテアリマス從軍中ノ行程ヤ、赤痢「チ
フス」ニ罹ツタ事實、入院加療シタ事實、戰
闘中努力ノ事實ナドモ途中ノ色々ナ機關ニ
於テ判然明確ニ認メラレナイ、本人ハ現ニ
斯様ナ表彰狀ヲ部隊長カラ優秀衛生兵トシ
テ貰ツテ居ルノデアリマス、夜半ニ於テモ
苦惱シ種々ノ苦痛ヲ訴フル者ニ接シ些ノ憐
惡又ハ疲勞感ヲモ表スコトナク克ク熱心
ニ看護ニ從事シタルモノニシテ三月十四日
ニ至リ患者全部ハ治愈ノ轉歸ヲ探ルニ至ル
且病院內ニ在リテハ一名ダニ之ヲ感染セル
モノヲ認メス右ハ全ク積極的ニ自己ノ職務
ヲ遂行セルモノニシテ一般ノ範トスルニ足
ルモノナリ右表彰ス「斯様ナ表彰狀ガアル
コトスラモ之ヲ十分認メナイ、ドンナ杜撰
ナ調ベヲシタノカト思フ、其ノ調ベニ基イテ
今度ハ恩賞課ノ方カラ御調ベニナツテ、ド
ウモアレハ功績ガナイト云フヤウナ御話デア
ル、是ハ歸還前ニ罹ツタ病氣デ呻吟シ除隊歸
宅後病臥ヲ續ケ、三十三日目デ震ヒ死デ死シ

ダノデス、マラリアカ、神經衰弱カドツチカ
ト思フガ、一旦御調ベ下サツタコトデアリマ
スカラ、更ニ能ク御調ベ下サレバ分ルト思フ
デアリマス、所ガ是ノミデ却下ニナレバ、ソ
レデ問題ハ弱イ者ノ立場トシテハ泣癢入ヨリ
ナイノデアリマスガ、茲ニ新事實ガ發生シ
マシタ、ト云フノハ、ドウモワカシイト思ツ
タカラ、私共ハ更ニ水戸聯隊區司令官ニ手
ヲ廻シテ調ベテ貰ヒマス、其ノ結論ヲ水
戸ノ聯隊區ニ於ケル本暮少佐ガ手紙デ昨年
十二月二十日ト云フ押詰ツタ時ニ、本籍地
ノ助役及ビ村長ニ寄越シテ居ルノデアリマ
ス、ソレハ今マデ數年掛カツタ、サウシテ
此ノ問題ヲ全ク別ナ態度ニ改メテ、鈴木農
夫ニ對シテハ戦病死者トシテ取扱フコトニナ
ツタ、特別賜金百七圓ヲ本日裁定ノ通知ガア
ツタカラ左様心得ヨ、ソレニハ特別賜金四
百三十五圓贈ラレル筈デアアルガ、先ニ巡査
トシテノ弔祭料トシテ三百二十八圓八十八
錢賜ハツテ居ルカラ、其ノ差引百七圓ヲ裁
定ニナツタノダト云フ御通知デアツタ、巡
査トシテノ祭料ト差引ト云フノモワカシイ
シ、特別賜金ナラ軍カラ直接出ルノデセウ
カラ、警察署ノ關係デハナイカラ、其ノ方
ノ關係モ解セナイシ、恩賞課中尾少佐ノ方
カラハ以前ノ儘デ何等御沙汰ガナイニモ拘
ラズ、水戸聯隊區司令官カラ本籍地役場ニ
ハ斯様ナ通知ガ來タノデアリマス、ドンナ
行掛リデ何處デドンナニ間違ツテ居ルノカ、
信實必罰ハ何處ニモ必要デアアルガ、戰意ヲ
昂揚スル此ノ際ニ於テ、陸軍ト言ハズ、海
軍ト言ハズ、特ニ軍ガ一番必要デアリマス、
然ルニ軍ノ事務ヲ執ル者ガ宜イ加減ナコト
ヲシテ居ルヤニ見エマス、藥局ノ藥劑師ガ
秤ヲ計リ損ツタリ、隣リノ藥瓶ニ匙ヲ突ツ

込シタリ、ソナナ危ナイ調劑スルナラ其ノ
醫者ノ所ヘ行クノハ危險デアリマス、併シ
醫者ヤ病院ナラ他ニ幾ラモアルカラ、他ヘ
行クコトモ出來ルガ、軍ガソナナ風ニ死
者ノ論功行賞ヲ取扱ヒ、斯様ナ處分ヲセラ
レルヤウナコトガアツタナラバ、是ハ軍ヲ
措イテハ他ニ行ツテ懇ヘル所ハアリマセヌ、
危ナイ藥劑師トハ違ヒマス、國民ノ不幸是
ヨリ甚ダシキモノハナイ、是デハ折角此際
我々ガ一億一心デ飽マデモ戰意ヲ昂揚ス
ベキ時ニ甚ダシク邪魔ヲスル、其ノ邪魔ヲ
スルノハ軍自身ノ一部事務取扱員ガスルノ
ダト云フコトヲ露骨ニ言フヤウニナツタナ
ラ大變デス、是ハ東條サシノ平素ノ御心掛
ヤ何カラ見テ、甚ダ残念ナコトト思フノ
デ、左様ニ相成ラスコトヲ熱望スル餘リ私
ハ此ノ際何處デ右ガ間違ツタカ、ソレニ付
テドンナ取扱ヲセラレタカ、我々國民ニ軍
ガ決シテハ藥劑師デナイコトヲハツキリ
立證スル爲メ其ノ點ヲ今日デナクテモ宜シ
イカラ明瞭ニシテ戴キタイト考ヘマス

○坂東委員 本請願ハ採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 次ニ文部省所管ニ移リマス、
日程第一及ビ第二ハ同一紹介議員ノ提出デ
ゴザイマスルカラ一括議題トナスニ御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 日程第一、鹿屋市ニ高等工
業學校設置ノ請願、文書表第一一〇號

日程第二、鹿屋市ニ女子農科大學設置ノ請
願、文書表第一一一號——紹介議員永田良
吉君

○永田委員 此ノ鹿屋市ニ高等工業學校ヲ作ツテ戴キタイト云フ請願デアリマスガ、其ノ詳シイコトハ文書表ニ書イデアリマス、唯私ハ此ノ際政府ガ六大都市ノ學校ヲ疎開スルト云フ意味カラ考ヘテモ、大隅ノ如キハ香川縣ノ六倍ノ廣面積ニ互ツテ、皇祖發祥ノ聖地デアアルニ拘ラズ、未ダ官立學校ガ一ツモアリマセヌ、左様ナ見地カラ之ヲ設置シテ戴キタイト云フ請願デアリマス、

次ニ鹿屋市ニ女子農科大學ノ設置デアリマスガ、御承知ノ通り、只今農村ニ於テ實際食糧増産ニ當ツテ居ルノハ、男ハ極ク少クテ、具體的ニ言フト殆ド六、七割ハ女子デアリマス、此ノ女子ガ農業生産ニ從事シテ居ル關係カラ、女子ノ農業教育ヲモツト徹底セシメナケレバナラスト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味カラ、鹿兒島縣ニハ特ニ中學校ヨリモ女學校ガ多イ、中學校ハ縣立ガ十五デアルガ高等女學校ハ二十三モアル、斯ウ云フ所ニ疎開ノ意味カラシテモ、一ツ位女子大學デモ作ツテ、會テ北海道開拓ニ札幌ノ農科大學ガ大貢獻ヲナシタト同ジヤウニ、此ノ機會ニ南方進出ニ都合ノ好イ大隅半島方面ニ女子ノ農科大學ヲ設置シテ、此ノ時局ニ善處セラレタイト云フ請願デアリマス、以上二ツニ付テ當局ノ意見ヲ徵シテ原案ニ御賛成アラント御願致シタイ

〔委員長退席、川崎(巳)委員長代理著席〕

○永井政府委員 鹿兒島縣ノ鹿屋市ニ高等工業學校ヲ設置セラレタイト云フ請願ノ御趣旨デゴザイマスガ、高等工業學校ハ時局下最モ切望サレテ居ル教育機關デゴザイマスノデ、御趣旨ニ付キマシテハ御同感ニ存ジ

マス、具體的ニドウ云フ風ニ何時カラ考ヘテヤルカト云フコト等ニ付テハ財政上或ハ教育上諸般ノ事情ヲ考慮致サナケレバナリマセヌガ、御趣旨ノ點ニ付テハ全ク同感ノ旨ヲ御答ヘ致シマス

又女子ノ農科大學ノ御話ガゴザイマシタガ、其ノ農科大學ト云フノハドウ云フ意味デゴザイマセウカ、マダ我が國ニ於キマシテハ大學令ニ依ル女子ノ大學ト云フモノハ一ツモアリマセヌ、若シ大學令ニ依ル大學ト云フ意味デゴザイマシタラバ、女子教育全體ノ制度仕組ト云フコト等ヲ考ヘテ見ナケレバナラスコトダト思ヒマスガ、只今御提案ノ理由ヲ拜聴致シテ居リマスト是ハ女子ニ對スル農業專門教育ノヤウナ御意圖ノヤウニ思ハレマス、サウ云フコトデアリマスレバ、マダ是マデ我が國ニハ女子ノ農業專門學校ト云フモノハゴザイマセヌケレドモ、御話ノ如クニ、出來得レバ今後サウシタ機關ガ欲シイモノダト云フ風ニ思ツテ居リマス、女子農業專門教育ニ付テ十分考ヘロト云フ御趣旨ノ點ニ付テハ洵ニ御同感ノ意ヲ表シタイト思ヒマス

○永田委員 兎ニ角女子ハ多少好奇心モアルモノデスカラ、大學ト云フ名デナクテモ宜イ、專門程度デモ宜シウゴザイマスカラ設置シテ戴キタイト云フコトヲ要望シタ次第デアリマス、御採擇アラレンコトヲ望ミマス

○坂東委員 本二件トモ十分調査ヲ願フ意味ニ於テ採擇ヲ希望致シマス

○川崎(巳)委員長代理 坂東君ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○川崎(巳)委員長代理 採擇ニ決シマシタ

○川崎(巳)委員長代理 日程第三、公私立藥學專門學校官立移管等ニ關スル請願、文書表第一一四號——紹介議員伊藤東一郎君

○伊藤東一郎君 我が國ノ醫療、又國民ノ保健衛生ノ上ニ藥事ノ占ムル重要サニ付キマシテハ、今更茲ニ改メテ言フ俟タザル所デアリマス、支那事變前、一箇年ニ要スル我が國民ノ醫療藥品ハ、國產ガ約二千五百點、此ノ價格ガ約一億二千萬圓、輸入藥品ガ約三百四十點デ、此ノ價格ガ約二千五百萬圓、合計一億四千五百萬圓ト言ハレテ居ルノデアリマス、所ガ支那事變、殊ニ大東亞戰爭以來軍需藥品ノ増大ニ應ジ、且ツ輸入品ノ杜絶ノ結果トシマシテ、内地生産ノ非常ナル増加ヲ見マシタコトハ明カナ事實デアリマスケレドモ、今日尙ホ其ノ不足ニ苦シキ體驗ヲ嘗メツ、アリマスルコトハ、斷ジテ見逃シテハ相成ラスノデアリマス、今ヤ大東亞ノ建設日ニ其ノ巨歩ヲ進メテ居リマス時、共榮圈內ノ思想、文化等凡ユル工作ヲ培フ根柢ハ、何ト致シマシテモ先ヅ大東亞共榮圈全體ヲ通ジマシテ、日本ノ醫療ト相俟ツテ、藥事ノ普及徹底ニ依リマシテ、有難キ皇風ヲ大東亞全民族ニ浸潤セシメルト云フコトガ第一ノ要諦ナリト確信ヲ致シマス、而シテ大東亞ノ人口ハ約我ガ十倍、此ノ廣大ナル地域ニ要シマスル所ノ優良技術者ノ増加、各種熱帶醫學ノ振興、醫療資源ノ保存開發、優良藥品ノ創製、而シテ是ガ生産擴充並ニ配給ノ適正又ハ貯藏等、醫療ト共ニ藥事衛生ノ普及ガ第一ニ要求セラル、コトハ明カナル事實デアリマス、而モ共榮圈內ニハ醫療資源ノ豊富ナル實ニ

世界ノ寶庫トマデ言ハレテ居リ、實ニ藥事技術者ノ莫大ナル國家的要求今日程切ナルモノハナシト申シテ敢テ過言デアリマセヌ、ソレト同時ニ藥劑師ノ國家的使命亦頗ル重大ナリト言フベキデアリマス、即チ今ニシテ其ノ増強ト素質向上ヲ企圖シ、總テ全東亞ニ互リ是ガ普及ヲ策シ、東亞藥事ノ特殊性ヲ發揮シ、單リ全東亞ノミナラズ、世界人類ノ福祉ニ貢獻スルコトコソ、興隆大日本帝國ノ使命デアルト確信致スノデアリマス、然ルニ藥事ニ關スル我が國ノ現況ハ、少數ノ官立學校ト、之ニ配スルニ多クハ設備貧弱ナル學校ヲ以テシテ居リマスコトハ、洵ニ遺憾ニ堪ヘザル所デアリマス、仍テ政府ハ此ノ際速カニ現存セル公私立藥學專門學校中、設備並ニ諸般ノ狀況ニ於キマシテ、官立ニ遜色ナシトマデ言ハレテ居ル學校ガアリマシタラバ、ソレヲ官立ニ移管ヲ致シマスト共ニ、權威アル藥物研究所ノ如キ國家的施設ヲ設ケテ、以テ刻下喫緊ノ要請ニ應ズルヤウ御配慮相成リタシト云フノガ此ノ請願ノ趣旨デアリマス、昨年モ實ハ此ノ種ノ請願ヲ提出致シタノデアリマスルガ、政府ノ御答辯ハ、公私立藥學專門官立ニ移管シ、藥劑師ノ養成及ビ素質向上ヲ圖ルト云フコトニ付テハ、御趣旨ヲ十分相承致シマシタコトデアリマスルノデ、今後國家財政、其ノ他學校配置等ノ關係モ勘案致シマシテ、十分研究ヲ致シテ見タイト考ヘテ居リマスト云フ御答辯デアリマシタガ、事ハ實ニ急デアリマス、何卒一日モ早ク實現方ヲ切望致シテ已マザル者デアリマス、尙ホ本案ハ何時幾日ノ間議ニ於テ如何ニ御決定ニナリマシタカ、是モ御洩ラシテ戴ケバ幸福ト致ス所デアリマス、政府ノ御意見ヲ徵シ、滿

場御探擇ノ程ヲ切ニ御願ヒテ致シマス

○永井政府委員 我ガ國、殊ニ大東亞全民

族ノ保健衛生上藥事ニ關スル事柄ノ特ニ喫

緊デアリマス事柄ニ付テ、只今御熱烈ナル

御所見デゴザイマシテ、私共全ク同感ニ存

ズル次第デアリマス、尙ホ藥事研究等ニ付

キマシテハ、御承知ノ如クニ厚生省ニ於テ

色々又所管ヲ致サレテ居リマスノデ、其ノ

方ノコトハ別ニ致シマシテ、文部省ノ關係

ニ於キマシテハ、藥事ノ研究ニ付テハ御案

内ノ通りニ各帝國大學、單科醫科大學、其

ノ他ノ大學ニ於キマシテ、從來トモ相當研

究モ致シテ居ツタ所デアリマスガ、只今御

話ノ如クニ大東亞共榮圈ニ於ケル藥事對策

ト申シマセウカ、是ノ喫緊性ハ殊ニ熾烈ナ

ルモノガアルト思ハレマスルノデ、十八年

度ニ於キマシテ東京帝國大學ニ南方科學研

究所ヲ設立致スコトニ致シタノデアリマス、

尙ホ又昭和十九年度ニ於キマシテハ、京都

帝國大學ニモ同ジク南方科學研究所ヲ設立

致サント致シマシテ、是ガ豫算ヲ提出致シ

マシタ所、皆様方ノ御協賛ヲ得タヤウナ次

第デアリマス、斯ウ云ツタヤウナ關係カラ、

斯ウシタ南方科學研究所ニ於キマシテハ、

南方ニ於ケル諸問題、殊ニ或ハ日本人ノ熱

帶地域ニ於ケル適應性ノ問題デアルトカ、乃

至ハ現地住民ニ對スル各種ノ問題デアルト

カ云フコトヲ、科學的ニ研究ヲ致スコトヲ

目標ト致シテ居ル次第デアリマスノデ、御

話ノ如ク斯ウシタ方面ニ於ケル研究ノ中ニ

ハ、藥事研究等ニ付テモ十分ニ是ガ研究ノ對

象ニナルコトデアルト存ズル次第デアリマ

ス、尙ホ公私立ノ藥學專門學校ヲ出來ル限

リ官立ニ移管ヲシテ、其ノ施設ヲ整備擴充

スルコトガ、藥事技術員養成充實ノ爲ニ非

ズ

常ニ必要ナコトデアルト云フ御所見デ、之

ニ對シマスル文部當局ノ答辯ガ昨年アリマ

シタコトヲ只今御話ニナツタノデゴザイマ

スガ、之ニ付キマシテハ只今ノ所昨年御答

辯申上ダタト同ジ御答辯ヲ申上ダタルナ

ノデアリマス、併シ實際ノコトト致シマシ

テハ、御趣旨ノ點ニ付キマシテハ至ク御同

感デアリマスノデ、出來ル限リ是ガ實現ヲ

速カナラシメントスル意圖ノアリマスコト

ヲ附加ヘマシテ、昨年御答辯致シマシタ

同様ノ趣旨デアル旨ヲ、今回モ亦御答辯申

上ダタル次第デアリマス

○坂東委員 此ノ際一寸御伺ヒシマスガ、

中等學校ノ新制度ニ依リマスルト、女學校

ニ二箇年程度ノ研究科ヲ設置スルコトガ出

來ルヤウデアリマスガ、之ニ對シテ其ノ女

學校ノ父兄會、後援會等ガ設備等ヲ準備シ

テ居リマスナラバ、文部大臣ハ之ヲ認可ス

ル御方針デアリマスルカ、其ノ點ヲ御伺ヒ

致シマス

○永井政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシ

テハ、其ノ通りデアルト存ジテ居リマス、

唯的確ナコトニ付キマシテハ、私ハ所管ヲ

致シテ居リマスル政府委員デゴザイマセ

ノデ、申上ダニクイ點ガアリマススケレドモ、

私聞イデ居リマス所ニ依リマス、多分御

所見ノ通りデアルト存ジマス

○坂東委員 簡單ニモウ一點御伺ヒシマス

ガ、地方ノ公立或ハ市立等ノ醫學專門學校

ヲ造ルト云フ場合ニ、其ノ資材或ハ建物、

土地、サウ云フヤウナ準備、條件ガ大體具備シ

マスナラバ、政府ハ之ヲ認可スルト云フヤ

ウナ御意見デアリマスカ、此ノ點ヲ一寸御

伺ヒシマス

○永井政府委員 醫學專門學校ニ付キマシ

テハ、大體ニ於テ原則トシテ府縣立、又特

ニ六大都市等ノ所謂市立ト云フヤウナモノ

ニ限リマシテ、是ガ認可ヲ致ス方針ヲ採ツ

テ居リマスガ、併シ只今御話ノ如クニ、物

的設備及ビ人的施設等ガ伴ヘバ必ず認可

スルカト云フ點ニナリマス、醫學專門學

校ノ地理的配置ト云フヤウナコトヲ考ヘマ

シテ、必ズシモ全部出願ノアツタモノヲ認

可致スト云フ譯ニハナツテ居ラナイノデア

リマス、併シ地理的配置等ニ於テ差支ヘナ

キ限リニ於キマシテハ、御話ノ如ク公立ノ

モノデアリマスレバ、之ヲ認可致サントスル

氣持デ居リマス旨ヲ御答ヘ致シマス

○坂東委員 本請願ハ採擇ヲ希望致シマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○川崎(巳)委員長代理 御異議ナシト認メマ

シテ採擇ニ決シマシタ——是デ文部省所管

ハ終リマシタ

○川崎(巳)委員長代理 次ニ厚生省所管ニ

移リマス

日程第一、少年被徵用者ニ對スル給與增

額ノ請願、文書表第八四號——紹介議員森

肇君

○鈴木重次君 森肇君缺席デアリマスカラ、

私ヨリ代ツテ御紹介申上ダマス、少年被徵

用者ニ對スル給與増額ノ請願ニ付テハ理由

書ニアル通りデアリマシテ、別ニ説明ヲ要

シナイトモ存ジマスルガ、一言茲ニ附言致

スコトニ致シタイト思ヒマス、現下各職域ニ

於テ勞力ガ頗ル不足ヲ感ジマスル時ニ於キ

マシテハ、彼等被徵用者ノ如キモ、其ノ

家庭ニ於キマシテハ相當ノ勞力ノ補給ヲ致

シ、又收入ニ付テモ相當ノ貢獻ヲ致シテ居

ルノデアリマス、ソレガ被徵用者トシテ現

在ノ給與ノ程度ニ於キマシテハ、彼等一個

ノ生活ニ不足ヲ生ズルト云フノデアリマシ

テ、其ノ不足ヲ家ヨリ補給ヲ受ケルト云フ

風ノ狀態デハ如何ナルモノカト考ヘラレ

ルデアリマス、刻下ノ現狀ヨリ生産増強ノ

爲ニ、將來ノ勞務給與ガ青少年方面ニ最モ

多ク期待セラレル時ニ當リマシテ、勞務ノ

家國性ヨリ考ヘマシテモ、又彼等ニ給與ヲ

増額致シテ其ノ精神、或ハ物質兩方面ヨリ

勞働ニ能率ヲ増進セシメルヤウ圖リマス

コトガ、此ノ際極メテ必要ナコトト考ヘラ

ルノデアリマス、此ノ點ヨリ當局ノ御意見

ヲ徵シマシテ、何卒本案ヲ御採擇アラシ

トヲ希フ次第デアリマス

○平井政府委員 少年被徵用者ニ對スル給

與増額ノ請願ニ付キマシテ只今御説明ヲ伺

ヒマシタガ、其ノ内容ニ付キマシテハ、我

我モ能ク認識致シテ居ル所デアリマス、被

徵用者ノ初給賃金ハ厚生大臣、或ハ軍需省

ノ所管デアリマスル工場ニ付キマシテハ、

軍需大臣ノ認可ヲ經マシテ作リマス賃金規

則ニ依リマシテ規正致シテ居ルノデアリマ

ス、其ノ額ハ概ネ賃金統制令ノ最高初給賃

金程度ヲ規正シ、ソレニ依ツテ規正致シテ居

ルノデアリマス、現在ノ其ノ最高初給賃金

ガ御話ノヤウニ低イト云フコトハ、我々モ

認メテ居ルノデアリマシテ、爲ニ曩ニ男子

一日ニ付テ三十錢ノ初任手當ノ支給ヲ認メ

マシテ、是ガ緩和ヲ圖ツタノデアリマス、

供シ工場ニ依リマシテハ此ノ認メラレタ限

度マデ支給シテ居ナイト云フヤウナ例モア

リマシテ、洵ニ面白クナイ結果ヲ見テ居

ルノデアリマスカラ、是等應徴士ニ對スル給

與ノ合理化ヲ圖リ、或ハ其ノ初給賃金ヲ改

善スル、即チ工場ニ依リマシテ區々デア

リ

ル

ル

ル

マスモノヲ出來ルダケ是ガ統一ヲ圖ルト云フコトヲ中心ニシマシテ、只今改正方ヲ準備致シテ居リマスカラ、日ナラズシテ案成ヲ得テ實行致シタイト考ヘテ居リマス、申上ゲルマデモナク、勤勞者ノ賃銀ハ生活費ヲ根幹ト致シマシテ決メナケレバ相成リマセヌノデ、少年被徵用者ノ給與等ニ付キマシテハ、事情ヲ能ク調ベマシタ上ニ、適當ナ案ヲ得テ改善ヲ行ヒタイト考ヘテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○川崎(巳)委員長代理 採擇ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○川崎(巳)委員長代理 ソレデハ採擇ニ決シマシタ

○川崎(巳)委員長代理 次ニ日程第二、社會保險制度改善ニ關スル請願、文書表第二一號乃至三一號——紹介議員上田孝吉君

○上田孝吉君 只今議題ニナリマシタ社會保險制度改善ニ關スル請願ノ要旨ハ、社會保險制度ノ一元化竝ニ診療事務ノ簡易化ト、診療内容ノ低下防止ヲ爲シ、其ノ診療報酬ノ適正ナル改革等ヲ斷行セラレタイト云フコトノ請願デアリマス、其ノ理由ハ、第一ニ現在ノ如クニ社會保險ハ複雑多岐ニ互ツテ居リマシテ、千態萬樣雜然ト致シテ居ルノデアリマス、或ハ健康保險、國民健康保險、船員保險、官業共濟組合、政府共濟組合ト云フヤウナ狀態デアリマス、ミナラズ、是等ノ保險ノ中ニ又各種ノ組合ガ存在シテ居ル、例ヘバ政府共濟組合ノ如キ、其ノ中ニ十幾種類ノ組合ガ雜然トシテアルト云フヤウナ狀態デアリマス、斯ウ云フヤ

ウナ有様ニ於テ、診療ニ從事致シテ居リマスル醫師及ビ其ノ從業員ニ多大ノ苦惱ト徒勞トヲ煩ハシ、診療能率ヲ阻礙シ、診療内容ノ低下ヲ來シツ、アルヤウナ狀態デアリマスルカラ、國家的見地ヨリ見マシテ、物的兩方面ニ、無益ナル浪費ヲ加ハラシメ、社會保險ノ發展ニ大ナル障礙ヲ與ヘテ居リマスルコトハ、殆ド識者ノ認メテ居ル所デアリマス、隨テ是ガ一元的ニ且ツ診療事務ノ簡易徹底化ヲ熱望シテ居ル譯デアリマス

第二ニ、擴充サレツ、アル社會保險制度ト物價竝ニ其ノ他ノ環境ノ情勢トヲ慎重ニ調査研究シテ、診療報酬ハ一點單價ヲ少クトモ三十錢以上ニ、且ツ診察、内服藥、注射、處置、手術等ノ點數ノ盛リ方ヲ適正ナル點數ニ改正増加シテ、以テ診療内容ノ低下ノ防止ヲ圖ルベキコトガ喫緊ノ事項デアルト信ジテ居ルノデアリマス、此ノ社會保險ノ問題ニ付キマシテハ、一月二十八日ノ豫算委員會ノ第二分科會ニ於キマシテ、加藤謙五郎委員ヨリ詳細ナル質疑デアリマス、之ニ對シテ小泉大臣ハ、此ノ社會保險ヲ整備スルヤウニ準備ヲ行ツテ居ル、研究モ進メツ、アル次第デアルト云フコトヲ御答辯ニナツテ居リマス、又更ニ保險ノ普及ニ伴フテ診療内容ヲ低下サセテハナラナイ、斯ウ云フヤウナ所ガ困ルカラ此ノ點ニ關シテハ國民醫療法ノ制定ヲ見テ以來、特ニ留意ヲシテ今日モ社會保險ノ整備ノ中ニモ含メデ考ヘテ、研究ヲ進メテ居リマス云フ意味ノ答辯ガ大臣カラアリマス、又加藤委員ハ更ニ突進シテ、此ノ整備ヲスルニ付テ何カ機關デモ設ケテ至急ニ之ヲ進行スルヤウニシテハドウカト云フ問ニ對シテ、武井政

府委員ハ、何カ調査會ノヤウナモノヲ拵ヘテ速カニ實現ノ方途ニ伺ヒタイト云フヤウナ答辯ヲサレテ居ルノデアリマス、私ハ其ノ時ニ他ノ企業整備ニ付テノ質疑ヲ致シマシテ、此ノ社會保險ノ方モ企業整備ノ一端トシテ質疑ヲシタイト思ツテ居リマシタガ、今申シマシタヤウニ加藤委員カラ詳細ノ質疑ガアツテ、而モ私ノ與ヘラレタ時間ガアリマセヌデシタカラ、私ノ質疑ハ請願ニ於テ紹介議員トシテ提出シテ居リマスルカラ、其ノ際ニ述べタルコトヲ申シテ居ルヤウナ次第デアリマス、隨テ此ノ問題ハ殆ド醫療界ニ於テ萬人ガ認メテ居ルヤウナ實情デアリマシテ、速カニ御改善ヲ願フベキモノデアルト存ジマスルガ故ニ、調査ノ機關ヲ設ケルト仰ツシヤイマシテモ、所謂俗ニ言フ調査々々デ日ヲ過スノガ多クノ例デアリマス、ソレニハ此ノ請願ノ趣旨ニハ副ハナイノデアリマシテ、ドウ云フ調査機關ヲ設ケルカ、又何時サウ云フ機關ヲ御設ケニナルカト云フコトモ具體的ニ此ノ際日時ト、其ノ方法等モ承リタイト存ズルノデアリマス、ドウゾサウ云フ筋合ニ於テ、今日殆ド全國民ガ社會保險ノ對象トナランシテ居ル場合ニ於テ、而モ國民保健衛生ノ一日モ缺クベカラザル場合ニ於テ、更ニ總テノモノガ事務簡捷ヲ叫バレテ居ル際ニ於テ、斯ノ如ク多種多樣種々雜多デアアル、而モ各省各々違ヒガアル、又手續樣式等ニ於キマシテモ色々ノ相違ガアル、甚ダシイノハ其ノ間ノ色合ヒマデガ或ハ赤カツタリ、黒カツタリ、青カツタリスルヤウナコトデハ、到底醫師ト云フモノガ其ノ事務ノ煩瑣ニ堪ヘマセヌ、隨テ診療ノ仕事ニ大ナル支障ヲ來シマスルコトハ言フマデモナ

イノデゴザイマスルカラ、ドウカ一ツ此ノ際ニ、政府ノ御意見ヲ具體的ニ承ツテ、以テ豫算委員會ニ於テ大臣ガ御答辯ニナツタ通り、而モソレヲ具體的ニ速カニ實現サレタイト云フノガ此ノ請願ノ趣旨デアリマス、何卒御採擇ヲ願ヒタイト存ズル次第デアリマス

○平井政府委員 只今議題ニナツテ居リマスル請願ノ要旨ハ大略三點ニ相成ルト思フノデアリマス、其ノ第一點ハ現行社會保險制度ガ複雑多岐デアルカラ、之ヲ整理統合セヨト云フ内容ノモノデアルト思フノデアリマス、厚生省ノ所管シテ居リマスル社會保險、謂ハハ廣義ノ社會保險ハ只今議題ニナリマシタ通りニ職域ヲ以テスル健康保險制度、地域ヲ以テスル國民健康保險制度、又別個ニ特殊ノ勤務狀態ニアリマス船員ニ對スル特殊ノ制度トノ三本アルダケデゴザイマス

(川崎(巳)委員長代理退席、委員長著席)

ソレニ付キマシテ統合ノ意見ト致シマシテハ、我々トシテハ將來ニ於キマシテモ職域ノ制度ト地域的ノ制度トノ二本建デ行クベキモノデアルト今ノ所ハ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論ソレハ雇傭關係ニ立ツ者ニ付テノ職域ノ制度、然ラザルモノ、即チ雇傭關係ニ立ツ者ノ家族ヲ含メテ、然ラザル者ノ制度トシテノ地域的ノ制度、之ヲ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ只今御述ベニ相成リマシタヤウニ、社會保險デアリマセヌガ、謂ハハ廣義ノ社會保險、社會保險類似ノ制度ト致シマシテ、大藏省ニ於テ所管サレマス官業共濟組合、是ハ十アリマス、又政府職員ノ共濟組合、是モ十アリマ

マス、其ノ他教職員ノ共済組合等、共済組合令ニ依リマス共済組合ガ四ツアリマス、合セマシテ二十四ノ共済組合ガ現在社會保險デハアリマセヌケレドモ、社會保險の制度トシテ、謂ハハ廣義ノ社會保險トシテアル譯デアリマス、是ハ各、其ノ沿革、内容、活動狀況、適用範圍ガ銘々異リマシテ存續致シテ居リマシテ、短期ノ社會保險の事業及ビ長期ノ社會保險の事業ヲ一括シテ營ンデ居ルノデアリマス、ソコ問題ハ其ノ結果トシテ醫療關係者ニ甚シク御迷惑ヲ掛ケテ居ルコトハ、我々モ十分認識ヲ致シテ居ルノデアリマス又我々社會保險ヲ管掌致シマス者ト致シマシテハ、サウ云ツタ共済組合ガ多數ニ存在致シマスガ爲ニ、社會保險ノ方面ニ色々事務的ナ煩雜等ノ關係カラ支障ヲ見テ居ルコトハ確カデゴザイマスノデ、我々トシテハ之ヲ一括狹義ノ社會保險ニ統合致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、但シ只今申シマシタヤウニ、ソレ等ノ共済組合ハ各、沿革モアルシ、又事業内容モ違ヒマスシ致シマスノデ、中々容易ナコトデハナイト考ヘテ居リマスガ、方針ト致シマシテハ所謂社會保險ノ中ニソレノ共済組合モ包括致シタイ、斯様ニ考ヘテ其ノ準備ヲ進メテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ其ノ準備ガ或ル程度目鼻ガ付キマスレバ、必要アル場合ハ調査會モ設ケラレルデアリマセウガ、只今ノ所イツ調査會ヲ設ケテ、何時ヲ期シテ其ノ實現ヲ圖ルカト云フコトニ付キマシテハ、明確ニ御答ヘヲ申シ兼ねルノデアリマス、但シ其ノ法的措置トシテ整理統合致シマセヌ前ニ於キマシテモ、少クトモソレノ共済組合ト社會保險制度トガ同一手續書類ヲ用ヒマシテ、而シテ又

各共済組合ノ間ノ事務ノ處置ヲ共同處理ニ致シマシテ、以テ制度トシテハ別個デアリマシテモ、醫療關係者其ノ他ノ方面ヘ及ボス場合ニ於キマシテハ、一ツノ制度ト同ジヤウナ結果ヲ得ルコトヲ目途ト致シマシテ、昨年末カラ既ニソレノ共済組合ノ間ニ調査會ヲ設ケマシテ研究ヲ進メテ居リマス、是ハ恐ラクハ、二箇月ノ間ニ議ガ纏リマシテ、遅クトモ來年度初メカラ、制度トシテハ別個デアリマシテモ、事務的ノ方面ニ於キマシテハ書類、其ノ他ノ統一ヲ圖リ、或ハ共同處理ヲシマシテ、結果的ニハ統一シタト同ジヤウナ效果ヲ狙ツテ、只今努力ヲ致シテ居ルノデアリマス

次ニ第二點ハ診療事務ガ複雑多岐デアルカラ、醫療關係者ガ其ノ事務ニ追ハレテ診療能率ヲ上ゲル譯ニイカナイ、斯ウ云フ内容ノ御請願デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテモ我々十分認識致シテ居リマス、隨ヒマシテ本日御協賛ヲ得マシタ勞働者年金保險法中改正法律案ノ附則ニ依リマシテ、現行保險法ノ改正ヲ致シテ居リマス、其ノ改正ノ一點ハ、從來アリマシタ診療即チ療養ノ給付期間ヲ撤廢致シマス、今マデハ百八十日ト云フ制限ガアリマシタ爲ニ、被保險者證ヲ持ツテ參リマスト、醫者ハ其ノ診療ヲ被保險者證ニ書カナケレバナラス、醫師ガ診療録ニ書キマスコトハ國民醫療法ニ依ツテ命ゼラレタコトデアリマスガ、其ノ外ニ社會保險ノ被保險者デアリマス、被保險者證ニ書カナケレバナラス、又期間ノ制限ガアリマス爲ニ、醫師ガ診療スルニ當リマシテハ、期間内デアアルカドウカラ確メナケレバナラス譯デアリマス、ソレ是ノ關係モアリマシテ、

此ノ診療期間ヲ撤廢致シマシタ、サウナリマス、從來致シマシタヤウニ醫療關係者ハ被保險者證ヲ能ク確カメル必要モナケレバ、又記入スル手數モ要リマセヌ、此ノ點カラ醫療關係者ノ事務簡捷ヲ期セラレル點ハ大キイト思ヒマス、更ニ又診療報酬ノ請求ニ付キマシテモ、最近通牒ニ依ツテ改メマシテ事務簡捷ヲ圖ツテ居リマス、其ノ他尙ホ此處ニハアリマセヌガ、一部負擔金制度、現在ノ制度ハ合理的デアリマスケレドモ、醫療關係者ニ非常ニ御迷惑ヲ掛ケテ居リマスノデ、之ヲ徹底的ニ簡素化スル案ヲ持ツテ居リマシテ、遅クトモ來年度カラハ實施致シマシテ、醫療關係者ノ事務ヲ極メテ簡素ニ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ其ノ他ニ付キマシテモ簡素化スベキ點ハ多々アルト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ將來研究致シマシテ、法令ノ改正ヲ要スルモノハ改正ヲシテ、然ラザルモノハ直チニ其ノ措置ヲ講ジマシテ、醫療關係者ガ専念醫療ニ從事シテ戴ケルヤウニ處置ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス

其ノ第三點ハ一般物價等ニ比シテ診療報酬ガ不均衡デアルカラ、診療内容ノ向上ト云フ意味合ヲ以テ、診療費ノ増額ヲ圖ルト云フ内容ノ請願デアリマシテ、此ノ診療費ノ問題ハ、即チ社會保險ニ於キマス診療ハ地方長官ガ指定シマシタ範圍ヨリハ拒ム譯ニ參リマセヌ、其ノ拒ム譯ニ參リマセヌ社會保險ノ診療ヲ致シタ場合ニ於ケル被保險者カラ拂フ診療費ノ問題ハ、非常ニ大キナ問題デアリマシテ、從來ト雖モ常ニ其ノ適正化ヲ研究シ、實行シテ參ツテ居ルノデアリマス、此ノ診療費ヲ只今ノ御説明ニ依リマスト三十錢以上ニト云フ御話デアリマシタガ、

此ノ單價ト云フモノハ世間ニハ非常ニ大キナ問題ニセラレマスルケレドモ、診療費ト云フモノカラ見レバ、單價ノミカ診療費ヲ決定スルモノデヤアリマセヌ、診療ヲ點數ニ引直シテ、其ノ點數ノ一點ヲ幾ラト決メテ診療費ヲ算定スルノデアリマシテ、例ヘバ盲腸ノ手術ハ二百五十ト云フ點ヲ決メテアレバ、ソレニ二十錢掛ケレバ五十圓、斯ウ云フヤウニ診療費ガ出テ來ルノデアリマシテ、我々トシテハ單價ハ寧ロ十錢デ宜イデヤナイカ、其ノ方ガ計算上非常ニ樂デアルカラ、寧ロ單價ハ十錢ノ方ガ宜イデヤナイカト云フ位ノモノデアリマシテ、單價ガ十錢、二十錢、三十錢ト云フモノハ、サウ決定的ナ診療費ノ内容ニナルモノデヤアリマセヌガ、併シ現行ノ仕來リカラ申シマスト、我々トシテハ常ニ其ノ適正化ヲ圖ル意味ニ於キマシテ、點數表ノ點數ノ是正ヲ圖ル、是ハ年々行ツテ居リマス、更ニ又今マデノ單價ヲ直スコトモ考ヘテ居リマス、只今ノ所ハ此ノ單價或ハ點數ト云フヤウナ診療費ノ問題ニ付キマシテ考ヘテ居ル所ハ、之ニ一番缺點デアリマスル所ノ人的考慮ヲ拂フ點及ビ地理的考慮ヲ拂フ點ニ付キマシテ、大體我々ノ調査モ出來マシタノデ、近キ將來ニ於テ地理的考慮ヲ拂ヒ、診療費ノ算定ニ付テ人的考慮ヲ拂フベキ途ヲ開キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、常ニ診療費ノ算定方法ノ適正化ニ付キマシテハ十二分ノ研究モシ、努力モシテ參ツテ居リマス、今後ト雖モ勿論是ガ適正化ヲ期スベク努力スル積リデアリマス、但シ醫藥品等ノ價格ガ公ニ定メマシタ價格ト異ツタ價格ガアリ得ルノデアリマスガ、之ニ依リマシテ我々ガ診療費ヲ決定スル譯ニ參リマセヌ、ソレ

此ノ單價ト云フモノハ世間ニハ非常ニ大キナ問題ニセラレマスルケレドモ、診療費ト云フモノカラ見レバ、單價ノミカ診療費ヲ決定スルモノデヤアリマセヌ、診療ヲ點數ニ引直シテ、其ノ點數ノ一點ヲ幾ラト決メテ診療費ヲ算定スルノデアリマシテ、例ヘバ盲腸ノ手術ハ二百五十ト云フ點ヲ決メテアレバ、ソレニ二十錢掛ケレバ五十圓、斯ウ云フヤウニ診療費ガ出テ來ルノデアリマシテ、我々トシテハ單價ハ寧ロ十錢デ宜イデヤナイカ、其ノ方ガ計算上非常ニ樂デアルカラ、寧ロ單價ハ十錢ノ方ガ宜イデヤナイカト云フ位ノモノデアリマシテ、單價ガ十錢、二十錢、三十錢ト云フモノハ、サウ決定的ナ診療費ノ内容ニナルモノデヤアリマセヌガ、併シ現行ノ仕來リカラ申シマスト、我々トシテハ常ニ其ノ適正化ヲ圖ル意味ニ於キマシテ、點數表ノ點數ノ是正ヲ圖ル、是ハ年々行ツテ居リマス、更ニ又今マデノ單價ヲ直スコトモ考ヘテ居リマス、只今ノ所ハ此ノ單價或ハ點數ト云フヤウナ診療費ノ問題ニ付キマシテ考ヘテ居ル所ハ、之ニ一番缺點デアリマスル所ノ人的考慮ヲ拂フ點及ビ地理的考慮ヲ拂フ點ニ付キマシテ、大體我々ノ調査モ出來マシタノデ、近キ將來ニ於テ地理的考慮ヲ拂ヒ、診療費ノ算定ニ付テ人的考慮ヲ拂フベキ途ヲ開キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、常ニ診療費ノ算定方法ノ適正化ニ付キマシテハ十二分ノ研究モシ、努力モシテ參ツテ居リマス、今後ト雖モ勿論是ガ適正化ヲ期スベク努力スル積リデアリマス、但シ醫藥品等ノ價格ガ公ニ定メマシタ價格ト異ツタ價格ガアリ得ルノデアリマスガ、之ニ依リマシテ我々ガ診療費ヲ決定スル譯ニ參リマセヌ、ソレ

此ノ單價ト云フモノハ世間ニハ非常ニ大キナ問題ニセラレマスルケレドモ、診療費ト云フモノカラ見レバ、單價ノミカ診療費ヲ決定スルモノデヤアリマセヌ、診療ヲ點數ニ引直シテ、其ノ點數ノ一點ヲ幾ラト決メテ診療費ヲ算定スルノデアリマシテ、例ヘバ盲腸ノ手術ハ二百五十ト云フ點ヲ決メテアレバ、ソレニ二十錢掛ケレバ五十圓、斯ウ云フヤウニ診療費ガ出テ來ルノデアリマシテ、我々トシテハ單價ハ寧ロ十錢デ宜イデヤナイカ、其ノ方ガ計算上非常ニ樂デアルカラ、寧ロ單價ハ十錢ノ方ガ宜イデヤナイカト云フ位ノモノデアリマシテ、單價ガ十錢、二十錢、三十錢ト云フモノハ、サウ決定的ナ診療費ノ内容ニナルモノデヤアリマセヌガ、併シ現行ノ仕來リカラ申シマスト、我々トシテハ常ニ其ノ適正化ヲ圖ル意味ニ於キマシテ、點數表ノ點數ノ是正ヲ圖ル、是ハ年々行ツテ居リマス、更ニ又今マデノ單價ヲ直スコトモ考ヘテ居リマス、只今ノ所ハ此ノ單價或ハ點數ト云フヤウナ診療費ノ問題ニ付キマシテ考ヘテ居ル所ハ、之ニ一番缺點デアリマスル所ノ人的考慮ヲ拂フ點及ビ地理的考慮ヲ拂フ點ニ付キマシテ、大體我々ノ調査モ出來マシタノデ、近キ將來ニ於テ地理的考慮ヲ拂ヒ、診療費ノ算定ニ付テ人的考慮ヲ拂フベキ途ヲ開キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、常ニ診療費ノ算定方法ノ適正化ニ付キマシテハ十二分ノ研究モシ、努力モシテ參ツテ居リマス、今後ト雖モ勿論是ガ適正化ヲ期スベク努力スル積リデアリマス、但シ醫藥品等ノ價格ガ公ニ定メマシタ價格ト異ツタ價格ガアリ得ルノデアリマスガ、之ニ依リマシテ我々ガ診療費ヲ決定スル譯ニ參リマセヌ、ソレ

ニ付キマシテ只今衛生局ニ於テ重要醫藥品ノ増産、適正ナル配給機構ト云フモノヲ考慮シマシテ近々其ノ對案ガ出來上ル豫定ニナツテ居リマスカラ、緊急必要ナル醫藥品ノ増産ヲ圖リ、是ガ適當ニ醫療關係者ニ配給セラレマスル方法ヲ講ゼラレマスノデ、ソレニ依リマシテモサウ云フ弊害ハ十分除去サレモノト考ヘルノデアリマス、我々トシテハ一般物價ノ狀況ニ應ジテ診療費算定ノ方法ハ常ニ適正化ヲ期スベク努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、右事情ヲ申上ガマシテ御答ヘニ代ヘル次第デアリマス

○坂東委員 政府ニ對シテハ研究ノ促進ヲ要望シ、本請願ハ採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 次ハ運輸通信省所管ニ移リマス、先ヅ政府委員ノ都合ニ依リマシテ日程一九九議題ニ供シマス

日程第十九、無線通信長ナル職名制定ノ請願、文書表第一四七號ト紹介議員今井嘉幸君

○今井嘉幸君 私ハ紹介議員トシテ趣旨理由ヲ申上ゲマス、此ノ趣旨ハ印刷物ニアル通りデアリマスガ、ソレニ附加シテ補充説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、私ハ神戸ニ居リマスガ、神戸ニハ無線通信士ノ俱樂部ノ總本部ト云フヤウナモノガアリマス、其ノ俱樂部ニ入ツテ居ル者ハ現ニ三千名程アリマス、世ニハ餘リ知ラレテナイ所ノ一ツノ大キナ勢力デアアルノデアリマス、其ノ代表者ガ一夜私ノ所ニ參リマシテ、私が以前二十餘年前普選運動ヲヤウタ経験ガアルト云フ所カラ來マシテ、彼等ガ申シマスニハ、

我々ハ此ノ趣旨ノヤウナコトヲ多年望シデ居タノデアアルガ、今回政府ガ法律ノ改正ヲヤラレントスル際ニ此ノ點ニ付テ非常ニ不安ヲ持ツテ居ル、ソコデ一ツ大イナル運動ヲ起シタイ、場合ニ依ツテハ大勢官廳ニ押掛ケ、又議院ニ殺到シタイ、斯ウ云フ意氣込デアリマス、以前ニ普選運動ヲドウ云フ要領デヤウタカト云フコトヲ私ノ所ニ聽キニ來タノデアリマス、待テドウ云フ理由カ先ヅ理由ヲ聽カウト云フノデ、一席膝ヲ交ヘテ其ノ理由ヲ聽キマシタ所ガ、茲ニ述ベテデアリマスヤウナ理由ヲ結局述ベタノデアリマスガ、要スルニ今日ノ船舶ニ於テハ船長ト云フモノノガアル、今日ノ法律ニ於テハ航海士ト云フモノニナリマシタガ、其ノ種類ノモノト、ソレカラ機關長ヲ仰イデ居ル、其ノ下ニ居ル機關士ト云フモノト、ソレカラ今一ツハ無線電信ヲ司ツテ居ル所ノ一群ノ者ト、是ハ船舶ノ運航上ニ於テハ輕シトスル性質ノモノデハナイ、ソレ以外ニ或ハ事務長デアルトカ其ノ他ノ者ガアリマスガ、ソレトハ種類ガ異ル、即チ戰爭デ云ヘバ戰列ニ在ル者デアアル、斯ウ云フ意味デアツテ、非常ニ重要ナ役目ニ從事致シテ居ルノデアアル、平常ニ於テモ氣候ノ變化ニ依ツテ忽チ無線電信ヲ必要トスル場合ガ多イ、殊ニ戰爭ニ於テハ殆ド生命デアアル、又暗號ヲ使ツテ居ル關係上、此ノ無線通信士ガナクテハ戰爭ガ出來ナイ、又戰爭ノ勝敗モ其ノヤリ方ニ依ツテ決マルノデアアル、ニモ拘ラズ此ノ扱ヒ方ガ從來輕イノミナラズ、今度ノ法律ニ於テモ、船長アリ、一等航海士アリ、二等航海士アリ、機關長アリ、一等機關士アリ、二等機關士アリト云フコトニ

ナツテ居ルケレドモ、此ノ無線通信士ニハ長ガナイ、是ハ非常ニ輕ク見ラレテ居ルカラデ、一段下デアアル、斯ウ云フコトデ、聲淚共ニ下ツテ私ニ懇ヘタ、願クハ此ノ法律ノ案文中ニソレヲ入レテ貰ヒタイ、斯ウ云フ希望デアリマシタガ、其ノ時期ガ遅カツタノデサウ云フ運ビニ至ラナカツタノデゴザイマス、サウ云フコトガアリマシテ後ニ私モ東京ニ出マシテ情勢ヲ見テ居リマス、皆サンノ御承知ノヤウナ法律案トシテ議會ヲ兩院トモ通過致シタノデアリマス、ソコデ彼等ハ、今日出來タ法律デアアルガ、直グ様改正ヲシテ貰ヒタイ、來年ニモ改正シテ貰ヒタイト云フ希望デアリマス、ソレカラ其ノ改正セラレルマデノ間デモ、其ノ爲ニ非常ニ彼等ノ士氣ヲ沮喪致シテ居ルノデアリマス、事前審査會ノ時、丁度八田運輸通信大臣モ居デニナツテ居リマシタカラ、私ハ其ノ趣旨ヲ述ベタノデアリマスガ、是デ激勵スルナドト云フコトハ以テノ外デアアル、彼等ハ非常ニ情氣デ士氣ヲ沮喪シ、反對ノ效果ヲ示シテ居ルト云ツタ所ガ、ソレハ非常ニ意外デアアルト云フヤウナコトデアリマシタ、ソコデ今日事務長ト云フヤウナ名前ガ俗名デアアリマスルガ、アルノデアリマスシ、無線局長トカ無線長ト云フヤウナ名前モ既ニ使ツテ居ルノデアリマスカラ、早ク法律ヲ改正致シマシテ、船長、機關長ト同じ名前ヲ持ツ通信長ト云フモノヲ一ツ認メテ戴キタイ、ソレハ全國ニ何人アツテモ宜シイ、各般ニ一人々々乗レト云フノデアリマセヌ、丁度軍醫ヤ主計ガ中將マデアル如ク、ソレハ資格ト致シマシテハ一名デモ二名デモ、或ハ十名デモ何人デモ宜シイノダガ、長ト云フモノニ上レヌト云フ

コトニナルト、是ハ大變ナコトニナルノデアリマスカラ、長ト云フモノヲ法律ノ職名ノ中ニ入レテ戴キ、方々船ニ乗ツテ實際ヲ掌ツテ居ル者ハ一等通信士或ハ二等通信士デモソレハ事實宜シイと思ヒマスガ、資格ト致シマシテハ長ニマデ上レト云フ階段ヲ設ケテ戴キタイト云フノガ一ツト、ソレカラ其ノ法律ガ出來ルマデ、或ハ出來タ後マデデモ、從來傳統的ニ用ヒテ居リマシタ長トカ局長ト云ツタヤウナ從來ノ俗稱、其ノ長ト云フ呼ビ名ガ事務長ヤ船長ト云フモノニマデ許サレテ居ル以上ハ、ヤハリ長ヲ使ハシテ貰ヒタイト云フノガ趣旨デゴザイマシテ、曾テ普選運動ノ時ニハ何萬ト云フ諸願書ガ集マツタコトモアルノダカラ、一ツ集メマセウト云フノデ一生懸命ニ集メタノデアリマスカレドモ、時日ガ切迫シテ居ツタ爲ニ二百八十六名ヨリ外集マラナカツタ、ケレドモ、是ハ五千名立ドコロニ集マルノデアリマス

此ノ次ノ議會マデハ五千名ノ連名デ出シ得ル性質ノモノデアアル、サウ云フ非常ニ熱烈ナ希望ヲ持ツテ居リマスノデ、ドウカ一ツ此ノ意味ヲ十分御酌取り下サイマシテ、政府ノ御意思ノアル所ヲ伺ヒ、又皆豫ノ滿場一致御採擇ヲ希望スル次第デアリマス、坂東サンハ色々ナ諸願ヲ御存ジデゴザイマスガ、此ノ案ノ如キ熱烈ナルモノハ彼ノ普選ノ數萬ノ諸願以來今日マデ未曾有ノ出來事デアラウト思フ、私ハ此ノ間議會ヲ休シデ居リマシタケレドモ、サウ云フ風ニ考ヘマシテ此ノ諸願ヲ御取次ヲ致シタ次第デアリマス、ドウカ宜シク御願ヒ致シマス

○石井(敬)政府委員 只今諸願ニアリマシ

タ御趣旨ハ能ク分リマシタ、無線通信士ハ在來船舶職員デナクシテ、事務長ト同ジヤウニ、單ニ高級船員ト云フダケノ部類ニ含マレテ居リマシタガ、是デハ此ノ戰時下ノ職責完遂——先程御話ノアリマシタヤウナ重要ナル職責ヲ盡ス上ニ於テハ、職員トシテノ自覺ヲ持ツテ、進ンデ職ニ當ルト云フコトデナケレバナラナイト云フコトカラ、今回職員法ノ改正ニ於テ船舶職員トシテ法定セラレルコトニナツタノデゴザイマス、ソレニ付キマシテハ、先般ノ説明會ノ場合ノ大臣ノ御答辯、ソレカラ尙ホ先般此ノ衆議院ノ職員法ノ委員ニ於キマシテ關係ノ委員ノ方カラ御質問ガゴザイマシテ、ソレニ對シテ海運總局長官カラモ御答辯ガアリマシタ、只今ノ御請願ノ趣旨ノ御説明ニ對シテ、私ハ此處デ同ジ趣旨ノコトヲ重ネテ申上グルヤウニナリマスケレドモ、今回無線關係者ヲ船舶職員ニ法定スルコトニセラレタノハ、此ノ重要性ヲ十分認メテノ上デノコトデゴザイマシテ、其ノ點ニ於テハ少シモ御話ノ點ト變リガナイノデアリマスガ、唯船内ニ於ケル船長、機關長、其ノ他ノ職員トノ關係ト云フ點ニ於キマシテ、現在船舶ニ乗ツテ居リマス無線通信士ノ船内ニ於ケル地位、或ハ年齡、ソレカラ經歷ト申シマスルカ、サウ云ツタモノヲ船全般トシテ考ヘマシテ、此ノ際通信長ト云フ職名ヲ設ケテアルコトハ妥當デナカラウト云フ研究ノ結果ニ基キマシテ、今回ハ別ニ長ト云フ職ヲ特ニ設ケナイコトニ決定シタノデアリマス、但シ先程ノ御話ノヤウニ無線局長、或ハ在來首席通信士、或ハ次席通信士ト云フヤウナ名前モ使ハレテ居ツタノデアリマスガ、通稱トシテノ無線局長或ハ首席通信士ト云

フ名前ヲ用フルコトハ少シモ差支ヘナイト考ヘテ居リマス、通信長ト云フ名前ニ付テモ一ツノ配置ノ長トシテ其ノ必要ノアルト云フコトハ我々モ認メテ居リマスガ、是ハ將來ノ船内制度ノ全般的改善ト云フコトガ必要ニナルコトト考ヘテ居リマスノデ、其ノ際ニ於テ通信長問題モ改メテ研究シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、目下ノ所直チニ此ノ通信長ト云フコトニスルコトハ、先程申シタヤウナ理由デ妥當デハナカラウ、斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ將來研究致シタイト思ツテ居リマス

○坂東委員 此ノ請願ハ相當理由ガアルト思ヒマスカラ、實行ノ意味ニ於テ十分研究ヲ熱望シテ採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第一五、知床岬ニ航路標識施設ノ請願、文書表第一〇二號——東條君

○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、此ノ請願ノ趣旨ハ、知床半島ハ北海道東北端ニ位シ「オホーツク」海ニ突出セル半島ニシテ、近海ハ「オホーツク」海ノ寶庫ト稱セラレ、沿海航行船舶ノ通航路ニ當ルモ、海霧發生シ、又半島尖端附近ニハ常時急潮アリテ航行技術上甚ダシク困難ナル地點ナリ、然ルニ航路標識ノ設備ナキ爲メ夜間航海ヲ廻避セシメ、又ハ甚ダシク迂回ヲ餘儀ナクセシムル等、船舶航行ノ安全ヲ脅カシ、地方産業ノ發展ニ一大障礙ヲ與ヘツ、アリ、仍テ速カニ前記半島尖端ニ航路標識ヲ施設セラ

レンコトノ要望デアリマス、政府ノ御所見ヲ承リマス

○新谷政府委員 知床岬ニ航路標識施設ヲ設置スベシト云フコトデゴザイマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、運輸通信省ニ於キマシテモ其ノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマシテ、既ニ霧信號ヲ附設シタ燈臺ヲ建設スベキ計畫ガ出來テ居ルノデアリマス、併シ只今ノ物資ノ需給狀況カラ致シマス、急速ニ實現スルコトハ困難デアラウカト存ズルノデアリマスガ、今後資材及ビ豫算ノ關係ヲ解決致シマシテ、且ツ他ノ緊急施設箇所トノ緩急ヲ見計ラヒマシテ、出來ルダケ近イ機會ニ請願ノ御趣旨ニ副フヤウニ努力致シタイト存ジマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 御異議ナシト認メマシテ採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第一六、志布志灣ヲ南方連絡航路ノ基點トスルノ請願、文書表第一二三號——永田良吉君

○永田委員 此ノ南方ノ諸地域ト日本内地トノ連絡ニ於キマシテ、志布志灣ハ最短距離デアツテ、適當デアルト思フノデアリマス、從來此處ハ海軍ノ訓練ノ中心トナツテ居リマシテ縣デハ小サイ八十萬圓以下ノ築港ハシテ居リマスケレドモ、未ダ其ノ他ノ築港ノ設備モアリマセヌ、願クバ此ノ志布志灣ノ中ノ横瀨附近ニ一寸シタ「キロ」カニ「キロ」カノ運河ヲ通シタダケデ、港灣設備モ出來ルト思フノデアリマスカラ、何卒此ノ志布志灣ヲ南方連絡航路ノ基點トシテ、

是カラ研究シテ調査シテ戴キタイト云フ請願デアリマス、之ニ對シテ政府ノ御意見ヲ承リマシテ、御採擇アラントヲ希望致シマス

○新谷政府委員 只今ノヤウナ船腹ノ狀況デアリマスカラ、苟クモ少シデモ船舶ノ運航能率ヲ上ゲ得マスモノニ付テハ、航路ヲ短縮スルコト云フコトガ、極メテ適切デアラウト思ヒマス、志布志灣ニ付キマシテモ、南方ノ連絡航路ノ基點トスルニ付キマシテハ、其ノ港灣及ビ港灣施設ノ狀況、又背後ノ陸上輸送機關ノ狀況、又船舶ノ護衛上ノ便否等ヲ考ヘテ、之ヲ決定スル必要ガアラウカト存ジマスガ、現在ニ於テハ志布志灣ハ是等ノ點カラ必ズシモ各般ノ條件ヲ具ヘテ居ラナイノデアリマスガ、將來ノ問題ト致シマシテハハ十分ニ當局ニ於テモ調査研究致シタイト存ジマス

○坂東委員 研究ヲ要望スル意味ニ於テ採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決定致シマス

○清水委員長 日程第一八、西之表、大泊間航路開設ノ請願、文書表第一五四號——紹介議員永田良吉君

○永田委員 此ノ西之表ハ鐵砲傳來デ有名ナ種ケ島ノ港デアリマス、是ハ今鹿兒島トノ間ニ連絡船ガ著イデ居リマスケレドモ、三日ニ一遍位シカアリマセヌ、此ノ西之表ノ附近ニハ海軍ノ設備モ出來タヤウデアリマスカラ、此ノ最短距離ヲ結ブニハ、ヤハリ大隅ノ大泊港ト西之表ノ間ニ航路ヲ開設シタ方ガ宜イト思ヒマス、一體鹿兒島縣ニ

ハ南方諸島ノ小サイ船舶會社ガアツテ統一ヲ缺イテ居リマス、是ハ此ノ際運輸通信省ガ出來マシタ此ノ機會ニ、サウ云フ小サイ船舶會社等ハ統合シテ、一ツノ會社ニスルカ、航路ノ關係等モ是正セラレマシテ、斯ウ云フ重油モ石炭モナイ際デアリマスカラ、成ベク最短距離ヲ結ンデ、一日二回デモ行クヤウニ御計ラヒ願ヒタイト云フノガ此ノ請願ノ趣旨デアリマス、政府當局ノ御意見ヲ徵セラレマシテ御採擇ヲ希望致シマス

○新谷政府委員 西之表、大泊間ノ航路開設ノ問題デアリマスガ、現在種ヶ島西之表港ト、九州本土ヲ結ンデ居ル航路ト致シマシテハ、九州船舶會社及ビ鹿兒島船舶會社ノ共同經營ニナツテ居リマス鹿兒島縣ノ命令航路デアアル種ヶ島線ガアルノデアリマス、此ノ航路ハ只今御話ガゴザイマシタヤウニ、鹿兒島ヲ基點トシテ居ルノデアリマスガ、是ハ主トシテ此ノ背後地ノ陸上交通機關トノ連絡ノ關係上、人及ビ貨物ノ移動ノ現況カラ斯クノ如クナツテ居ルモノト見ラレルノデアリマス、大泊ノ問題ニ付キマシテハ、今後其ノ背後地ノ陸上交通機關ガ更ニ改善セラレ、又人及ビ貨物ノ移動狀況ガソレヲ必要トスルヤウナ状態ニナリマスレバ、出來ルダケ實情ニ即スルヤウニ改善致スコトハ、當局モ十分考慮致ス積リデ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ
日程第一、塚山、來迎寺兩驛間ニ停車場設置ノ請願、文書表第四〇號——紹介議員

加藤知正君
○坂東委員 此ノ請願ノ趣旨ハ文書表ノ通リデアリマス、政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○富山政府委員 岩塚村地内ニ新驛設置ニ關シマシテハ、先年來屢、請願ガゴザイマシタノデ、現地ニ付キマシテモ十分調査シテ居ルノデゴザイマスガ、御希望ノ地點ハ塚山驛ヨリ四「キロ」六分、來迎寺驛ヨリ二「キロ」九分ト云フヤウナ地點デアラウト存ズルノデアリマスガ、附近ノ產物ト致シマシテ、新潟縣下デモ屈指ノ養蠶地デアアル關係カラ、繭ノ產額ガ多ク、米、木材ノ產出モ相當多イ、尙ホ澁海川ノ砂利等モ出デ居ルヤウナ状態デ、新驛ガ設置致シマスレバ、地方ノ方々ノ便益ハ相當大キイデアラウト云フコトヲ想像致シテ居リマス、併シ前議會デモ申上ゲマシタ通り同所ハ線路ノ勾配ガ七・六或ハ四・五ト云フヤウナコトデ、驛ヲ新設致シマスノニハ長イ區間ニ互ツテ勾配ヲ變更致サナケレバナラヌト云フ關係ニアリマスルノデ、時局下資材努力ノ不足ノ折柄デアリマスカラ、尙ホ急速實施ハ困難デハナイカ、斯様ニ思ツテ居リマス

○坂東委員 本請願ハ研究ヲ願フ意味ニ於テ採擇ヲ希望シマス
○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマス
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 次ハ日程第二ハ紹介議員ガ居リマセヌカ後廻シニ致シマス、日程第三及ビ第四ハ同一紹介議員デアリマスカラ一括議題ト致シマス
日程第三、永野田驛ヲ一般驛ニ變更ノ請願、文書表第一〇八號

日程第四、古江線ニ二等車増結ノ請願、文書表第一二八號——紹介議員永田良吉君

○永田委員 此ノ永野田驛ハ元私鐵買收サレヌ前ニハ驛員ガ居ツタノデアリマスケレドモ、丁度政府買收前ニ驛員ガ居ラスヤウニナツテ居ツタ結果、現在モ居リマセヌ、但シ其ノ當時トハ狀況ガ違ヒマシテ、只今海軍工廠並ニ海軍航空隊ノ關係等デ、大變乘客モ貨物モ殖エテ居ルノデアリマス、之ヲ一般驛ニ變更シテ貫ヒタイト云フ要求デアリマスガ、特ニ戰力增強ノ飛行機ニ關係スル場所デアリマスカラ、速カニ變更セラレンコトヲ御願ヒスル次第デアリマス
第四ノ古江線ニ二等車増結ノ請願デアリマス、都城カラ此ノ志布志古江方面ニハ二等車ハ一ツモアリマセヌ、所ガ現在航空隊、工廠ノ關係等デ海軍ノ將校、准士官以上ノ人モ澤山居リマシテ、非常ナ混雜ヲ來シテ居リマス、東京ト北九州ト此ノ古江線ガ日本ニ於ケル二ツノ混雜ヲ來シテ居ル場所ト私ハ見受ケルノデアリマス、希クハ二等車ガ半分アルノデモ宜シウゴザイマスカラ、之ニ客車ヲ付ケテ戴キタイト云フ請願デアリマス、何卒政府ノ御所見ヲ徵セラレマシテ御採擇アラントラ希望致シマス

○富山政府委員 古江線ノ永野田驛ニ付キマシテハ、御承知ノ通り大隅鐵道ノ當時ハ貨物ノ取扱ヲ致シテ居リマシタガ、其ノ當時實績ガ非常ニ少イノデ、取扱ヲ廢止シタマ云フ事實ガゴザイマシテ、省ニ引繼ギマシタ後モ其ノ儘驛員ノ無配置驛トシテ取扱ヒニナツテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り始良ノ驛マデハ一「キロ」五分、大隅川西ノ驛マデハ一「キロ」八分ト云フコトデ、此ノ始良、

永野田、大隅川西、此ノ三ツノ驛ガ二「キロ」以內ノ近接シタ配置ニナツテ居リマスコトハ、大隅鐵道引繼ギ當時ノ事情ヲ其ノ儘繼承致シテ居ル、斯ウ云フヤウナ關係ニナツテ居ルト考ヘルノデアリマス、隨テ外ノ地方ニ比較致シマス、交通上非常ニ惠マレテ居ルト申シテモ宜イト存ジマス、道路モ古江線ニ並行致シマシテ國道ガ走ツテ居リマスシ、荷物ノ集配ニ付キマシテハ始良又ハ大隅野里ノ方デ取扱ツテ居ルヤウニ承知シテ居リマスシ、軍ノ關係ノ施設モ概ネ大隅野里驛、鹿屋驛附近ニ集中サレテ居ルト云フヤウナ實情カラ致シマシテ、永野田驛ヲ一般驛ニ致シマス云フコトニ付テモ、其ノ利用スル側カラ行キマシタラ、從來ノヤウニ大隅野里ノ方ガ利用サレルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、此ノ永野田驛ヲ一般驛ニ改メマスコトニ付テハ、目下ノ所御辛抱戴キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

尙ホ古江線ニ付キマシテ二等車増結ノ御話デアリマシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ、御承知ノ通り昨年ノ十月時刻改正ヲ致シマシテ旅客列車ヲ全國ニ互リ相當大幅ノ削減ヲ致シタノデアリマスガ、當時ニ於キマシテハ、二等車ノ増結シテアリマシタ區間カラモ相當之ヲ整理致シマシテ、全國ニ致シマスト三十三線區ニ對シテ二等車ヲ廢止致シタヤウナ實情ニナツテ居リマス、最近ノ航空機増產其ノ他生産力增強ノ爲ニ、通勤輸送ヲ確保スル必要ノ路線ガ非常ニ殖エマシテ、ソレニ對シマシテ客車ノ新造ト云フコトハ資材其ノ他ノ關係カラ、十八年、十九年ニ付テモ出來ナイヤウナ實情ニナツテ居リマス、此ノ通勤ニ對シテノ客車ノ手

配ト云フモノハ優等車ヲ整理致シマシテ、之ヲ三等車又ハ通勤車ニ改造シテ賄ツテ行ク、斯ウ云フヤウナ措置ヲ講ズル外方法ガナイ状態デアリマス、軍ノ關係ノ施設ガ古江線沿線ニ出來マシテ、古江線ノ混雜致シテ居リマス實情モ能ク承知致シテ居リマスガ、之ニ二等車ヲ増結致スト云フコトハ、今申上ガマシタヤウナ事情デ困難デハナイカト思ツテ居リマス、混雜ノ状態其ノ他カラ考ヘマシテ、三等車ヲ増加セネバナラスノデハナイカト云フ風ナ點モ考ヘテ居リマスガ、車輛ノ改造其ノ他ノ通勤ノ混雜工合ヲ比較數量致シマシテ、考ヘテ行キタイト思ヒマス

○永田委員 大變御丁寧ナ説明ヲ承リマシテ感謝シマスガ、大變失禮デゴザイマスケレドモ、今御説明ニナツタコトハ、現在トハ非常ニ事情ガ引繰返ルヤウニ變ツテ居ル、之ヲ申上ゲルコトガ私ハ請願ノ效果ダト思フノデアリマス、モウ是レ以上多クハ言ヒマセヌガ、永野田驛ニ對スル答辯ノ如キハ、是ハ十年昔ノ合併當時ノ資料ニ依ラレタモノデアツテ、現在ハ左様デハゴザイマセヌ、又鹿屋ニアレダケ澤山ノ工廠ト航空隊ガアル今ノ状態カラ見テ、アノ晝夜航空決戦ニ從事シテ、今戦地カラ歸ツタ人モ居ルノデアリマス、又今將ニ出發セントスル方モアルノデアリマス、斯ウ云フ將校准士官ノ多數ガ往來スルノニ——今アナタハサウ仰シヤイマスケレドモ、モウ現在鹿屋市ニ入り切レナイノデアリマス、ソレデアノ近郷ノ高山トカ始良村ノ方カラ通勤シテ居ルノデアリマス、是ハ無論自動車デ行クノモアリマスガ、私ハ彼處ノ市長ヲシテ居ルノデアリマスガ、事實見テ見兼ネル、其ノ

意味カラ申上ゲタノデアツテ、決シテ私達ガ自分カラ二等車ニ乗ラウト云フコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌ、私ハ海軍ノ工廠並ニ航空隊、ア、云フ方面ニ日夜奮闘セラレル將兵ノ爲ニ、運輸通信省ガソコニ配慮ヲサレテ、彼等ニ一時間デモ三十分デモ落著イテ休養ナサル爲ニ、二等車ノ増結ヲ、ソレモ半分ト云フコトヲ御願ヒシテ居ルノデアツテ、決シテサウニ等車バカリノモノヲ戴カウトハ思ツテ居リマセヌ、是ハ實際見ルニ見兼ネテ、斯ウ云フ請願ガ出テ居ルノデアリマス、ソレカラ永野田驛ハ「キロ」幾ラト仰シヤイマスケレドモ、ソレハアナタ方地圖デ見ラレタノデアツテ、彼處ハ並行ハシテ居リマセヌヨ、鐵道線ト縣道トハ野ノ蔓ノヤウニ曲ツテ居ル、「キロ」以上アリマスヨ、唯圖面ノ上デサウ云フコトヲ仰シヤツテ、價值ガナイトカ言フコトハ餘リ過酷ナ御判決ダト云フ氣ガ致シマス、是ハ御立腹ニナルカモ知ラヌケレドモ、事實其處ニ居ル者ガ申上ゲルノデアリマスカラ、是ガ即チ民ノ聲デアリマス、請願ハ茲ニ重大ナ意義ガアル、私ガ請願ヲシテカラ、鹿兒島ノ運輸局カラアナタノ所ニ調書ガ來ル時間ガ遅レタカモ知ラヌケレドモ、事實ハ如何トモスルコトガ出來ナイ、事實ヲ離レテハ善政ノ基礎ハナイ、此ノ意味ニ於テモツト斯ウ云フ點ニ付テ私ガ言ツタコトガ嘘カ本當カ、實地ニ御調査ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウ云フ意味ヲ以テ私ハ採擇アランコトヲ希望致シマス

○坂東委員 地方ノ事情モ變化シテ居リマスカラ、十分御調査ヲ願フ意味デ採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 兩件共採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第五ハ紹介議員ガ居リマセヌカラ後廻シニ致シマス

日程第六、肥後田浦、肥後二見兩驛間ニ停車場設置ノ請願、文書表第一三三號——紹介議員三善信房君

○三善信房君 熊本縣北郡田浦停車場ト同郡肥後二見停車場トノ中間ニ停車場ヲ設置シテ貫ヒタイト云フ請願デアリマス、此ノ田浦停車場ト肥後二見停車場トノ距離ハ九「キロ」九分デアリマシテ、肥薩線中停車場間ノ距離ノ最モ長イ所デアリマス、是レノデアリマス、然ルニ此ノ兩停車場ノ間ニハ上井牟田、下井牟田、波多島ト云フ三ツノ部落ガアリマシテ、部落戸數ハ二百戸、住民ハ一千人ニ及ンデ居ル次第デアリマス、然ルニ此ノ附近ノ地形ヲ申シマスト、前面ハ海ニ面シ、其ノ背後ハ山ニナツテ居リマスノデ、此ノ停車場間ニハ一本ノ道路スラモ十分出來テ居ナイト云フヤウナ状態デアリマシテ、通行非常ニ困難ナ状態デアリマス、勿論車馬ノ通行モ出來ナイヤウナ状態デアリマシテ、目前ニ鐵道ノ運轉ヲ見ナガラ鐵道ノ恩惠ニ浴スルコトガ出來スト云フコトハ洵ニ悲惨ナ状態デ氣ノ毒ニ思ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、此ノ地方ニ居リマスル者デ毎日三十名カノ學生ガ中學ニ通ツテ居リマスガ、ソレ等ハ四「キロ」カ五「キロ」ノ道ヲ歩いて行カナケレバ、兩方ノ停車場ニ各、乗車スルコトガ出來ナイト云フヤウナ事情デアリマシテ、女學生ノ如キ

ハ殆ド中等學校ニ入學スルコトモ出來ナイヤウナ状態デアリマス、尙ホ此ノ田浦ニハ軍需工場ガアリマシテ、是ニハ勞務者ガ百名位通勤致シテ居リマス、其ノ通勤者モヤハリ四「キロ」乃至五「キロ」ノ道ヲ歩いて行カナケレバ、停車場ニ行クコトガ出來ナイト云フヤウナコトデアリマス、其ノ他一般乗用者モ毎日百五十名位平均ニナルノデアリマスガ、是等ハ勿論其ノ停車場マデ行キマス爲ニハ相當ノ距離ヲ歩いて行カナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマシテ、是等ノ者ノ不便ト云フモノハ洵ニ少クナイト思フノデアリマス、而シテ尙ホ此ノ附近ニハ海產物、林產物等ガ豐富デアリマシテ、百數十萬圓ノ金額ニ上ツテ居リマス、是等ノ海產物ノ如キハ東京方面ニ送ラレテ居リマス、而モソレガヤハリ鐵道便ヲ利用スル爲ニハ、前申上ゲマシタ困難ナ道ヲ運搬シテ行カナケレバ、鐵道ノ便ヲ求ムルコトガ出來ナイト云フヤウナ状態デアリマス、其ノ他農產物等ニ於キマシテモ、相當巨額ノモノガ生産サレマスケレドモ、是等モ不便ノ爲ニ鐵道ヲ利用スルコト云フコトハ甚ダ困難ナ實情デアリマス、是ハ地理的ニ考ヘマシテ、唯此ノ部落、此ノ村ダケデナクシテ、此ノ對岸ノ天草島ト申シマスノハ、是非常ニ人口モ稠密ヲ所デアリマスガ、其ノ天草郡中ノ御所浦村、大道村、高戸村、樋ノ島村、此ノ四箇村ハ此ノ田ノ浦ノ井牟田マデハ僅カ二里ノ近イ距離デアリマシテ、此ノ停車場ガ出來ルト云フコトニナリマス、此ノ天草郡ノ四箇村ハ鐵道ヲ利用スルコトガ出來ルコトニナリマス、其處ニハマダ航路ガ開設サレテ居リマセヌケレドモ、是ハ停車場ガナイ爲ニ開設サレナイノデアリマ

シテ、停車場が出来ルコトニナリマスレバ、直チニ航路を開カレテ参ルト思ヒマス、此ノ天草郡ノ四箇村ヲ救フ爲ニモ是非トモ停車場ノ設置ガ必要ダト思ヒマス、今ヤ或ハ資材等モ御困難ノ時デアルト思ヒマス、ドモ、サウ多クノ資材モ要ラナイノデアリマスシ、地方産業開發ノ爲ニ是非トモ此ノ停車場ノ設置ヲ要望致ス次第デアリマス、政府ノ御所見ヲ承ツテ御採擇アラシコトヲ希望致シマス

○富山政府委員 肥後ノ二見驛カラ田浦驛マデ御話ノ通りニ九「キロ」九分、其ノ中程ノ所ニ井牟田、波多島ト云フ兩部落ガアリマシテ、交通ノ便ニ惠マレズ御不便ノ多イト云フコトハ承知致シテ居リマスガ、井牟田波多島ノ兩部落ハ、直グ後ロノ方ガ山ニナツテ居リマス、道路モ斷崖絶壁ヲ通ジテ居リ而モ良港デナイヤウナコトデ、洵ニ御氣ノ毒ダト思ヒマス、尙ホ水産物其ノ他ニ付キマシテモ、多量ノ物モアルカト存ジマスガ對岸ノ天草ノ資源ニ付キマシテハ現在ノ所八代、日奈久、或ハ大牟田ニ直送サレテ居ル、御話ノ通りニ驛ガナイ爲ニコナラノ方ニ参ラスト云フ事情ニアラウカト思フノデアリマスガ、現在新驛ノ設置ニ付キマシテハ、目下ノ所デハ御承知ノ通りニ軍需産業ノ急速ナ發展ニ伴ヒマシテ、或ハ軍關係工場ノ新設ト云フヤウナ關係カラ、差當リ絶對必要ナモノト云フ種類ノモノニ追ハレテ居ルヤウナ實情デアリマシテ、専ラサウ云フ軍關係、或ハ戦力増強上必要ナモノヲ、是モ全部ヤツテ居レナイト云フヤウナ狀態デアリマシテ、井牟田、波多島ノ兩部落ニ付テノ交通上ノ不便ハ洵ニ御氣ノ毒ダトハ存ジマスケレドモ、右様ノ次第デ急速ニハ

困難デハナイカト、斯様ニ思ヒマス
○永田委員 此ノ鐵道ハ調査ラシテ請願ノ趣旨ニ副フヤウニト云フ意味デ、採擇ニ決セラレシコトヲ望ミマス

○清水委員長 御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 日程第二ニラ線上ゲテ上程ヲ致シマス
日程第二ニ、小濱港修築並江若鐵道買収ニ關スル請願、文書表第一一八號——紹介議員添田敬一郎君

○添田敬一郎君 福井縣小濱港デアリマスガ、此ノ港灣ハ天然ノ良港トシテ日本海方面ニ於テハ之ニ過グルモノハナイノデアリマス、自然ニ山及ビ島ヲ以テ繞ラシテ居リマシテ、大シタ防波堤ノ如キ設備ヲ要セザル立派ナ港灣デ、面積モ六百萬坪以上ニナツテ居リマス、深サニ於テモ總テノ點カラ見テ、實ニ他ニ見ルコトノ出來ナイ程ノ自然ノ良港デアリマス、唯從來是ガ何故ニ修築サレナカッタカト云フコトニナリマス

詰リ背景ノ連絡機關ガ十分デナイト云フヤウナ所カラ、今マデ遲レ勝チニ相成ツテ居ル次第デアリマス、即チ是ハ若狹ニアルノデアリマスガ、若狹ト京都ヲ繋グ鐵道ノ如キモノモ屢、計畫ヲサレ、殆ド確實ニ具體化シテ居ツタ京若線ノ如キモノ、幾回トナク繰述ベニ繰述ベヲ重ネラレテ、今日尙ホ繰延ベラレテ居ルヤウナ次第デアリマス、サウ云フ事情デ今日マデ遲レテハ居ルノデアリマスケレドモ、併シ此ノ時局柄、滿洲及ビ朝鮮方面ヨリノ貨物ノ運搬其ノ他ノ交通ノ上カラ申シテモ、日本海ノ他ノ港灣ガ利

用サレルト同時ニ、此ノ小濱港ナルモノモ從來以上ニ利用サレナケレバナラヌ時局柄デアルト思フ、或ハ敦賀、或ハ伏木、或ハ新潟等ニ對シテハ政府ハ從來少カラザル金ヲ投ジテ是等ノ修築ガ出來上ツテ居ルノデアリマスガ、小濱港ニ至ツテハ未ダ其ノ運ビニ至ラナイノデアリマス、此ノ港ヲ修築スルト云フコトハ地方ノ利害問題バカリデナク、私ハ今日ノ交通ノ上カラ言ウテ、又滿洲、朝鮮ヲ緊グ上ニ於テ、極メテ緊要ナル事業デアラウト思フノデアリマス、之ニ伴ヒマシテ滋賀縣琵琶湖邊ニ沿ウテ敷設セラレテ居リマス、私設鐵道ノ江若線、此ノ江若線ハ滋賀縣ノ大津カラ今津マデ敷設サレテ居ルノデアリマシテ、今津カラ小濱ニ至ルマデノ間ハ僅ニ四、五里位ヨリ距離ガナリ、其ノ小濱線ノ三宅マデ敷設スルコトガ出來レバ京若鐵道ノ問題ヨリモ、ヨリ容易ニ、ヨリ早く京阪地方トノ連絡ヲ最モ密ニスルコトガ出來ルノデアリマスカラ、此ノ港灣ノ修築ト同時ニ、此ノ滋賀縣ニアル江若鐵道ノ買収ヲ願フツテ、之ヲ四、五里ノ所ヲ延長シテ戴クコトニナレバ、京阪地方ト北陸地方、日本海ヲ繼グ上ニ於テ極メテ有益ナルモノガ出來ルノデアリマス、此ノ問題ハ先達大阪ノ地方行政協議會ニ於テモ滋賀縣知事ノ發案デアリマセウ、之ヲ決定致シマシテ、政府ノ方ニ相當ノ運動ヲナサントシツ、アルノデアリマシテ、此ノコトハ政府トシテモモウ御承知ノコトデアラウト思フノミナラズ江若鐵道買収ニ關スル件ハ、此ノ前此ノ請願委員會ニ於テモ既ニ採擇ニナツテ居ル所ノ問題デアアルノデアリマス、唯此ノ江若鐵道買収サレタ所デ、ヤハリ小濱港ノ修築ト云フモノガナケレバ、

一向役ニ立タスト云フヤウナ結果ニ陥ルノデアリマス、是非トモ是ハ一ツ御調査御研究ノ上ニ、一刻モ速カニ著手サレシコトヲ希望シテ已マナイ、唯此處デ申上ゲタイコトハ、現在ノ時局柄、鐵道問題ニシテモ或ハ「セメント」ノ問題ニシテモ、其ノ他ノ港灣ノ修築及ビ道鐵ノ延長ト云フヤウナ問題ニ付キマシテモ、資材ノ關係上中々許スベカラザル事情ノ存在シテ居ルト云フコトハ分ツテ居リマス、其ノ點カラ申セバ、成程オ前ノ言フコトハ事情ハ尤モカモ知レナイガ、現在ノ時局柄此ノ資材ノ窮シテ居ル際ニ、中々容易ニ行ハレルモノデハナイ、斯ウ云フコトニナルノデハナカラウカト思ヒマス、其ノ點ハ私ト致シマシテモ此ノ國情ノ資材拂底ノ際ト云フコトハ、餘程考慮シナケレバナラヌト思フ、斯ウ云フ際ニ何デモ彼デモ之ヲヤツテ呉レト云フコト、無理ヲ御願ヒスル譯デハナイノデアリマス、併シナガラ交通ノ上カラ言ツテモ極メテ大事ナモノデアルト云フコトハ、是ハ動かカスベカラザル一ツノ事實デアリマスカラ、成ベク資材ノ要ラナイ程所デ、出來ル限り資材ヲ使ハズシテ、一刻モ早く交通ヲ完成スルト云フヤウナコトノ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、現ニ福井縣廳ニ於キマシテハ、目下最低限ノ設計ヲ致シテ居ルノデアリマス、私マダソレハ詳シク見マセヌケレドモ、聞ク所ニ依レバ、僅カニ二百五、六十萬圓程度ノモノヲ最低限トシテ、設計ヲナシツツアルト云フコトデアリマス、二百五十萬圓ヲ或ハ使ハナクテモ、第一此處ハ船ヲ持ツテ來テ棧橋ガ出來ルト云フダケデモ、非常ナル進歩デアルト思フ、大シタ資材モ使ハズ、大シタ金モ使ハズシテ、實行ニ著手ス

號——池田君

○池田正之助君 此ノ請願ハ山形縣ノ新庄町カラ肘折ニ至ル約三十餘「キロ」ノ間ヲ、

省營「トラク」ニ依ツテノ線ヲ新設シテ載

キタイ、斯様ナ請願デアリマス、是ハ山ノ

非常ニ深イ所デアリマスガ、其處ニハ現ニ

住友銅山ガ銅ヲ掘ツテ居リマス、會テハ古河ガ

ヤツテ居ツタノデスガ十數年前カラ銅ヲ出シ

テ居ル重要ナ資源ノ地デアリマス、更ニ今

日問題トナツテ居リマス所ノ撫材ノ補給地

デアル、ソレガ今マデ全然顯ラレナカッタ

ノハ搬出ノ關係カラデアリマス、耐火煉瓦

原土其ノ他ノ重要物資ガ澤山アルニ拘ラズ

顧ラレナカッタト云フノハ、一ニ交通機關

ノ關係デアリマス、ソコデ最近最上郡ノ町

村長會ニ於キマシテモ、之ヲ是非早ク通ジ

テ貰ハナケレバナラヌト云フ猛運動ヲ、昨

年カラ起シテヤツテ居ル次第デアリマシテ、

是ダケハ是非一ツ御採擇御研究ヲ願ヒ、速

カニ——而モ是ハ遲レタラ困リマス、サウ

シテ雪ガ多イカラ、民間ノ業者ニ任シテハ、

是ハ實際採算ノ上其ノ他カラドウシテモ出

來ナイ、是ハ國營ノ所謂省營「トラク」デ

ナケレバドウシテモイケンナイ、サウ云フ意

味ニ於テ此ノ請願ガ出マシタノヲ、私ガ紹

介ノ勞ヲ取リマシタ、ドウゾ當局ニ於キマ

シテハ、大體御調査ハ出來テ居ル筈ト思ヒ

マスカラ、速カニ御著手ナサルヤウニ希望

致ス次第デアリマス

○佐藤榮政府委員 本路線ノ沿線ニハ、銅

撫、又耐火煉瓦ノ原土等、時局下重要資源

モゴザイマスノデ、至急ニ現地調査ヲ致シ

テ見タイト考ヘテ居リマス

○永田委員 採擇アラシコトヲ希望致シマ

ス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 日程第二、鹿兒島、鹿屋

間省營自動車運輸開始等ノ請願、文書表第

九四號——永田君

○永田委員 鹿兒島、鹿屋間ニハ只今海軍

ノ航空隊ノ關係トカ、或ハ工廠其ノ他目下

時局下第一番大事ナ航空關係ノモノガ次々

ニ出來ルノデアリマス、所ガ此ノ鹿兒島、

鹿屋間ハ交通狀態ニ於キマシテ大變複雜ニ

ナツテ居リマシテ、非常ニ工合ガ惡クアリ

マス、仍テ鹿兒島鹿屋間ノ第一ニ鹿兒島カ

ラ櫻島ノ間ヲ省營ノ連絡線ヲ一寸アソコニ

使ツテ載キタイ、サウシテ櫻島カラ鹿屋ノ

間ヲ省營自動車デヤツテ載キタイト云フ案

デアリマスハ最モ必要ナ線デ現在準人ヲ

中心ニ古江マデ省營自動車ガ通ツテ居リマ

スケレドモ、割合ニ此ノ利用價值ガ少イヤ

ウニナツテ居リマス是ノ利用價值ヲ増ス古

江デナクテ鹿屋マデ延バシテ載キマス、ト

大變地方ノ交通ノ上ニ利便ダト思フノミナ

ラズ、目下戰爭ニ大事ナ航空隊方面ノ便利

モ一層開發セラル、モト思ツテ居リマス、

政府當局ノ意見ヲ徵セラレテ採擇セラレン

コトヲ希望致シマス

○佐藤榮政府委員 鹿屋ノ戰時下ニ於ケ

ル重要性ニ鑑ミマシテ、其ノ主タル交通ト

シテノ鹿兒島方面ノ連絡ヲ一層圓滑ニスル

ト云フ御希望ハ私共ニモ能ク分ルノデゴザ

イマス、隨ヒマシテ是等ノ事柄ニ付キマシテ

ハ、何トカ工夫ヲシテ其ノ御要望ニ副ヒタ

イト考ヘルノデアリマスルガ、資材其ノ他

ノ入手狀況ハ是ノ急速實現ヲ許シ得ナイ實

ハ現狀ニアルノデアリマス、只今御話ニナ

リマシタ、袴腰櫻島區間ニ付キマシテハ、

從來ノ請願ニ基キマシテ之ニ省營「バス」

ヲ實施スベク既ニ其ノ道路ノ改修モ出來タ

ノデアリマス、併シ只今申シタヤウニ、車

ガナクテ此ノ運營ガ出來テ居ナイト云フヤ

ウナ狀況デゴザイマス、尙ホ連絡線ニ付キ

マシテモ同様ナ實情ニアリマシテ、急速實

現ハ困難ナ現狀ニアルノデアリマス、此ノ

點御諒承ヲ願ヒマス

○永田委員 此ノ連絡船モ今九州汽船ヲ使

ツテ居ラレマスケレドモ、アレハ百「トン」

以下ノ小サイ船デ始終缺航シテ居リマス、

垂水ノ發動機船ノ如キハ却テ短時間デ旨ク

ツクヤウデアリマスガ、何レニシテモ鐵道

省トシテハ、省營「バス」ト連絡船ノ關係

ハ、此ノ際船舶ノ餘裕ヲ生ミ出ス上カラ云

行デモ、アレヲ統一サレマス、船モ一艘

ヤ二艘ハ浮ンデ來ハセスカト思ヒマス、尙

ホ石炭トカ重油、其ノ他ノ使用ノ點カラ重

複シテ居ル點モアリマスカラ、之ヲ私共御

研究願ヒタイト云フ意味デアリマス、尙ホ

省營「バス」ガ今古江マデニナツテ居リマス

ノデ、アノ古江ト鹿屋ノ停車場ノ間ニドウ

シテモ省營「バス」ヲ付ケテ載カスト、航空

隊方面ノ工具ノ通勤等ガ、民間ノ「バス」モ

アリマスケレドモ、圓滑ニ行ツテ居リマセ

ス、此ノ點ヲ御考慮ノ上、此ノ請願ノ十分

ノ一デモ實現シテ載クヤウニト云フ意味ヲ

含メテ、採擇シテ載カンコトヲ希望致シマ

ス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 日程第二〇、新庄、肘折間

省營自動車運輸開始ノ請願、文書表第八九

號——池田君

○池田正之助君 此ノ請願ハ山形縣ノ新庄

町カラ肘折ニ至ル約三十餘「キロ」ノ間ヲ、

省營「トラク」ニ依ツテノ線ヲ新設シテ載

キタイ、斯様ナ請願デアリマス、是ハ山ノ

非常ニ深イ所デアリマスガ、其處ニハ現ニ

○清水委員長 日程第二ニ移リマス

日程第二、歌志内町字文珠ニ簡易停車場設置ノ請願、文書表第八七號——紹介議員星野君ノ代リニ吉田君

○吉田(貞)委員 此ノ請願ハ北海道ノ歌志内町ガ最近石炭鑛業ノ發展ニ伴ヒ人口ガ激増シ、一寸シタ都市ノヤウナ状態ニナツタノデアリマスガ、只今ノ所同町ノ字神威ト云フ所ニ神威驛停車場ガアルノミデアリマシテ、是ダケデハ貨客運輸上歌志内ニ於ケル所ノ産業ノ發展、人口ノ増加等ニ應ジマスル所ノ輸送ガ出来ナイ状態ニアリマスノ

デ 歌志内町字文珠ニ簡易停車場ヲ速カニ設置セラレタイト云フ趣旨デアリマス、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒマシテ、本委員會ノ御採擇ヲ仰ギタイト思ヒマス

○富山政府委員 歌志内ノ文珠ニ停車場ノ設置ニ關シマシテハ屢、議會或ハ運輸通信省ニモ御請願ガアリマシタノデ能ク調査致シテ居ルノデアリマス、今御話ノ所ハ砂川驛カラ九・七「キロ」、神威驛カラ二・一「キロ」ト云フヤウナ地點カト存ズルノデアリマスガ、此ノ附近ハ炭礦從事員ノ住宅ガ非常ニ密集シテ居リマシテ、驛ガ出来マスト云フト非常ニ便利ニナルコトハ想像出来ルノデアリマスガ、毎回政府委員ト致シマシテモ説明シテ居リマス通り、砂川驛カラ九・七「キロ」神威驛カラ二・一「キロ」ト云フヤウナ所デ兩驛ノ間デ一方ニ偏ルト云フヤウナ嫌ヒガアリマス、丁度其ノ地點ハ千分ノ六・七ノ勾配線上ニアリマスノデ、此處ニ驛ヲ設置致シマスストスレバ勾配ヲ變化シナケレバナラヌト云フ事情ニナツテ居リマス、此ノ部分ニ假ニ驛ヲ設置スルヤウナコトニ致シマシテモ、停車場ノ勾配ガ一層急

ニナルト云フヤウナコトカラ、却テ輸送力ノ減退スル虞モアリマスノデ、毎回同ジヤウナ御説明ヲ致シテ居ルト思フノデアリマスガ、神威驛マデ二・一「キロ」ト云フコトデアリマスノデ辛抱シテ戴キタイ、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○永田委員 此ノ件ハ採擇ニ決セラレンコトヲ望ミマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 異議ナシト認メマシテ採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 日程第一ニ移リマス

日程第一、瀨棚、岩内間鐵道敷設ノ請願、文書表第二二九號——山本君

○山本厚三君 紹介者ト致シマシテ理由ヲ申上ゲタイト思ヒマス、北海道ノ南部ノ西海岸ハ少シク鐵道ガ出来マシタガ、是ハ其ノ缺ケテ居ル中ノ最モ重要ナ地點デアリマスケレドモ、北海道デハ一番古イ鯨ノ漁業地デアリマス、近來ハ魚ノ種類ガ變リマシテ、大體スケソ鱈或ハ烏賊等ノ水産物デアリマスガ、ソレニ連續シテ居ル所デ農産物、林産物モ相當多イ、ソレヨリ最近ニ至リマシテハ鑛物ガ非常ニ盛ンニ取レマシテ、鑛物ニシマシテモ相當有力ナ鑛山ガアリマス、即チ炭山デハ茅沼炭山等ハ此ノ頃數倍位ノ採炭量ニナリマシタ、國富鑛山、是ハ銅デアリマスガ、是モ中々大規模ニナリマシタ、ソレカラ石灰工場、大金鑛山、是ハ銅デアリマスガ、其ノ外硫黄山モアリ、ベントナイトノ鑛石モ採レマス、斯ウ云フヤウニ非常ニ鑛物ガ澤山採レテ來テ居リマスルガ、彼處ニ岩内線ト云フ支線ト壽都鐵道ト云フ

私設鐵道ガアリマスガ、是ハ極メテ輸送量ガ少イ爲ニ貨物ノ輻湊スルコトハ随分ヒドイノデアリマスカラ、此ノ間ニ是非鐵道ヲ敷設シテ貰ヒタイ、是ハ御覽ノ通り沿線十箇町村長ノ請願ニナツテ居リマス、時局柄工事ハ御面倒ナ點モアリマセウガ、是非之ヲ急連ニ敷設ヲシテ戴キタイ、是ガ請願ノ趣意デアリマス、ドウゾ政府ノ御考ヘモ承ツテ、御採擇アランコトヲ切望致シマス

○三浦政府委員 本件ハ瀨棚線ノ終端瀨棚驛ト、岩内線ノ終端岩内驛トヲ連絡スル、渡島半島ノ西海岸ヲ走リマス資源開發線ヲ敷設セヨト云フ御話デゴザイマスガ、御話ノ通り、沿線ニハ壽都町、其ノ他昔カラノ町ガ相當アルヤウデゴザイマス、又林産、海産、鑛産ノ等ニ於キマシテ近來相當ナ量ノ搬出ガアルヤウデアリマス、併シナガラ地勢ハ處々ニ峻ハシイ所ガゴザイマシテ、線路ノ延長モ相當長クナリマシテ、百十「キロ」餘ニナルヤウデアリマス、若シ之ヲ實現スルト致シマススト、相當ナ資材ト年月ヲ要スル見込ミデアリマスシ、時局下差當ツテ之ヲ敷設スル資材其ノ他ノ工面ガ中々付キ兼ネルト思ヒマスノデ、早急ニ之ヲ實現スルコトハ難カシイノデハナイカト思ツテ居リマス、唯茲ニ申上ゲタイコトハ、此處ノ線路ノ一部デアリマス、岩内ト壽都間ニハ、函館本線ノ輸送力増強ト云フ意味カラ申シマシテ、或ハ此ノ間ニ線路ヲ敷キマシテ、函館本線ノ輸送力ノ増強ニ充テルヤウナコトニナルカモ知レスト考ヘラレマス、此ノ點ニ付キマシテハ、只今調査研究ヲ進メテ居ル次第デゴザイマス

○山本厚三君 モウ少シ補足シテ申上ゲタイト思ヒマス、只今政府委員ノ御述ベニナ

ツタコトハ、私モ申上ゲヨウト思ツテ取落シタノデアリマスガ、是ハ圖面ニアリマス通り、本線ノ方ガ相當ニ勾配、屈曲ノ多イ方デアリマシテ、岩内、壽都間ヲ只今御述ベノヤウニ工事ヲシテ戴クト、此ノ輸送上非常ニ緩和サレルト云フコトモ、地方デモ頻リニ御願ヒシテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、殊ニ鑛物ノ發見採掘ガ非常ニ激増シテ參リ、是等ノ輸送ニ付テモ困ツテ居ル次第デアリマスカラ、ドウカサウ云フ意味モ加味シテ、何トカ急速御實施アランコトヲ重ネテ御願ヒ致シマス

○永田委員 本件ハ採擇ニ決セラレンコトヲ望ミマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第五、南小谷村字倉下ニ停車場設置ノ請願、文書表第一三一號——紹介議員片岡均君

○南委員 私代ツテ御紹介申上ゲマス、本件ハ、長野縣北安曇郡大糸線南小谷、信濃森上兩驛間ノ距離ハ「八キロ」餘デアルカラ、地方住民ハ各種產物ノ搬出上、兒童生徒ノ通學上、防空上其ノ他ニ於テ、多大ノ不利不便ヲ蒙ツテ居リマス、仍テ前述ノ兩驛間ノ南小谷村字倉下附近ニ停車場ヲ設ケテ貰ヒタイト云フ趣旨デアリマス、詳細ノコトハ、紹介議員自ラ參リマスレバ詳シク申上ゲル筈デゴザイマシタガ、私代ツテ此ノ程度御紹介申上ゲマス、政府委員ノ御意見ヲ承リマシテ、御採擇アランコトヲ希望致シマス

○富山政府委員 大糸線ノ信濃森上、南小谷間ニ新驛設置ノ件ニ付キマシテハ數年來

鐵道省並ニ議會ニモ屢、請願ガアリマシタノデ、十分調査研究ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、度々申上ゲマシタコトト存ジマスガ、御希望ノ地點ハ、信濃森上附近カラ急勾配ニ下ツテ參リ、千分ノ十五ト云フヤウナ大キナ勾配ニナツテ居リマス、其ノ關來カラ、前後相當ナ區間ヲ勾配ノ變更致サナケレバ驛ノ設置ガ困難デアルト云フヤウナ地勢ニナツテ居リマス、今日資材、勞力ノ不足ハ御承知ノ通りデアリマスガ、工事ヲ致スニ致シマシデモ、相當難工事ノ所ト考ヘテ居リマス、地方ノ事情トシテハ洵ニ御氣ノ毒トハ存ジマスガ、時局柄當分實現ガ困難デアリマス

○永田委員 本件モ採擇ニ決セラレンコトヲ望ミマス

○清水委員長 御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第二三、民間航空ノ發達促進ニ關スル請願、文書表第一一六號——紹介議員永田良吉君

○永田委員 民間航空ノコトニ付キマシテハ、今當局ノ非常ナ御苦心ノ程ヲ御察スル譯デアリマスガ、何分ニモ我が國ノ民間航空ハ、之ヲ諸外國ニ比ベマスト、其ノ發達ガ遅レタ關係上、一例ヲ申上ゲマスト、今日米國ノ如キガ航空戰力ニ於テ強イト云フノハ、米國ガ豫テ民間航空ニ非常ナ重點ヲ置イテ居ツタカラデアル、又友邦「ドイツ」ニ於テモ、今日ノ航空ノ發達ハ民間航空ガ主ニナツテ居ル、要スルニ今日民間航空ニ重點ヲ置イテ、之ニ強力ナル航空ノ力ヲ持ツテ居ルト云フコトガ、戦ヒノ上ニ重大ナ

ル使命ヲ持ツテ居ルノデアリマス、然ルニ我が國ノ民間航空ハ遅レテ居リマシテ、今日陸海軍ガ之ヲ取上ゲテ戰爭ニ使ツテ居ルノデ、殆ド民間航空ハアツテモナキガ如キ状態ニアルト云フコトハ、洵ニ遺憾ニ堪ヘマセヌ、但シ以上申上ゲマシタ通り、民間航空ハ民間航空トシテノ重要ナル使命ガアルガ、即チ陸海軍ノ豫備隊トシテノ大事ヲ使命ヲ常ニ失ツテハイケナイ、私ハ此ノ意味カラ、今ハ無理ナ状態カモ知レマセヌガ、我が國ノ民間航空ヲモツト本來ノ使命ニ立チ還ラシメテ、モツトノ内容ノ充備ヲ此ノ際スルコトガ必要ダト思ツテ、此ノ請願ヲ紹介致シタ譯デアリマス、此ノ際當局ノ意見ヲ徵セラレマシテ、採擇アラシコトヲ希望致シマス

○飯野政府委員 只今永田サンカラ御話ノアリマシタ通り、今日航空決戰ノ此ノ重大ナル時ニ當リマシテ、又ソレノ豫備空軍ト致シマシテノ民間航空ガ極メテ重要ナ立場ニアルコトハ、御請願ノ御紹介ノ御趣旨ノ通りデアリマス、只今政府ト致シマシテハ民間航空ト申シマスカ、一般航空ヲ軍航空ノ一環ノ施設ト致シマシテ、軍航空ニ全面的ニ協力致シマスト共ニ、更ニ進ンデハ共榮團ノ確立ノ促進ニ寄與スルト云フ建前ノ下ニ、各般ノ施設ヲ進メテ居ル次第デアリマス、簡單ニ其ノ狀況ヲ申上ゲマスト、最モ力ヲ入レテ居ル點ト致シマシテハ、航空乘員ノ養成ニ關スルコトデアリマス、此ノ點ニ於キマシテモ軍ト緊密ナル連絡ヲ取リマシテ、我々ノ方モ乘員養成機關ニ於テ操縦士、機關士、通信士等ノ大量且ツ急速ナル養成ヲ行ツテ居ルノデアリマシテ、又其ノ方面ノ施設ニ付キマシテモ取急ギ整備擴

充致シテ居ル次第デアリマス、現ニ之ニ計上セラレテ居リマスル經費モ、昭和十九年度ト致シマシテハ七千二百萬圓、前年度ニ比較致シマシテ一千七百萬圓バカリノ増ニナツテ居ルノデアリマス、又是ノ施設ト致シマシテハ、昭和十三年度カラ二十二年マデ、十箇年間に繼續費ト致シマシテ一億五千九百萬圓、昭和十八年度マデ支出濟ニ係ル分ガ八千六百萬圓ト云フ程度ニ達シテ居ルノデアリマス、尙ホ是ト同時ニ大日本飛行協會ヲシテ其ノ傘下ノ訓練所ニ於キマシテ、青少年ノ飛行訓練並ニ滑空訓練ヲ實行セシメマシテ、航空要員ノ獲得養成ヲ圖ラシメテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ト同時ニ航空路施設ニ於キマシテモ著々其ノ内容ノ充實ヲ圖ツテ居ルノデアリマシテ、殊ニ將來ノ問題ト致シマシテハ、大東亞全域ニ互リマスル航空路網ノ擴充計畫ヲナス必要ガアルノデアリマス、其ノ中心ヲ成スベキモノト致シマシテ國內飛行場等、基地設備ノ強化、通信設備或ハ共同設備等ニ付キマシテモ、是ノ急速增強ヲ圖ツテ居ルノデアリマシテ、本年度豫算ニモ其ノ一部經費ヲ計上致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又航空機材ノ性能向上ト云フ點ニ付キマシテモ、將來ハ自然大型輸送機等ニ向フコトト存ジマスルシ、又現在ニ於ケル海上輸送カラ航空方面ヘノ轉移ト云フヤウナコトモ豫想セラレタル譯デアリマス、現ニ大型輸送機ノ試作方ヲ下命致シテ居リマスルガ、同時ニ航空機全體ノ安全性ヲ確保致シマス爲

ニ、試験検査施設ノ整備ヲ圖ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ト同時ニ現在ノ民間輸送ニ於キマシテハ、主トシテ軍ノ作戰ニ協力セシメルト云フコトヲ主體ト致シマシ

テ、隨テ軍用定期航空ニ轉用シ、或ハ又軍ノ徵用ニモ應ジテ軍ノ作戰遂行ニ協力致シテ居ル次第デアリマスケレドモ、戰局ノ推移ト睨ミ合セマシテ、逐次ニ之ヲ又一般的ニ改メマシテ、成ベク早イ將來ニ於キマシテ、少クとも共榮團内ニ於キマスル人ノ往來、或ハ文書ノ往復ト云フコトニ付キマシテハ航空機ニ依ツテ之ヲ確保シ、以テ皇國指導力ノ急速ナル滲透ニ寄與セシメタイト云フコトヲ望ンデ、又關係方面共緊密ニ連絡ヲ致シマシテ計畫致シテ居リマスルヤウナ次第デアリマス

尙ホ最後ニ國民航空ノ振興ト云フ點ニモ極メテ力ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、即チ民間團體ト致シマシテハ大日本飛行協會ヲ強化致シマシテ、又是ノ活動ヲ滑ラカナラシメ、又強化スルト云フ趣旨カラ、政府内部ニ於キマシテハ、關係各省トモ十分連繫致シマシテ、同時ニ此ノ飛行協會ニ對シマシテハ、相當多額ノ補助金ヲ年々交付致シマシテ、以テ國民全部ガ空ヘノ關心ヲ昂メルト同時ニ、其ノ知識ヲ普及シ、又得テ居ル知識ヲ實踐ニ移サシメルト云フヤウナ方面ニ力ヲ入レテ居ルヤウナ次第デアリマス

○吉田(貞)委員 本案ハ採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 尙ホ紹介議員ノ居ラザル案件ハ延期スルコトニ致シマシテ、紹介議員ノ居ルモノダケヲ順次審議致シタイト思ヒマス

日程第一〇、鹿屋驛移轉並西鹿屋驛設置ノ請願、文書表一二七號——紹介議員永田良吉君

○永田委員 此ノ請願ハ度々出シタノデアリマスルガ、現在ノ鹿屋驛ハ甚ダ狹隘ヲ告

ガテ混雜ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ヲ他ノ場所ニ移轉シテ載キタイト云フ希望デアリマス、又現在航空隊ヤ工廠方面ガ驛カラ遠イノデアリマスカラ、此處ニ驛ヲ造ツテ賞ヒタイト云フノモ第二ノ意味ノ請願ニ

ハツテ居ルノデアリマス、將來此處ニ驛ガ出來ナイトシタナラバ、サツキ申上ゲマシタ省營自動車ノ關係カ何レカヲ以テ其ノ便益ヲ圖ツテ載キタイト云フ請願デアリマス、何卒當局ノ御意見ヲ徵セラレマシテ採擇アラシコトヲ希望致シマス

○三浦政府委員 古江西線鹿屋驛ヲ移轉スルト共ニ、海軍施設附近ニ新シク西鹿屋驛ヲ設ケタラドウト云フ御話デゴザイマズガ、若シ御趣意ニ副フヤウニ致シマスト現在ノ古江線ヲ一部線路變更ヲシナケレバナラナクナリマス、若シ變更スルト致シマス

ト、線路ノ勾配モ相當キツイモノニナツテ參リマスシ、又經過地ノ關係カラ申シマシテ、海軍ノ施設ニ接近シテ通ルヤウニナリマスノデ、海軍施設ノ機密保持上ノ關係モ生ジテ來ルト思ヒマス、何レニシテモ此ノ邊ノ所ヲ十分調査研究致シタイト存ジテ居ル次第デゴザイマス

○坂東委員 更ニ研究ノ續行ヲ希望致シマシテ採擇ヲ望ミマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 御異議ナシト認メマシテ、

採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第一二乃至一四ハ同一紹介議員デアリマスカラ、一括議題ニ致シタイト思ヒマス

日程第一二、旭川、砂川間鐵道線路増設ノ請願、文書表第一四一號

日程第一三、天鹽沿岸鐵道速成ノ請願、文書表第一四二號

日程第一四、達布、添牛内間鐵道敷設ノ請願、文書表第一四四號——坂東幸太郎君

○坂東委員 先ヅ第一ニ函館本線旭川、砂川兩驛間ハ、近時同地方産業ノ急激ナル發展ニ伴ヒ貨客益々輻湊シツ、アリ、殊ニ大東亞戰爭ノ勃發ニ依リ愈々交通量ノ激増ヲ來セルヲ以テ、之ヲ複線トナシ、輸送力ヲ增強シ、一般物資及ビ軍隊、軍需物資ノ急速ナル輸送ヲ圖ルハ刻下最モ緊要ナリト信ズ、仍テ速カニ前記旭川、砂川間鐵道路線ヲ複線化セラレタシト云フノ趣旨デアリマスガ、政府ノ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○三浦政府委員 函館本線ノ旭川、砂川間ノ線路ヲ増設シテ戰力ノ增強ニ資セラレタイト云フ御話デゴザイマスガ、御話ノ通り函館本線ハ北海道ノ主要幹線デゴザイマス、將來ハ輸送力ノ增強ノ上カラ申シマシテ、漸次全區間ヲ複線化シナケレバナラスト存ジテ居リマス、現在デハ工事中ノモノニ函館、長万部ト云フノガアリマスシ、又複線化サレテ居ル所デハ南小樽、砂川間ガアルト云フ状態デアリマス、併シ目下ノ所資材其ノ他ノ關係カラ致シマシテマダ此ノ區間ニ線路増設ノ工事ニ著手スル運ビニハ至ツテ居リマセヌ、併シナガラソレデハ中々間ニ合

ヒマセヌノデ、應急措置ト致シマシテ、信號所ノ設置トカ、或ハ車輛ノ増配トカ、サウ云フコトヲ行ヒマシテ極力輸送力ノ增強ニ努メテ居ル次第デゴザイマス、將來物動ノ計畫トモ睨ミ合セマシテ、成ベク早イ機會ニ線路増設ヲ行ヒタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○永田委員 本件ハ採擇アラシコトヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 御異議ナシト認メマス、採擇ニ決シマシタ

○清水委員長 一三ト一四ノ御説明ヲ願ヒマス

○坂東委員 此ノ趣旨ハ、北海道苫前郡羽幌町別所ヨリ同郡初山別村ヲ經テ天鹽郡遠別村ニ至ル鐵道豫定線ハ昭和十二年度ヨリ五箇年計畫ニ依リ完成ノ豫定ナリシモノニシテ、同地方資源開發並ニ軍事上重要路線ナルニ拘ラズ、其ノ後右計畫ヲ變更シテ昭和二十年完成豫定トセラレタルハ甚ダ遺憾ナリ、仍テ前記羽幌、遠別間鐵道ヲ速カニ敷設シテ天鹽沿岸鐵道ヲ完成セラレンコトヲト云フ請願デアリマス、政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○三浦政府委員 羽幌線ノ築別驛ト天鹽線ノ遠別驛ヲ連絡スル鐵道ノ工事ヲ促進シテ完成ヲ圖レト云フ御話デアリマスガ、御存ジノ通り此ノ區間ハ建設線羽幌、遠別間鐵道ノ一部デゴザイマシテ、既ニ豫算ニモ計上サレテ居ルノデゴザイマスガ、時局下資材其ノ他ノ關係カラ已ムヲ得ズ工事ヲ一時

中止致シタノデアリマス、併シ沿線ニハ御話ノ通り石炭其ノ他ノ資源モゴザイマスノデ、是等ノ開發計畫並ニ物動計畫等トモ睨ミ合セマシテ、資材ノ都合ノ付キ次第第一モ早く完成ヲ圖リタイト思ツテ居ル次第デアリマス

○永田委員 速カニ其ノ實現ヲ要望シテ、本件ハ採擇ニ決セラレンコトヲ希望致シマス

○清水委員長 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○坂東委員 達布、添牛内間鐵道敷設ノ請願ノ趣旨ヲ辯明致シマス、此ノ趣旨ハ、北海道留萌及ビ天鹽ノ兩炭田ハ無盡ノ埋藏量ヲ有シ、是ガ開發ノ爲メ一昨年留萌郡留萌港ヨリ同郡小平志木村大字達布ニ至ル間ニ天鹽鐵道敷設セラレタルモ、本鐵道ハ漸ク炭田地方ノ周邊ニ達スルノミナルヲ以テ到底石炭輸送ノ完壁ヲ期シ難シ、更ニ之ヲ延長シテ炭田中心部マデ達セシムルヲ必要ト致シマス、仍テ速カニ前記天鹽鐵道終點達布驛ヨリ雨龍郡幌加内村深名線添牛内驛ニ至ル約三十五「キロ」ノ鐵道ヲ敷設シテ、以テ石炭輸送ノ完壁ヲ期スルト共ニ、豐富ナル地方農林產資源ノ開發ニ資セラレタイト云フノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ伺ヒマス

○三浦政府委員 天鹽鐵道ノ終端達布驛ト省線深名線ノ添牛内驛トヲ結ブ鐵道ヲ敷設シテ、石炭其ノ他ノ重要資源ノ開發ニ資セラレタイト云フ御話デゴザイマスガ、御話ノヤウニ此ノ沿線カラハ石炭ヲ初メト致シ

マシテ林産物モ相當出ル見込デゴザイマスガ、此ノ區間ハ只今御話ガアリマシタ通りニ四十「キロ」ニ垂ントシテ居リマシテ、經過地ノ地勢モ可ナリ複雑シテ居リマスノデ、工事ハ餘リ樂デハナイト思ヒマス、併シ石炭ノ開發計畫ガ順次進ムニ連レマシテ此ノ開發計畫ト睨ミ合セマシテ考究シテ行キタイト存ジテ居リマス

○永田委員 本件モ採擇アラシコトヲ希望致シマス

○清水委員長 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第二四及ビ第二五ハ同一紹介議員デアリマスカラ、一括シテ議題ニ致スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 御異議ナシト認メマス

日程第二四、始良村麓東嶽ニ特定郵便局設置ノ請願、請願文書表第一〇六號

日程第二五、鹿屋市花岡ニ郵便局設置ノ請願、請願文書表第一二四號——紹介議員

永田良吉君

○永田委員 肝屬郡始良村麓東嶽部落ハ規定ノ郵便局カラ六「キロ」以上モ離レテ居リマス、小學校モアリマスカラ是非此處ニ設置シテ戴キタイト云フ請願デアリマス、是ハ毎日出テ居リマス、尙ホ日程第二五ノ鹿屋市花岡ニ郵便局設置ノ件デアリマス、是ハ現在古江ニアリマスケレドモ、此ノ花岡、古江トノ間ガ大變高イ斷崖ニナツテ居リマス、隨テ交通不便ノ關係カラ花岡ニ小學校モアリマスカラ、其處ニ郵便局ヲ設ケテ戴キタイト云フ請願デアリマス、兩件ト

モ政府ノ説明ヲ徴セラレマシテ採決アラシコトヲ希望致シマス

○中村(純)政府委員 始良村麓東嶽ニ特定郵便局設置ニ關シマスル件ハ、距離ハ既設ノ局カラ相當離レテ居リマスガ、享便戸數ガ只今ノ所比較的少數ト考ヘラレマスノデ、今後現地市況ノ發展等ト見合ヒマシテ考慮致シタイト考ヘマス

尙ホ次ニ鹿屋市花岡ニ無集配郵便局ヲ設置致シマスルコトハ、是レ亦距離ト利用戸數ノ双方ノ關係ヲ併セテ考ヘテ見マスルト、只今直チニ實施シ得ルヤ否ヤニ付キマシテハ、尙ホ他トノ振合ヲ考慮致ス必要ガゴザイマスノデ、將來篤ト研究ヲ致シマシテ、計畫上ノ參考ト致シタイト考ヘル次第デゴザイマス

○坂東委員 兩請願トモ採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 日程第二四、第二五、採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ

○清水委員長 日程第二六、五臺村ニ無集配郵便局設置ノ請願、文書表第一三〇號——川崎巳之太郎君

○川崎(巳)委員 是ハ先年採擇ニナリ、且又東京逓信局ヨリ特ニ吏員ヲ派シテ實地ヲ御調査ニナツテ、設置ノ必要ガアルト御認メニナツテ居リマス、唯其ノ時期ノ先後ト云フ問題ニナツテ居ルコトデゴザイマスルカラ、此處デ又詳シク説明スル必要モナイト思フノデス、享便戸數モ無論六、七百戸以上ニナリマス、農産物等モ澤山アリマスシ、又隣村ニ軍需工場ガ出來マシテ、此ノ村カ

ラモ通フ者ガ澤山出來マシタ、此ノ村ハ非常ニ幅ガダ、廣イ所デ、郵便局ガナイノデ非常ニ困ツテ居リマスカラ、ドウゾ政府ノ御意見ヲ此ノ際承リマス同時ニ、御採擇アラシコトヲ希望致シマス

○中村(純)政府委員 五臺村ニ特定局ヲ設置致シマスル件ハ大體計畫上適當ト考ヘラレマス、但シ豫算等ノ關係モゴザイマスノデ、其ノ點ト見合セマシテ、成ベク速カナル機會ニ於テ解決ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○清水委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 採擇ニ決定致シマシタ——

此ノ際御諮リ致シタイトガアリマス、第一分科委員庄司一郎君ヲ第二分科委員トシ、第二分科ノ主査田中好君ヲ補關トシテ委員トナラレタ小笠原八十美君ヲ第一分科委員トシ、第二分科ノ主査ヲ庄司一郎君ト指名スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○清水委員長 御異議ナシト認メマス、其ノ通り決定シマシタ、次會ハ公報ヲ以テ通知致シマス、大體ノ豫定ハ三月二十二日ノ豫定ニナツテ居リマスカラ、公報ニ依ツテ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時二分散會